

319
309



始



ト工-4W-35

參謀本部編纂



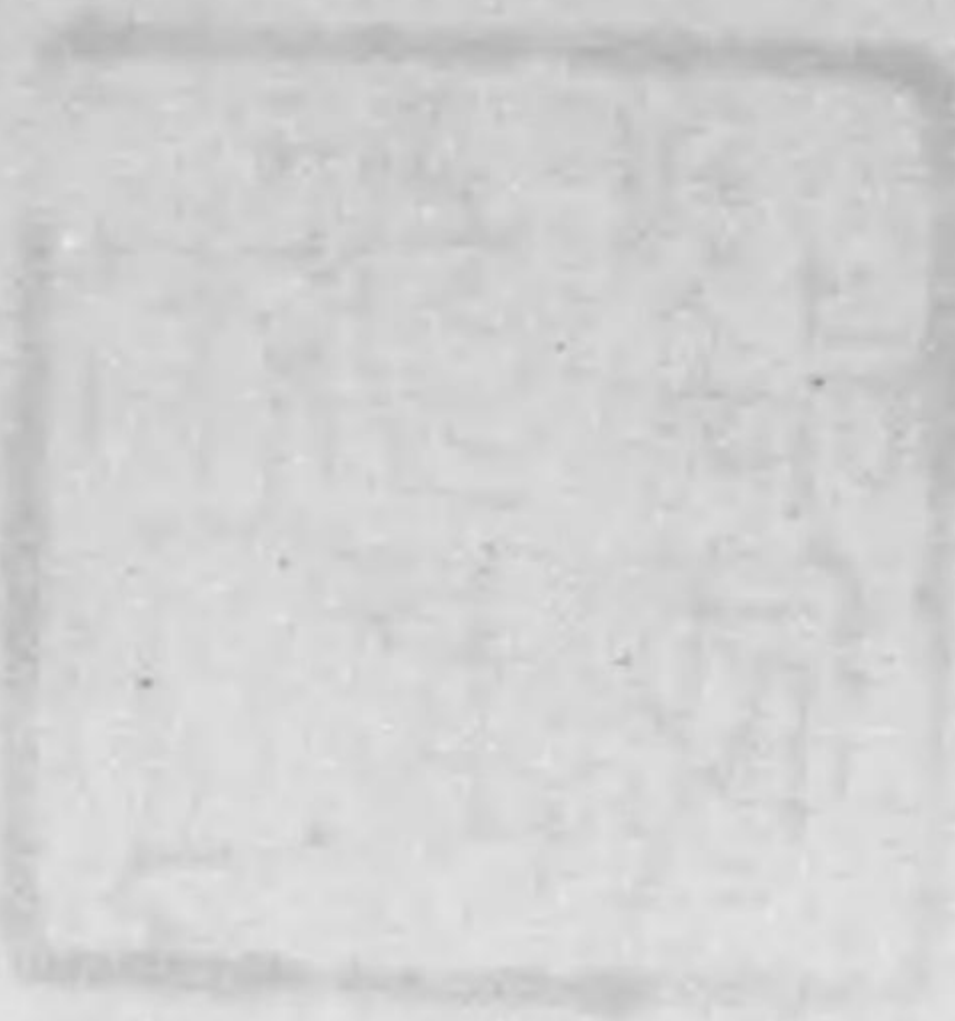
露路土戰史

第三卷

5. 2. 7

内交

東京偕行社發行



千七百七十八年 露土戰史第三卷目次

第十四章

八月中旬ヨリ同

作戦

一 一般ノ情況

八月十三日露軍位置ノ概要(一)第十一師團主力^{カキヤ}方面ニ復歸ス(二)八月中旬軍司令官ノ意圖(三)スライマンバシア軍ニ關シ得タル情報(三)八月十九日軍司令官ノ部署(六)歩兵第二師團ノ南進(九)土軍^{スリナ}上陸ノ報(九)八月二十二日少將スコベレフ部隊ノ^{カクリナ}前進(一〇)八月二十四日^{カクリナ}激戰ノ報告(二)八月二十四日軍司令官ノ處置(二)八月二十五日ノ情況(二)八月二十五日軍司令官決心ノ變更(一)八月二十五日ノ情況(二)八月二十六日^{カクリナ}峠上ノ戰報(二)スライマンバシア軍ニ關スル報告並ニ之ニ對スル軍司令官ノ處置(二)八月二十七日軍參謀長ノ^{カクリナ}派遣(二)八月二十八日歩兵第三師團ノ南進(三)八月三十日^{カクリナ}方面ノ情況(二)八月三十日軍參謀長ノ報告並ニ作戰計畫ノ變更(二)八月十三日ヨリ同三十日ニ至ル土軍ノ概況(二)

二 南方方面ノ作戦

目次

其一 八月十三日ヨリ十九日迄ノ南部兵團ノ情況……………三〇

八月十三日南部兵團ノ位置(三〇)八月十三日南部兵團司令官ノ知り得タル情況(三〇)八月十三日ヨリ同十八日ニ至ル南部兵團第一線諸隊ノ情況(三一)八月十三日ヨリ十八日迄ノ土軍スライマンバシアノ情況(三二)八月十九日(三三)方面ノ情況(三三)八月十九日(三四)方面ノ情況(三六)八月十九日南部兵團司令官ノ得タル諸情況並情況判斷(三五)八月十九日スライマンバシアノ情況(四三)

其二 峠附近ノ戰鬪……………四四

戰鬪前ノ情況……………四四

附近露軍ノ陣地及地形ノ概要(四四)十九日「シブカ」守備隊ノ情況(四九)八月二十日「シブカ」交隊ノ情況(五〇)歩兵第三十五聯隊同第五十四聯隊ト交代(五一)向フ(五三)八月二十日狙撃歩兵第四旅團及歩兵第十四師團第二旅團ノ行動(五三)八月二十日スライマンバシアノ情況(五四)土軍(五五)峠攻撃部署(五五)

八月二十一日 Sipka 附近ノ戰鬪(第一日)……………五六

戰鬪開始(五七)午前十一時頃露軍前方陣地ノ情況(五八)歩兵第三十五聯隊ノ到着(六〇)前方陣地午後一時後ノ戰鬪(六一)スライマンバシア

右翼部隊ノ情況(六四)スライマンバシア軍陽攻部隊ノ情況(六四)正午以後土軍攻撃動作(六六)八月二十二日ノ爲スライマンバシアノ情況判斷(六七)

八月二十二日 Sipka 附近ノ戰鬪(第二日)……………七一

八月二十二日拂曉露軍ノ配備(七〇)八月二十二日ノ戰況(七三)土軍ノ配備(七五)狙撃歩兵第四旅團及歩兵第十四師團第二旅團等(ガブホボ)前進ス(七七)八月二十二日夜中將ラデッキノ部署(七九)

八月二十三日 Sipka 附近ノ戰鬪(第三日)……………八〇

拂曉露軍ノ位置(八〇)正午ニ至ル迄ノ情況西正面ノ情況(八三)南正面ノ情況(八五)東正面ノ情況(八六)正午以後ノ情況(八六)午後五時頃露軍ノ位置(八三)狙撃歩兵第四旅團歩兵第十四師團第二旅團等ノ來著(八五)露軍ノ戰勢回復(八九)午前ニ於ケル土軍ノ情況(八九)西正面ノ戰鬪(九〇)南正面ノ戰鬪(九二)東正面ノ戰鬪(九三)午後ニ於ケル土軍ノ情況(九三)八月二十四日拂曉ニ於ケル陣地露軍ノ兵力(九四)歩兵第二師團ノ行動(九五)

八月二十四日 Sipka 附近ノ戰鬪(第四日)……………一〇六

拂曉ニ於ケル露軍ノ配備(一〇六)東正面ノ情況(一一)南正面ノ情況(一一)

西方面ノ情況(二五)露軍攻勢移轉ノ部署(二五)歩兵第五十三聯隊砲兵第十四旅團第二中隊ノ^{シキア}來著(三二)八月二十四日スライマンバシ^ア軍ノ配備(二三)

八月二十五日 ^{シキア}シキア 附近ノ戰鬪(第五日).....一六六

八月二十五日 ^{シキア}峠上ノ露軍ノ兵力(二六) ^{レスノイクルカ}山背上ノ戰鬪(二六)迂回部隊ノ情況(三三)露軍ノ退却(三三)歩兵第五十四聯隊及砲兵第十四旅團第四中隊ノ^{シキア}來著(三四)

八月二十六日 ^{シキア}シキア 附近ノ戰鬪(第六日).....一三八

西方面ノ情況(三六)八月二十六日 ^{シキア}峠附近ニ於ケル露軍配置ノ概要(四二)八月二十六日中將ラデツキーノ情況判斷(四三)戰鬪ノ結果(四三)八月二十三日スライマンバシアノ情況判斷(四四)

其三 六日間ノ戰鬪後 ^{シキア}シキア 方面八月三十日迄ノ情況.....一四五

其四 八月十三日ヨリ「オスマンバザール」部隊ノ行動.....一四九

軍總豫備隊ノ位置ニ在リシ第十一軍團ノ部隊「オスマンバザール」部隊ニ復歸ス(五〇)八月十八日「オスマンバザール」部隊ノ位置(五〇)南部兵團豫備隊ニ在リシ第十一軍團ノ部隊原隊ニ復歸フ(五二)「エレナ」支隊「オスマンバザール」部隊長ノ隸下ニ入ル(五三)北隊ノ一部援助ノ爲

ニ第十三軍團方面ニ向フ(五四)少將サロフノ部隊 ^{プリゴ}プリゴニ進ム(五五)少將サロフノ部隊狙撃歩兵第三旅團歩兵第三師團ノ約半部ノ南進(五五)第十三軍團方面ニ再援助(五七)第十三軍團方面ノ援助部隊北隊ニ復歸ス(五七)迂回ニ關スル中將シアコウスコエノ意見具申(五八)迂回部隊ノ編成(五九)軍參謀長ノ ^{シキア}來著並中將シアコウスコエノ新任務(五九)

三 東方面ノ作戦.....一六一

其一 「ルスチユツク」兵團ノ行動.....一六一

八月中旬ノ情況.....一六二

「ルスチユツク」兵團八月中旬位置ノ概要(六二)「ルスチユツク」兵團前面土軍ノ概況(六三)「ルスチユツク」兵團司令官ノ得タル敵情(六三)歩兵第一師團第二旅團砲兵二中隊「ルスチユツク」兵團ニ復歸ス(六四)「ルスチユツク」兵團ノ防禦計畫(六四)

「ルスチユツク」兵團ノ威力偵察.....一六五

八月二十日「ルスチユツク」兵團ノ配置並第十三軍團方面ノ情況(六七)八月二十一日第十三軍團ノ威力偵察實施(七〇)土軍野戰部隊ノ編成並左翼ノ前進(八〇)土軍 ^{アハザ}アハザ 攻撃ヲ企圖ス(八四)

八月二十一二三日 Ajazlar 附近ノ戦闘……………一八五

二十二日戦闘ノ情況(一八五) 二十三日戦闘ノ情況(一九三) 戦闘ノ結果(一九四)
二十三日兵團司令官ノ處置(一九五) 二十四日兵團司令官ノ陣地偵察(一九六)
二十八日三十日ルスチュック兵團位置ノ概要(一九六) 土軍 Kara Hasan 附近
ニ對シ攻勢ヲ企圖ス(一九七)

其二 下流ドナウ兵團及下流ドナウ師團ノ行動……………一九九

八月中旬ニ於ケル下流ドナウ兵團ノ情況(一九九) 土軍 Sultana ニ上陸ノ
報(二〇一)

其三 「アッレル」支隊ノ行動……………二〇二

四 西方面ノ作戰……………二〇四

八月十三日西部兵團位置ノ概要(二〇四) 八月十三日軍參謀長ノ通報(二〇六)
八月十六日乃至十八日ノ情況(二〇六) 騎兵第九師團 Vit 河左岸ノ進
出(二〇七) 八月十八日 Plevna 攻撃ニ關スル期日ノ決議(二〇九) 土軍 Plevna 岬
攻撃ノ通報及 Plevna 攻撃ノ延期(二〇九) 八月二十日乃至二十二日騎兵
第九師團 Vit 河左岸ノ行動(二一〇) 八月二十一日軍參謀長通報(二一一) 八
月二十二日西部兵團ノ部署(二一一) 八月二十三日少將スコベレフ部隊
ノ Kakrina 到着(二一五) 少將スコベレフ部隊ノ使用ニ關スル交渉(二一五) 少

第十五章

八月三十日ヨリ
九月中旬ニ至ル 作戰……………二二二

一 一般ノ情況……………二二二

八月三十日後軍ノ新部署(二二二) Plevna 守兵ノ出撃(二二四) Lovcha ノ占領(二二四) 土軍
Silistra ノ陽攻(二二四) Adrianovo Kacolevo 附近ノ戦闘(二二五) ルスチュック兵團ノ退
却(二二六) Plevna 第三會戰(二二七) 軍事會議(二二八) Plevna 攻圍ノ企圖(二三〇) 八月三十
日ヨリ九月中旬ニ至ル土軍ノ概況(二三二)

二 南方及東南方面ノ作戰……………二三五

其一 「シプカ」兵團ノ行動……………二三五

九月中旬 Zipka 陣地ノ配備(二三七) 土軍ノ情況(二四〇)

其二 「シァ」コウスコエ」兵團ノ情況……………二四三

「ルスチュック」兵團方面トノ連絡(二四六) 威力偵察(二四七)

三 東方面ノ作戰……………二四九

其一 「ルスチュック」兵團ノ行動……………二四九

八月三十日 Kara, Hasan, Hajdar, Ajazlar 附近ノ戦闘 八

竝ニ Ströklevo 附近ノ衝突……………二四九

八月三十日第十三軍團諸隊ノ位置(四九) Kara Hasan 附近露軍ノ陣地(三五) Karahasan 附近ノ戦闘經過(三四) Hajdar 附近ノ戦闘(三六) Ajazlar 附近ノ戦闘(六三) 第十三軍團 Kovyovce ニ退却ス(三五) 土軍 Kara Hasan ノ攻撃(六七) Hajdar 及 Ajazlar 附近土軍ノ攻撃(六九) 八月三十日ニ於ケル兵團司令官ノ決心ト軍命令(七〇) 九月二日兵團司令官 Kacolevo 附近ニ於テ攻勢移轉ヲ企圖ス(七二) 九月三日ノ軍訓令ト兵團司令官ノ決心變更(七三) 九月四日「ルスチュック」兵團ノ配置竝左翼部隊ノ情況(七四) 土軍 Kacolevo Ströklevo 攻勢ヲ企圖ス(七五) Kacolevo 攻撃ニ關スルメヘメツトアリーブシアノ部署(七六)

九月四日 Ströklevo ノ戦闘……………二八〇

戦闘經過(七八) 戦闘ノ成績(七八) 九月四日 Ströklevo 戦闘後兵團司令官ノ決心竝部署(八三) 兵團司令官ノ決心變更(八四) 九月五日「ルスチュック」兵團ノ軍隊區分(八五) 土軍 Kacolevo 攻撃ニ關スル命令(八五) 九月四日「ルスチュック」兵團ニ對スル土軍ノ配置(八六)

九月五日 Kacolevo, Ablanovo 附近ノ戦闘……………二八七

Kacolevo Ablanovo 附近ノ地形及露軍ノ陣地(八七) Kacolevo 附近戦闘經過(八九) Ablanovo 附近ノ戦闘經過(九三) 九月五日正午「ルスチュック」兵團司令官ノ處置(九六) 九月五日午後 Kacolevo Ablanovo 附近戦闘後兵團司令官ノ處置(九九)

「ルスチュック」兵團 Jantra 河畔ヘノ退却……………三〇〇

退却ニ關スル兵團命令(三〇二) 右翼部隊ノ退却(三〇三) 中央部隊退却(三〇九) 左翼部隊退却(三一〇) 九月八日退却續行(三一三) 九月九日「ルスチュック」兵團ノ位置(三一三)

其二 下流「ドナウ」兵團及下流「ドナウ」師團ノ行動……………三一七

下流「ドナウ」師團ノ情況(三一八)

其三 「アッレル」支隊ノ行動……………三二〇

九月二日土軍 Silistria 陽動ニ對スル動作(三二二) 「アッレル」支隊ニ對スル土軍ノ情況(三二三)

四 西方面ノ作戦……………三二四

其一 八月三十日ヨリ 少將イメレチンスキーノ部隊ノ情況……………三二四

ロフチヤ Lovca ニ向フ前進並攻撃準備……………三二四

ロフチヤ Lovca 攻撃ニ關スル八月三十一日ノ軍命令(三二五)八月三十一日ニ於ケル少將イメレチンスキーノ前進計畫(三二六)八月三十一日 Plevna 守兵

出撃ニ際シ軍司令官ノ命令(三二七)九月一日ノ爲ノ命令(三三〇)九月一日ニ於ケル少將スコベレフ部隊ノ行動(三三二)九月一日夜ニ於ケル少將

イメレチンスキー諸隊ノ位置(三三五)九月二日夜ニ於ケル少將イメレチンスキー部隊ノ位置(三三七)

ロフチヤ Lovca ノ攻撃……………三三七

ロフチヤ Lovca 附近ノ地形(三三八)九月二日 Lovca 攻撃ノ命令(三四三)左縦隊ノ展開

(三四八)右縦隊ノ展開(三五〇)高加士哥薩克騎兵旅團ノ位置(三五二)砲戰ノ情

況(三五三)右縦隊ニ對スル土軍ノ出撃(三五三)右縦隊攻撃前進(三五三)左縦隊

ノ行動(三五五)高加士哥薩克騎兵旅團ノ行動(三五八)

オスマン Osma 左岸陣地ノ攻撃……………三六一

午後三時頃迄ニ於ケル Lovca 占領部隊ノ情況(三六一)午後三時頃迄ニ於ケル步兵第二師團第一旅團ノ情況(三六四)午後三時頃迄ニ於ケル高

加士哥薩克騎兵旅團ノ情況(三六五)第六號堡壘ノ占領(三六六)

ロフチヤ Lovca 占領後ノ情況並ニ Plevna ニ向フ前進……………三七三

九月四日少將スコベレフ部隊ノ行動(三七四)四日少將イメレチンスキー

ノ處置(三七五)五日ノ爲少將イメレチンスキーノ命令(三七六)五日少將

イメレチンスキー部隊ノ行動(三八〇)オスマンバシアノ Lovca 救援(三八二)

其二 八月三十日ヨリ 西部兵團並羅馬尼亞軍ノ情況……………三八四

九月五日ニ至ル 八月三十一日 Zgaljuvec 及 Pelisat 附近ノ戰鬪……………三八四

八月三十日 Plevna 攻撃準備ニ關スル軍命令(三八四)兵團司令官ノ得タル敵情(三八五)八月三十一日西部兵團ノ位置(三八五)第四軍團方面ノ戰況

(三九二)第九軍團ノ情況(三九二)戰鬪ノ結果(四〇〇)オスマンバシア威力偵察ヲ企圖ス(四〇〇)

九月一日乃至五日ノ西部兵團ノ情況……………四〇二

攻撃準備(四〇三)九月二日 Plevna 攻撃延期ニ關スル軍命令(四〇三)攻撃砲

兵ノ使用法ニ關スル決議(四〇五)九月三日西部兵團司令官ノ部署(四〇六)

大佐レービンデルノ行動(四〇六)露土兩軍 Boshak 附近ノ小衝突(四〇七)騎

兵諸隊ノ増加(四〇七)九月三日夜西部兵團司令官ノ處置(四〇八)九月三日

夜及四日大佐フォンデルラウニッツ部隊ノ行動(四〇九)九月四日「ドン

哥薩克騎兵旅團ノ行動(四二二)攻城砲兵隊ノ來著(四二二)九月五日イメレ

チンスキー部隊ノ來著(四二二)

目次

二

羅馬尼軍ノ西部兵團ニ向フ前進……………四二二

カール王 Plevna 攻撃軍ノ司令官ニ任セラルル(四二三) 九月五日 Plevna 攻撃ニ任スル羅馬尼軍ノ位置(四二三)

Plevna 攻撃軍ノ集合……………四一四

其三 Plevna 第三會戰……………四一七

會戰前ノ情況……………四一七

Plevna 第三會戰前ニ得タル情況(四一七) Plevna 附近土軍陣地ノ狀態(四一七)

オスマンバシア軍 Plevna 守備ノ情況(四二三) 攻撃計畫(四二七) 攻撃準備陣地占領ニ關スル六日ノ命令(四三二) 六日ニ於ケル羅馬尼軍ノ行動(四三五)

六日ニ於ケル第九軍團ノ行動(四三六) 六日ニ於ケル第四軍團ノ行動(四三六) 六日ニ於ケル少將イメレチンスキー部隊ノ行動(四三六) 步兵第三師團第一旅團及砲兵第三旅團半部ノ情況(四三六)

九月七日ノ戰鬪(砲戰第一日)……………四四七

羅馬尼軍ノ情況(四四八) 第九軍團ノ情況(四四八) 騎兵第九師團ノ情況(四五〇) 第四軍團ノ情況(四五〇) 少將イメレチンスキー部隊ノ情況(四五二) 八日ニ關スル攻撃軍ノ命令(四五四)

九月八日ノ戰鬪(砲戰第二日)……………四五五

羅馬尼軍ノ情況(四五五) 羅馬尼第四師團ノ Cherven 堡壘外方散兵壕ノ占領(四五六) 第九軍團ノ情況(四五七) 第四軍團ノ情況(四五九) 少將イメレチンスキー部隊ノ行動(四六三) 綠山第二嶺攻撃(四六九) 土軍綠山ニ出撃(四七三) 露軍ノ逆襲(四七四) 綠山攻撃ニ際シ砲兵ノ協同(四七四) 少將スコベレフ部隊ノ配備(四七五) 集成騎兵團ノ行動(四七五) 九日ニ關スル攻撃軍命令(四八三)

九月九日ノ戰鬪(砲戰第三日)……………四八三

羅馬尼軍ノ情況(四八三) 第九軍團ノ情況(四八四) 攻城砲兵ノ陣地變換(四八七) 第四軍團ノ情況(四八七) 少將イメレチンスキー部隊ノ情況(四八九) 集成騎兵團ノ情況(四九五) 攻撃軍司令官九日夜ノ情況判斷(四九七)

九月十日ノ戰鬪(砲戰第四日)……………四九七

羅馬尼軍及第九軍團ノ情況(四九七) 第四軍團ノ情況(四九七) 少將イメレチンスキー部隊ノ情況(五〇〇) 少將スコベレフ豫備隊ノ許ニ歸リ第二嶺攻撃ノ爲部署ス(五〇三) 集成騎兵團ノ情況(五〇六) 七日ヨリ十日ニ至ル砲戰ノ結果(五〇九) 十一日ノ爲攻撃軍命令(五一二)

九月十一日ノ戰鬪(攻撃第一日)……………五一六

右翼方面ノ情況(五一六) 羅馬尼軍ノ攻撃(五一六) 第九軍團ノ攻撃……………中央

方面ノ情況(五三〇)中央方面ニ於ケル砲兵ノ情況(五三四)中將シュニトニ
 コフ部隊ノ情況(五三六)歩兵第六十三第七聯隊ノ攻撃(五三八)歩兵第
 六十四聯隊ノ攻撃(五四三)歩兵第一百八聯隊ノ攻撃(五四五)歩兵第二百二十
 四聯隊ノ攻撃(五四六)歩兵第二十聯隊ノ攻撃(五四七)左翼方面ノ情況(五四八)
 少將スコベレフ部隊ノ情況(五四九)少將スコベレフ部隊第三嶺ノ攻撃
 (五五〇)第三嶺ニ向フ土軍ノ出撃(五五二)午後二時ニ於ケル少將スコベレ
 フ部隊ノ逆襲及午後三時ニ於ケル位置(五五三)午後三時頃ニ於ケル少
 將イメレチンスキー部隊ノ情況(五五三)午後三時頃迄ニ於ケル少將レ
 オンチエフ部隊ノ情況(五五四)午後三時頃ニ於ケル少將スコベレフ部
 隊ノ攻撃(五五六)第十九號堡壘ノ占領(五五八)午後五時ニ於ケル土軍ノ逆
 襲(五五八)午後三時以後ニ於ケル少將イメレチンスキー部隊ノ情況(五
 六〇)第十八號堡壘ノ占領(五六二)夕刻ニ於ケル少將スコベレフノ處置(五
 六二)少將スコベレフ部隊夜間ノ處置(五六四)少將イメレチンスキー部隊
 夜間ノ位置(五六七)十一日夜オスマンバシアノ決心(五六八)集成騎兵團ノ
 情況(五六九)

九月十二日ノ戰鬪(攻撃第二日).....五七一

右翼方面ノ情況(五七二)午前八時第八號堡壘ニ向フ土軍ノ出撃(五七三)第
 九軍團長ノ配備ニ關スル意見具申(五七三)中央方面ノ情況(五七五)左翼方
 面ノ情況(五七七)午前七時土軍第一回ノ出撃(五七九)午前九時土軍第二回

會戰後ノ情況.....五八六

ノ出撃(五七九)午前十時三十分土軍第三回ノ出撃(五七九)正午、前ニ於ケ
 ル土軍第四回ノ出撃(五八〇)午後三時土軍第五回ノ出撃(五八三)午後四時
 三十分土軍第六回ノ出撃(五八三)少將スコベレフ同イメレチンスキー
 部隊紅山ニ向ヒ退却ス(五八五)集成騎兵團ノ情況(五八六)

十三日ノ情況(五八六) *Дюна*ノ攻圍(五八七)會戰ノ結果(五八八)第三會戰直後
 オスマンバシア軍ノ情況(五八九)

第十六章 七月中旬以後ヨリ九月中旬ニ至ル迄ノ小亞細亞

作戰軍ノ概況.....五九二

七月中旬一般ノ情況及軍司令官ノ決心(五九三)リオン兵團ノ情況(五九三)
 七月下旬本軍ノ情況(五九四)八月中旬本軍ノ情況(五九五)七月下旬土軍ノ
 情況(五九七)八月土軍ノ情況(五九八)

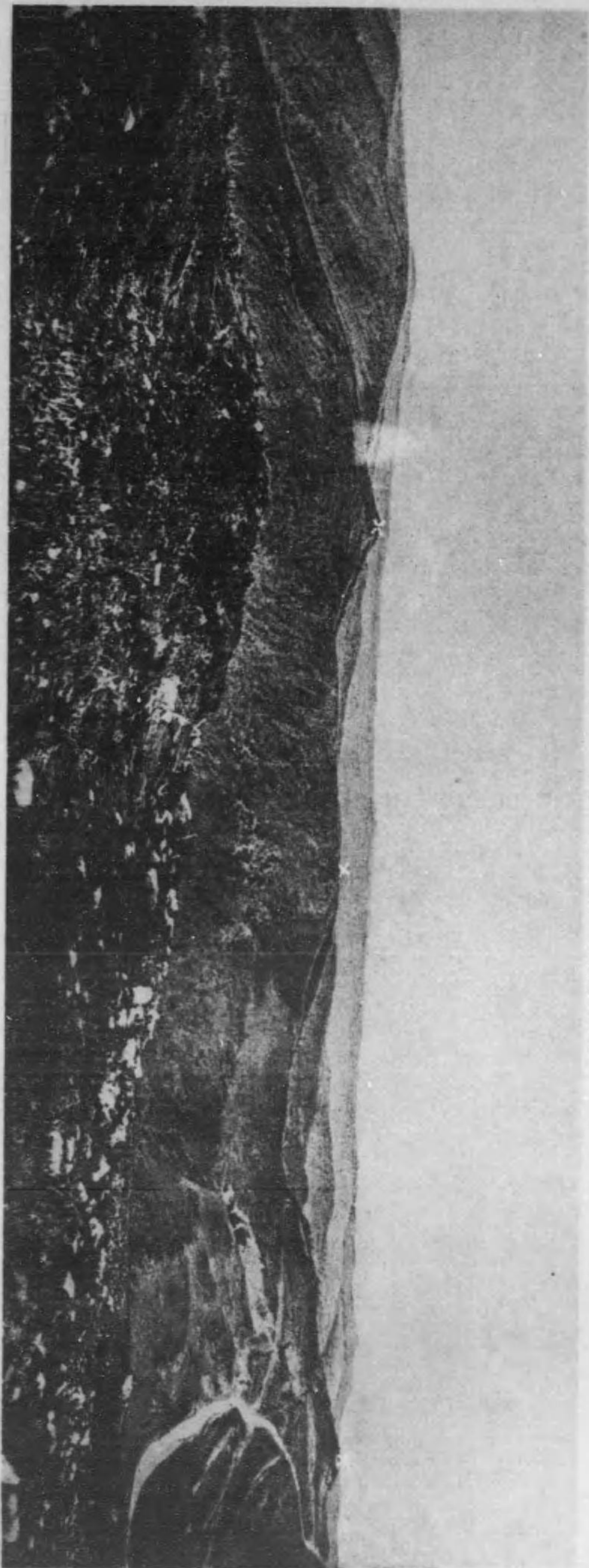
第十七章 開戰當初ヨリ九月中旬ニ至ル迄ノ黑海及同沿岸

防備ノ情況.....六〇〇

黑海沿岸防備計畫(六〇二)陸上ノ情況(六〇四)海上ノ情況(六〇五)土國海軍ノ
 行動(六〇七)

十七八百年七露土戰史第三卷目次終

Св. Никола 山上より西北方 Shipka 峠以西ノ諸山ヲ望ム

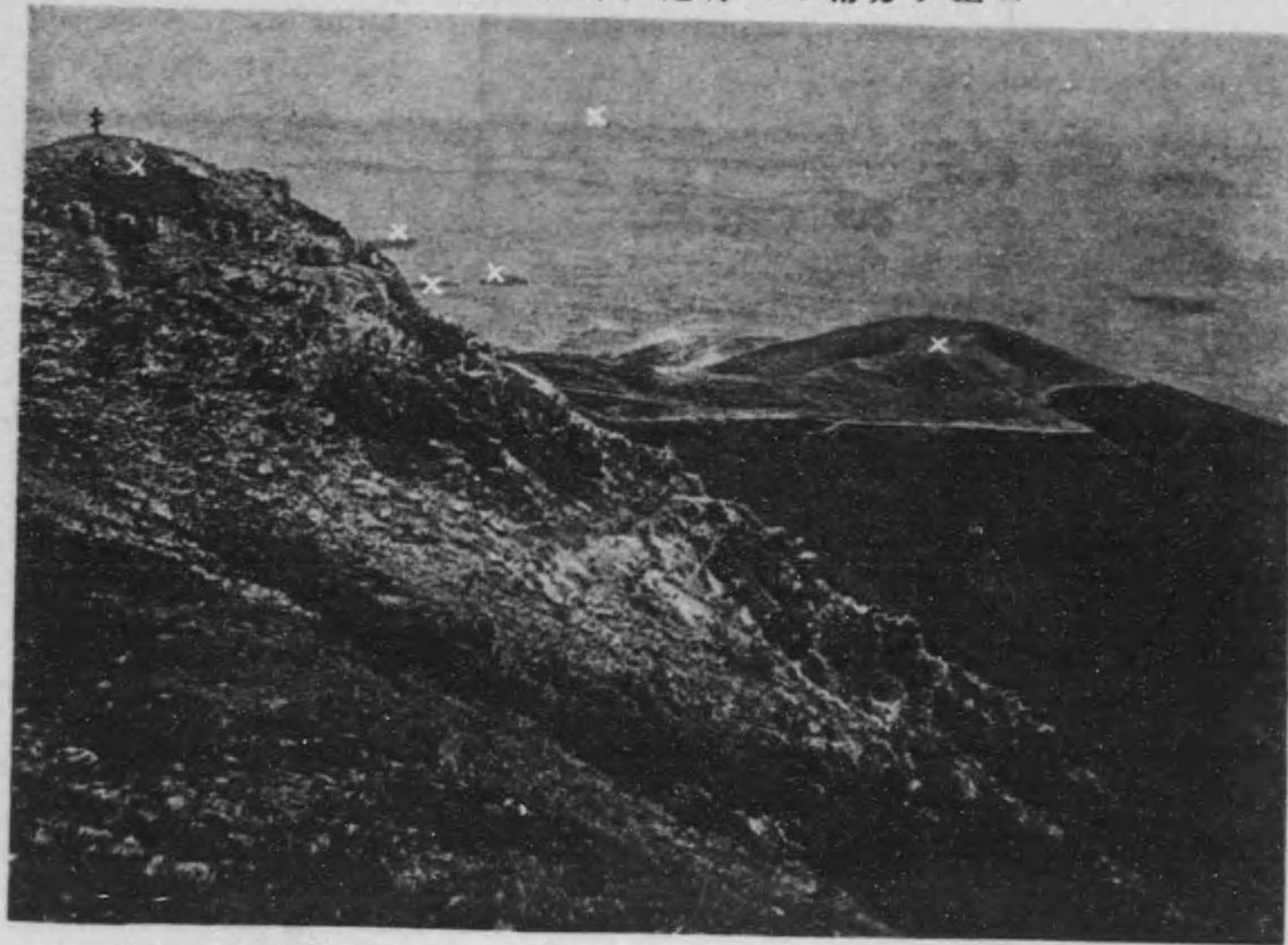


Lysajagora

Wojniskajagora

Gora Centralnaja

Sv. Nikora 山上北部突起部ヨリ南方ヲ望ム



圖ノ上部雲際ニ當リ水平ニ見ユルハ Srnenagora 山脈ナリ

Sv. Nikola 山

Kazanlik
Šipka Šejnovo

標高 560 高地

綠山第二嶺ヨリ同第三嶺及第十八第十九號堡壘ヲ望ム



綠山第三嶺

第十九號堡壘 第十八號堡壘



十七八百七 露土戰史第三卷

第十四章

八月中旬ヨリ同 三十日ニ至ル 作戰

一 一般ノ情況 第一覽圖第一第二第三並附圖 第三十六第三十八參照

八月十三日 露軍位置ノ 概要



八月十三日 Donau 河右岸布爾牙利内ニ在ル露軍ハ既記ノ如ク第二卷二五六頁 並同卷附錄第七

分參照 六軍團ニシテ西正面ニハ Yunski-Prostenik, Pelizat ノ線ニ西部兵團アリ

Joglav 附近ニ同兵團所屬ノ高加士哥薩克騎兵旅團アリ又同兵團ノ右翼ニ

ハ羅馬尼第四師團アリ南正面ニハ Kakrina, Seviljevo, Dipka, Elena, Dzulfjunci ノ線

ニ南部兵團アリ東正面ニハ Ajazlar, Pirgoz ノ線ニルスチョク兵團アリ軍總豫

備隊ハ Grn. Studena ニ在リ步兵第二師團第三師團ハ軍ニ追及中ニシテ少將

アレクサンドロフ支隊ハ下流ドナウ師團ト交代シテ布爾牙利戰地ニ前進

セントシアッレル支隊及下流ドナウ兵團ハ四角要塞ノ北部及東北部ニ對

シ Giurgevo, Otenita, Calarasi, Cernavoda, Kistenije ノ線ニ在リ

當時軍司令官ノ知り得タル敵情左ノ如シ

Plavna プレヴナ ニハオスマンパシアノ率ユル約三萬ノ土軍在リ
Lovca ロヴカ ニハ步兵六七大隊ノ土軍アリスライマンパシアハ スラヴツァツァ Strazgora 附近
ノ戰鬪後東進シテ ノボザゴラ Novazgora ニ到リ同地附近ニ兵力ヲ集中セルカ如ク
又風評ニ依レハ四角要塞ノ土軍モ ラズグラド Razgrad 附近ニ集中シテ前進ヲ企圖
スルモノノ如シ

軍司令官ハ南部兵團ト「ルスチ」兵團トノ間ニ大ナル間隙アリ四角要塞
内ノ土軍此地區ニ前進スル場合ニ於テ守備薄弱ナルヲ憂慮シ而シテ狙撃
步兵第三旅團ハ既ニ布爾牙利戰地ニ到達シ軍豫備隊ニ合セシヲ以テ曩ニ
七月下旬西部兵團ニ増加シ當時軍豫備隊タル第十一軍團 歩兵第三十二師團第
一旅團砲兵第三十二
旅團第一第三第四第六中隊、兵第十一師團第一旅團砲 騎兵第十一聯隊
騎兵第十一聯隊砲兵第十一聯隊 砲兵第十八中隊 ヲ歸還セシムルニ決シ十五日
Grn. Studena 出發 Cajir ニ到ラシム而シテ オスマンバザール Osmanbazar, ポポヴォ Popovo 方面ノ部隊ヲ
統一指揮下ニ置カント欲シ步兵第十一師團及騎兵第十三師團ヲ第十一軍

第十一師團
主力
方面ニ復歸

團長中將シアコウスコエノ指揮ニ屬シ且同中將ヲ中將ラデツキーニ隸屬
セシム 龍騎兵第十一聯隊ハ少將スコベレフニ屬シ Lovca 方面ニ在リシ爲十五日
Grn. Studena ニ到達
シ二十一日出發二十四日 Cajir ニ於テ原隊ニ合ス又「ドン」哥薩克騎砲兵第八中隊ハ依然高加
土哥薩克騎兵旅 團ニ配屬セラル 第十一軍團ノ前記諸隊ハ十八日 Trnovo Trnovo ノ東北方 Gorski Grn. Trnava Gorski Grn. Trnava
附近ニ至リ同地ニ駐留ス

八月中旬軍
司令官ノ意

軍司令官ハ來著スヘキ増援部隊ヲ西部兵團ニ増援シ速ニ プレヴナ Plavna ヲ攻略セ
ント欲シ一方羅馬尼軍ト交渉シテ其協力ヲ求ム而シテ十八日軍參謀長ネ
ポコエチツキーハ西部兵團司令官中將ツォトフト商議シ攻城砲兵ヲ西部
兵團ニ増加シ又羅馬尼軍及步兵第二師團來著セハ步兵第三師團ノ來著ヲ
待タスシテ プレヴナ Plavna 第三次攻撃ヲ實施セントセシモスライマンパシア軍巴
爾幹山ニ向ヒ前進シ來リシヲ以テ プレヴナ Plavna 攻略ニ使用セントシタル新銳ナ
ル軍隊ハ逐次南方面ニ吸收セラルルニ至レリ始メ軍司令部ニ於テハスラ
イマンパシア軍ニ關シ國外ヨリ左ノ諸情報ニ接セリ

一、倫敦發電報 日十四 スライマンパシアハ増援ヲ受ケ其兵力七萬ニ達ス而

スライマン
パシア軍ニ
關シ得タル
情報

シテ其三分ノ一ハ Adrianopol ニ駐留シ殘餘ハ巴爾幹山ヲ越ユルナラン
「タイムス」紙ノ報スル所ニ依レハスライマンパシアハ Nikka 峠ニ對シ
監視部隊ヲ殘シ Trnovo ヲ威嚇センカ爲ニ Slivno ヲ經テ巴爾幹山ヲ越
ユルナラン

二、露都十七日發

(イ) 十四日維納發ノ報ニ依レハスライマンパシアハ Tvardica 及 Kalofel

Sipka, Trojan 兩峠間 Kosulita 峠ヲ守備ス
ニ到ル山路ノ出口ニ在リ

(ロ) 八月十五日維納發ノ報ニ依レハオスマンパシアハ Trnovo ニ前進シ

同時ニメヘメットアリーモ同地ニ進ミスライマンパシアノ前進部

隊ハメヘメットムヒリバイノ指揮下ニ屬シ Tarraga ヲ占領シテ更

ニ Belovo ニ前進シラシムパシアハ Kosulita 峠 Kalofel ノ北方 Novoselo ニ

ヲ通過ス又三萬五千ノ土軍ハ小亞細亞ノ Bagdad ヨリ君士坦丁堡ニ

向テ出發ノ命ヲ受ケタリスライマンパシアハ八月十四日 Tvardica 峠

及 Hankioj 附近ヲ占領ス

十九日午後六時十五分及九時十五分發中將ラデツキーノ報告ノ要旨左ノ
如シ

一、スライマンパシアハ二十四大隊及不正規騎兵三千ヲ率キテ Sipka 峠
ニ向テ展開ス

少將デロチンスキー及少將ストリエトフヨリノ諸電報ニ依レハ Sipka
峠ニ對シ土軍ハ莫大ナル兵力ヲ集中シタルヲ確認ス

一、スライマンパシア軍ハ一部ヲ以テ Sipka 方面ニ主力ヲ以テ Trnovo ノ
東南方ニ前進スルナラン故ニ若シ Klana ヨリ警報ニ接セハ本官ハ豫
備隊ヲ率ヒテ Trnovo ヨリ Klana ニ向ハントス

三、西部兵團ハ主方ヲ以テ Lovva ヲ監視スル軍隊ヲ増援スヘキヤ否ヤ
當時軍豫備隊ハ Grr. Studena ニ在ル狙撃歩兵第三旅團砲四門ヲ有ス及歩兵
第二師團アルノミ 同師團ハ十四日乃至十九日ニ於テ
Zimnica ニ於テ Donau 河ヲ渡過シタリ 此外増援トシテ前進中ノ部隊

八月十九日
軍司令官ノ
部署

步兵第三師團及「ドン」アリト雖モ八月下旬後ニアラサレハ軍ニ追及シ能ハサル
 哥薩克騎兵第二師團ノ情況ニ在リ乃チ軍司令官ハ步兵第二師團ヲ *Bela Cerkovna* ニ進メ要スレハ
 南部兵團ヲ増援セントシ又特ニ中將ラデツキーノ請ニ依リテ *Lovca* ニ對
 スル部隊ヲ増加セシメントス然レトモ軍司令官ハ *Plevna* ヲ速ニ攻略セン
 トスル念鬱勃トシテ禁スル能ハス之カ爲成シ得ル限り西部兵團ニ増加セ
 ント豫定セル步兵第二師團ヲ過早ニ *Sipka* 峠附近戦闘ノ渦中ニ投スルコ
 トヲ避ケントセシモ又中將ラデツキーノ *Sipka* 方面ノ敵情ヲ輕視セルヲ
 危虞シ同夜左ノ要旨ノ訓令ヲ中將ラデツキーニ下ス
Sipka 峠及 *Trevna* 峠ノ *Bedek* 山ヲ固守スヘシ予ハ貴官ノ請求ニ應シテ步
 兵第二師團ヲ *Bela Cerkovna* ニ差遣シ又要スレハ「セルエビ」支隊ヲ援助セ
 ントス予ハ此師團ニ特別ノ重要ナル任務ヲ與フルノ企圖ヲ有スルカ故
 ニ事情止ムヲ得サル場合ノ外ハ同師團ヲ使用セサルコトヲ望ム
 二十日軍司令官ハ左ノ報告ニ接ス

中將ラデツキーハ *Bebrovo* 方面ニ敵ノ來襲アリシヲ知リスライマンパ
 シア軍ノ主力同方面ニ來ルモノトナシ *Trnovo* ニ在リシ豫備隊ヲ率キテ
Elena 及 *Zlatarica* 方面ニ前進ス
 其後 *Sipka* 守備隊ヨリ直接ニ左ノ報告ニ接ス
 スライマンパシアハ主力ヲ以テ *Sipka* ニ向ヒ前進セシモノノ如シ
 次テ中將ラデツキーヨリ *Elena* 方面ニ敵ノ大兵存在セサリシ爲直ニ *Trnovo*
 ニ歸還ス「トノ報告ニ接シ露軍司令部ニ於テハ今ヤスライマンパシアノ大
 兵 *Sipka* ニ向ヒ前進セシコトヲ確認シ同二十日軍司令官ハ左ノ要旨ノ命
 令ヲ下ス

一歩兵第二師團ハ *Batak* ヲ經テ八月二十一日ニ *Bela Cerkovna* ニ到着スルヲ
 要ス同師團ノ任務ハ *Lovca* ニ在ル土軍スライマンパシアノ軍ヲ援助
 スル爲攻勢ニ出ツルノ虞アルカ故ニ *Trnovo* 及 *Gabrovo* ニ通スル道路
 ヲ警戒シ及步兵第十四師團第一旅團 *Sevljevo* 等リ *Gabrovo* ニ轉進ス

ル場合ニ於テ之ト交代シテ *Sevrijevo* ニ到ルニアリ故ニ步兵第二師團ハ此目的以外ニ *Bela Cerkova* ヨリ他ニ移動スヘカラス之レ南部兵團若シスライマンパシア軍ノ攻撃ヲ拒止スルヲ得ハ企畫セラレタル *Plevna* 決戦攻撃ニ於テ同師團ヲ其左翼ニ参加セシメント欲スルニ依ル

二、南部兵團司令官中將ラデツキーハ絶エス第十三軍團ニ情況ヲ通報シ以テ適時ニ其援助ヲ受ケ得ル如クスヘシ又 *Sipka* 峠ノ守備隊ヲシテ防禦ニ必要ナル事項ハ凡テノ手段ヲ盡シテ遺憾ナカラシムヘシ

三、在 *Nikind* ノ騎兵諸隊指揮官少將ラテエフ 騎兵第九師團 第一旅團長 ハ *Yhovo* 警戒ノ目的ヲ以テ少クモ一聯隊ヲ差遣スヘシ 爾後 *Yhovo* ニ幾何ノ騎兵目下 *Yhovo* ノ守備兵トシテ存在スルハ步兵第五十五聯隊ノ一大隊 第二大隊 ニ過キス

四、セルエビ支隊司令官中將スワヤトボルク、ミルスキーハ誇大ノ報告ヲ

慎ミ以テ步兵第二師團ヲシテ將來ノ企圖即チ *Plevna* 攻撃ニ參與セシメントスル考案ヲ放棄セサラシムルニ注意スルヲ要ス同攻撃ハ八月二十九日ニ開始セラルルナラン之カ爲 *Lovca* ニ在ル土軍ノ動靜ニ關シテハ特ニ細心注意シテ報告スヘシ又 *Trojan* 峠ヲ通過シテ *Gidrovo* 及 *Sevrijevo* ニ通スル道路ヲ嚴ニ監視シ此方向ヨリ敵兵不意ニ現出スルコトナカラシムルヲ要ス

同二十日步兵第二師團ハ軍命令ニ依リ *Batak* ヲ經テ *Bela Cerkova* ニ向ヒ二十一日同地ニ到着ス

此頃土軍 *Donau* 河口 *Sulina* ニ上陸スルノ情報アリ軍司令官ハ下流「ドナウ」兵團ヨリ増援ノ請求ニ接シ下流「ドナウ」師團ニ同兵團ヲ援助スヘキヲ命ゼシモ爾後敵兵上陸セス

軍司令官ハ南方面ノ情況ヲ顧慮シ二十一日午後七時步兵第二師團ニ命令ヲ下シ同師團ヲシテ *Sevrijevo* ニ向テ前進シ同地ニ在ル步兵第十四師團第

步兵第二師團ノ南進

土軍 *Sulina* 上陸ノ報

一旅團ト交代セシム此命令ヲ下スヤ否ヤ同日夜九時四十五分中將ヲデツ
 キーヨリ左ノ報告ヲ受領ス
 二十一日正午土軍ハ Lovca ヲ發シ Sevljevo ニ向テ前進ス小官ハ步兵第
 十四師團第一旅團ヲ Sipka 峠ニ前進セシメント欲スルカ故ニ步兵第二
 師團ヲ Sevljevo ニ向ヒ急行セシメラレンコトヲ請フ
 軍司令官ハ之ヨリ先步兵第二師團ヲ Sevljevo ニ向テ前進セシメタリシモ
 尙 Lovca ヲヨリノ出撃ニ對シ兵力ノ不足ヲ顧慮シ直ニ西部兵團司令官中將
 ツォトフニ命シテ砲兵ヲ有スル步兵一旅團ヲ Lovca 東方ニ派遣シ Lovca
 ヲヨリ Sevljevo 方面ニ前進セントスル敵ノ側面ニ向ハシム
 步兵第二師團ハ二十一日 Bela Cerkova 出發途中一泊シ二十二日 Sevljevo 到
 著シ又軍命令ニ依リ西部兵團ヨリ差遣セル少將スコベレフノ部隊步兵四大
隊騎兵十
 門工兵半大隊 ハ同日 Sevljevo-Lovca 街道ニ在ル Karina ノ陣地ニ到達ス
 此頃軍司令部ニ於テハ曩ニ土軍 Lovca ヲヨリ Sevljevo ニ向ハントセルハ單

八月二十二日
 少將スコ
 ベレフ部隊
 ノ Karina
 前進

八月二十四日
 日軍報告
 激

ニ偵察ノ目的ニ過キサリシコトヲ確知シ又 Sipka 方面ニ於テハ二十一日
 以來絶エススライマンパシア軍ノ激烈ナル Sipka 攻撃ニ關スル報告ヲ受
 領シ特ニ二十四日軍司令官ハ中將ヲデツキーヨリ左ノ報告ヲ受領ス
 一、戦闘ハ午前四時開始セラレ土軍ハ攻勢ニ轉シ諸陣地ニ於テ激戦起レ
 リ午前五
時發
 二、兩軍ノ對戦ハ既ニ四日ニ涉リ豫備隊モ亦漸次戦闘ニ加ハルニ至レリ
午前八時
前後發
 三、本日二十
四日ノ戦闘ハ彼我猛烈ヲ極ム之カ爲豫備隊ヲ漸次戦闘線ニ使用
 セリ兵卒ハ頗ル疲勞セリ午後二
時頃發
 四、二十四日終日兩軍激戦ヲ交エ我軍ノ損傷ハ昨日ト同様ナリ予ハ明二
 十五日攻勢ヲ取ラントス步兵第十四師團第二旅團ハ既ニ到著シ尋テ
 増援トシテ來著セル步兵第五十三聯隊ハ既ニ整頓ヲ終リタリト雖モ
 此等ノ部隊ハ到著ノ際温食及特ニ飲料水缺乏ノ爲大ニ疲勞セルヲ以

八月二十四日軍司令官ノ處置

テ第一線ト交代セシムル能ハス同夜二時頃發
軍司令官ハ中將ラデツキーノ指揮下ニ在ル諸隊中使用シ得ヘキモノハ殆ト悉ク *Dipka* 峠ニ招致セラレ最早使用スヘキ新銳ノ部隊ナキト峠上ノ守兵ハ連日ノ戰鬪ニ於テ甚シク疲勞セルトテ慮リ露軍ハ二十四日二十五日現ニ土軍ノ左翼ニ向ヒ攻勢ニ轉シタリ
シモ土軍ヲ擊退スルヲ得ス而シテ露軍ハ三方面共ニ土軍ニ包圍セラレ甚不利ノ情況ニ在リタリ 同二十四日夜左ノ處置ヲ爲ス

一、中將ラデツキーニ訓令シテ夜十二時三十分發情況之ヲ要スレハ *Seviljevo* ニ在ル

步兵第二師團ノ内一旅團竝ニ *Prisovo* ニ在ル第十一軍團ノ一旅團此部隊ハ少將サロフノ步兵四大隊砲十六門ニシテ中將シアコウスコエノ獨斷ニ依リ支隊ノ増援トシテ *Prisovo* ニ集合セシモノナリ *Sipka* 峠ニ招致シ又

狙撃歩兵第三旅團砲四門ヲ有ス *Nikjup* ヨリ *Trnovo* ニ前進セシム

二、狙撃歩兵第三旅團砲四門ヲ有ス *Grn. Studena* ヨリ *Nikjup* ニ前進セシム同旅團ハ

當時軍ノ最後ノ豫備隊タリ故ニ之カ使用ニ就テハ皇帝ト軍司令官ノ評議ニ依レルモノナリト云フ

二十五日軍司令官ハ *Sipka* 方面ノ戰鬪激烈ナルモ其他ノ情況ハ一般ニ靜

八月二十五日ノ情況

穩ナルヲ知ル其大要左ノ如シ

一、西部兵團司令官ノ報告ニ依レハ *Plevna* ハ靜穩ナリ以下ノ報告ハ *Plevna* ヨリ土軍出動セサルヤ否ヤノ對スルモノナリ *LOYGA* ノ大街道ニハ既ニ數日來敵ノ部隊ヲ見ス少將スコ

ベレフノ意見ニ依レハ *LOYGA* ノ守兵ハ著シク減少シ五千ヲ過キス然

レトモ果シテ *Plevna* ヨリ敵ノ出動ナキヤ否ヤニ關スル確證ナシ

二、*ルスチュック* 兵團司令官ノ報告ニ依レハ八月二十三日 *Ajvalar* 附近ニ

於テ戰鬪アリ之カ爲第十三軍團ノ配備ニ若干ノ變更ヲ見シモ兵團ノ

正面及左翼方面ハ依然トシテ靜穩ナリ右翼方面ニ於テハ土軍集中ノ

狀アルモ工事ヲ施セリ

三、*オスマンバザール* 部隊長ノ報告ニ依レハ *Osmanbazar* 街道及 *Elena* ハ

靜穩ナリ

此頃羅馬尼軍トノ協定大ニ進捗シ互ニ意志ノ疏通スル所アリシカ如シ乃

チ軍司令官ハ *Plevna* 攻撃ヲ延期シ同地攻撃ニ使用セントシタル步兵第二

師團ヲ *Sipka* ノ戰場ニ派遣シ當時漸ク *Donau* 河ヲ渡過シタル步兵第三師

八月二十五日軍司令官決心ノ變更(*Plevna* 攻撃ノ延期)

團ノ先頭部隊ヲ *Sevlijevo* ニ招致セントス之カ爲二十五日午後四時發ヲ以テ第十一軍團長中將シツコウスコエニ命シテ直ニ前日(二十四日)中將ラデツキーニ訓令セシ事項ヲ實施セシメ又步兵第二師團長少將イメレチンスキーニ左ノ命令ヲ下ス

步兵第二師團第一旅團ハ *Sipka* 峠ノ部隊ヲ増援スル爲直ニ *Gabrovo* ニ向ヒ出發スヘシ同地著後同旅團ノ行進ニ關スル命令ハ第八軍團長ヨリ受領スヘシ之カ爲直ニ中將ラデツキーニ急使ヲ派遣シ其旨ヲ報告スルト共ニ爾後ニ關スル命令ヲ請フヘシ第二旅團モ亦直ニ出發シ得ル如ク準備ヲ爲サシメ其旨ヲ同中將ニ報告スヘシ又時ヲ移サス信賴スヘキ間諜ヲ *Lovca* 及 *Trojan* 方面及山脈内ニ差遣スヘシ其費用ハ軍司令部ニ於テ支出ス尙 *Blagodatevo*, *Kalofar*, *Trojan* 及 *Lovca* ヨリ山脈内ニ通スル道路(馱獸路ヲモ)ヲ絶ヘス監視スヘシ若シ第二旅團 *Lovca* 方向ニ前進スルヲ要スル場合ニ於テハ少將スコベレフ

西部兵團所屬

ノ部隊ヲシテ *Lovca-Sevlijevo*

道ヲ守備セシムヘシ故ニ直ニ同少將ニ通報シテ特別命令ニ接スル迄同地ヲ去ラサラシムルヲ要ス

之ト同時ニ軍司令官ハ西部兵團司令官ニ命シテ少將スコベレフ部隊ヲ *Kakrina* ニ殘留セシメ尙同司令官ニ *Plevna* 攻撃ノ延期ヲ通報シ且西部兵團ハ *Sipka* 附近ノ戰鬪終結ニ至ルマテ *Donau* 河右岸ニ渡過セル羅馬尼軍ト協同シ *Plevna* ノ土軍ニ對シテ現在ノ地點ヲ固守シ已ムヲ得サル場合ニ於テモ *Osma* 河ノ以東ニ退却スヘカラス又 *Plevna* ノ土軍若シ南方ニ向フトキハ攻勢ニ轉シテ之ヲ殲滅スヘシト訓令セリ

是ニ於テ中將ラデツキーハ步兵第二師團及少將サロフノ部隊竝ニ狙撃歩兵第三旅團等ノ増加ヲ豫期シ得ルニ至レリ

少將サロフノ部隊ハ二十五日 *Plevna* 出發 *Drenovo* ニ著シ又步兵第二師團ハ中將

ラデツキーノ命令ニ依リテ二十五日步兵一聯隊砲兵一中隊モ之ト同行セシモノノ如シテ二十六日步兵一聯隊及砲兵一中隊ヲ *Gabrovo* ニ進メ二十八日九日ニ步兵二聯隊(一大隊缺)砲兵第九旅團第一中隊ヲ同地ニ進メ(三十日朝迄ニ *Gabrovo* 附近ニ集合ス)狙撃歩兵第三旅團ハ二十六日 *Tirnovo* ニ前進セリ

當時歩兵第九師團ノ内第一旅團ハハインキエイ支隊及エレナ支隊ニ屬シ他ハ殆ト^{カクシカ}峠上ノ戰闘ニ増加セラレ殘存セルモノハ唯砲兵一二中隊アリシノミナルカ故ニ同師團長ハ當然^{カクシカ}ノ戰場ニアルヘキナランモ露國參謀本部ノ記事ニハ明ニ^{セブリスカ}方面ニ在リシコト記シアリ察スルニ同師團長中將スワヤトボルクミスルスキーハ^{セブリスカ}及其附近ニ在リシ舊セルエビ支隊ノ部下ノ砲兵一二中隊騎兵若干ト^{セブリスカ}ニ到著セル歩兵第二師團竝ニ^{カクシカ}ノ南方高地ニ在ル少將スコベレフ部隊ヲ指揮シテ一ニハ^{カクシカ}ニ對シテ軍ノ側面ヲ掩護シ一ニハ^{カクシカ}峠上ニ在ル部隊ノ後援トナリ且^{カクシカ}山路ノ警戒ニ任シタルモノナラン

二十六日軍司令官ハ中將ラデツキーヨリ次ノ報告ヲ受領ス其一ハ二十五日ノ戰闘ニ關シ其二ハ二十六日ノ戰闘ニ關スルモノナリ

其一、彼我兩軍ハ二十五日終夜我陣地ノ右翼ニ於テ火戰ヲ交エ小官ハ戰闘線ニ逐次兵力ヲ増加スルノ失策ヲ演シタリ同處ニハ五大隊ノ兵アリシモ遂ニ敵前ニ於テ森林ヲ出ツルコト不可能ナリキ之レ^{カクシカ}全陣地及^{ガブロ}Gabrovoニ向フ大路ハ絶ヘス小銃火及砲火ヲ以テ掃射セラレタルヲ以テナリ五日間ノ戰闘ニ於テ歩兵第五十四聯隊^{第八軍團}中最後ノ增加隊ヲ除キ其他ノ諸聯隊ハ大ナル損傷ヲ受ケ狙撃歩兵第四旅團

八月二十五日二十六日ノ戰報
峠上

モ亦莫大ナル損傷ヲ蒙レリ諸部隊ヲ通シテ將校ノ損傷比較的大ナリ

斯ル情況ヲ變シテ露軍ニ有利ナラシメンニハ(中畧)直ニ強大ナル兵力少クトモ一軍團ノ兵力ヲ差遣シテ^{スライマン}軍ヲ迂回セシムルヲ可トス否ラサレハ縱令増援隊來著スルモ^{カクシカ}守備軍ノ情況ハ發展スルコトナク寧ロ危機ニ迫ルカ如キ情況ヲ見ルニ至ルヘシ之レ敵ハ夜間ト雖モ^{カクシカ}街道ヲ砲撃スルヲ以テ彈藥及給養品ノ運搬ハ殆ト不可能ニシテ其困難ハ日ヲ逐フテ増加スヘケレハナリ

其二、我軍ハ二十六日終日ニ亘ル戰闘ニ於テ土軍ヲ擊退シテ右側面ナル森林高地ヲ占領セシモ其後敵兵漸次増加シテ遂ニ舊陣地ニ退却スルノ已ムナキニ至レリ依テ爾後若干日強固ナル防禦ヲ爲サントス軍司令官ハ此報告ニ接シ二十七日午前七時十分中將ラデツキーニ左ノ要旨ノ命令ヲ下セリ

過早ニ翼ニ對シ攻撃スルハ不可ナリ増援隊ノ來著ヲ待チテ初メテ前進スヘシ故ニ目下寧口既ニ占領シタル地域ヲ寸尺ト雖モ失ハサランカ爲工事ヲ施シ又新地點ヲ占領セハ直ニ之ニ防禦工事ヲ施スヘシ然ラスンハ我軍ハ徒ニ兵ヲ損シ何等ノ効ヲモ奏セサルヘシ尙 Gabrovo ニ砲兵陣地ヲ設備シ同地ニ布爾牙利軍ヲ配置スヘシ

同日少將ストリエトフハ Zelenodrovo ヨリ軍司令官ニ左ノ報告ヲ呈ス

スライマン軍ニ
バシア軍ニ
關スル報告
並ニ之ニ對
立スル司令
官ノ處置

土軍ハ著大ノ兵力ヲ左翼ニ集合シ中將ラデツキーノ部隊ヲ攻圍スルカ
或ハ Zelenodrovo ヲ經テ Gabrovo ニ突進スルナラン

軍司令官ハ此報告ニ接シ先ツ在 Seviljevo 中將スワヤトポルクミルスキー
ニ Gabrovo 對シ Seviljevo ニ防禦工事ヲ施スヘク又中將シァコウスコエニ
モ Gabrovo 對シ Trnovo ニ陣地ヲ構成シ同地ヲ掩護スヘキヲ命令シ尋テ
中將ラデツキー竝ニ中將スワヤトポルクミルスキーニ過剩ノ輜重ヲ Posa-
G 川左岸ニ退却セシムヘキヲ命令ス

八月二十七
日軍參謀長
遣ノ Sipka 派

同日夕軍司令官ハ巴爾幹山ノ作戰ハ Sipka 方面ノ情況ヲ精査シタル後ニ
非サレハ決定スルコト能ハストナシ軍參謀長ヲ Sipka 峠ニ差遣シ爾後ノ
作戰ニ關シテ中將ラデツキート共ニ凝議決定セシメ同時ニ中將ラデツキ
ーニ左ノ如ク命令ス 午後三時十
五分發電報

予ハ爾後ノ作戰ニ關シ貴官ト凝議セシメンカ爲軍參謀長ヲ貴官ノ許ニ
差遣ス軍參謀長ハ本日夕出發シ二十八日夕又ハ二十九日朝其地ニ到著
スルナラン

貴官ハ歩兵第二師團第二旅團ヲ Seviljevo ヨリ招致シ同師團ノ全部竝ニ
布爾牙利歩兵ヲ率井テ Zelenodrovo ヲ經テ敵ノ左翼ヲ迂回シ之ヲ攻撃スル
ヲ有利ト認メサルヤ否ヤ予ハ貴官ノ返電ヲ待ツ而シテ貴官若シ此攻撃
ヲ行フニ決セハ直ニ命ヲ Seviljevo ニ傳フヘシ軍參謀長ハ Trnovo ヲ通過
スヘシ

此ニ由テ觀レハ軍司令官ハ前ニ迂回說ヲ戒メ今ヤ却テ之ニ
同意スルニ似タリ如何ニシテ決心ヲ變更セシヤ明カナラス

第十四章 八月中旬ヨリ同三十日ニ至ル作戰

此命令ノ未タ中將ラデツキーノ許ニ達セサルニ當リ二十七日午前七時十分發軍命令ノ回答トシテ中將ラデツキーハ漸進攻略法ノ不利ヲ論シ迂回ノ有利ナルコトヲ更ニ報告セリ即チ左ノ如シ三時五十分午後

二十六日及二十七日以後土軍ノ射擊減少シ占領セル陣地ニ工事ヲ施セリ其工事特ニ砲臺ノ築設終了セハ我軍彈藥ノ追送困難トナリ我陣地ハ不利ナル狀況ニ陥ルヘシ而シテ爾後我攻撃ハ漸進攻略法ニ依ルモ著シク困難ナリ之レ通過困難ナル地區ヲ經ルニアラサレハ敵ノ鹿柴等ヲ以テ閉塞セラレタル地區ヲ攻撃セサルヘカラサレハナリ此攻撃ノ成功望ミナキハ最近戰鬪ノ經驗ニ徴シテ明カナリ故ニ敵ヲ山地ヨリ擊退センニハ他ノ峠ヨリ優勢ナル部隊ヲ進ムルニアルヘシ

會同日第十一軍團長モ亦迂回ノ有利ヲ認メ且一步ヲ進メテ迂回ノ實施法ニ就テ意見具申ヲ爲セリ其要ニ曰ク

ツェレンドヴォ Zelenodvovoヲ經テ「スライマン」パシア軍ノ陣地ヲ迂回スルノミニテハ土軍

八月二十八日
步兵第三師團ノ南進

ニ再ヒ起ツ能ハサルカ如キ大損傷ヲ與フルコト能ハサルヘシ故ニ優勢ナル支隊ヲ ツェレンドヴォ Zelenodvovoヲ經テ前進セシムルト同時ニ別ニ有力ナル部隊ヲ ヘニナ Jemina 及 ハインキョフ Hainkiof 峠ヲ經テ差遣スヘシ其兵力ハ步兵十一大隊並ニ騎兵砲兵若干トス

二十八日軍司令官ハ此意見ニ同意シ要スレハ步兵第二師團ノ全部ヲモ之ニ使用セントス當時軍司令官ハ ロヴガ Lovgaノ敵兵減少シ二千乃至三千人ノ兵力ニ過キサルトヲ確知セシモ步兵第二師團第二旅團ヲ ウダロヴォ Udarovo 方面ニ招致シ尙少將スコベレフ部隊西部兵團ノ許ニ招還セラルル場合ニ於テハ該方面ノ守備頗ル薄弱トナルヘキヲ顧慮シ步兵第三師團 ドナウ Donau 師團ハ是ヨリ前 ペリヤナ Periana 河ヲ渡リテ グリスチン Grischin 河ニ集合シ軍ノ豫備隊タリノ内第二旅團及砲兵三中隊ヲ セヴリョヴォ Sevriovoニ派遣スルニ決シ左ノ處置ヲ爲ス

一、中將シァコウスコエニ迂回說ニ同意ノ旨ヲ通報シ其實施ニ關シテハ軍參謀長ニ協議セシメ

第十四章 八月中旬ヨリ同三十日ニ至ル作戦

旅團ヲ *Seviljevo* ヨリ *Gahrovo* ニ前進セシム 步兵第二師團第二旅團(一大隊缺)ハ步兵第九師團ノ砲兵一中隊ト共ニ二十八二十九日ノ兩日ニ *Seviljevo* ヲ出發シテ三十日朝迄ニ *Gahrovo* ニ著ス(本卷一四六頁參照)

一、步兵第三師團第二旅團長少將ダブイドフニ左ノ要旨ノ命令ヲ下ス

(一) 步兵第三師團第二旅團長ダブイドフハ部下旅團及砲兵三中隊ヲ率

キテ三十日早朝成シ得レハ二十九日夕迄ニ *Seviljevo* ニ到着スヘシ

其任務ハ少將スコベレフ部隊ト共ニ步兵第九師團長中將スワヤト

ポールクミルスキーニ屬シ *Lovca* 方面ノ敵ニ對シテ中將ラデツキ

一竝ニ中將シアコウスコエノ部隊ヲ警戒シ若シ敵兵攻撃シ來ラハ

Seviljevo ノ陣地ヲ固守シ尙 *Sipka* 峠上ノ部隊同地ヨリ退却スル場

合ニ於テモ *Seviljevo*, *Imovo* ノ線ニ退却スル迄極力其地ヲ固守スヘ

シ

(二) 前記ノ任務ヲ遂行スルト同時ニ西部兵團トノ連繫ヲ維持スルコト

肝要ナリ

三、右ノ要旨ハ西部兵團司令官ニモ通報セリ

然ルニ同二十八日其前日午後三時十五分發軍命令ノ回答トシテ中將ラデ

ツキーヨリ「小官ハ目下ノ状態ニ在リテ果シテ *Sipka* 峠ヲ固守シ得ヘキヤ

否ヤヲ知ル能ハス故ニ軍參謀長ノ到著スル前ニハ何等確答スル能ハスト

雖モ步兵第二師團第二旅團ハ情況ノ如何ヲ問ハス *Gahrovo* ニ差遣セラル

ヘキモノナリ」トノ報告ヲ受領セルヲ以テ過早ニ第二師團ノ諸隊ヲ戦闘ニ

投セハ爲ニ迂回動作ヲ不便ナラシメンコトヲ慮リ同日中將ラデツキーニ

左ノ要旨ヲ命令ス

Sipka 峠ヲ固守スヘシ成シ得レハ軍參謀長ネポコエチツキーノ到著迄第

一師團ノ一旅團ヲ戦闘ニ使用セサルヲ要ス尙第二師團ノ他ノ一旅團ヲ

Gahrovo ニ招致スヘシ *Trevna* 峠ニ對スル注意ヲ怠ルヘカラス之カ爲目下

Drenovo ニ在ル第十一師團ノ步兵四大隊 少將サロフノ部隊ニシテ二十五日 ヲ使

用スルコトヲ得

八月三十日
Sipka方面
ノ情況

此間軍參謀長ハ *Sipka* ニ來著シ二十九日陣地ヲ巡視シ土軍逐次減少シツ
ツアルヲ見翌三十日中將ラデツキー及其他ノ高級指揮官ヲ集メテ會議ス
同日露軍一般ノ配置ハ附圖第三十八ノ如ク尙南方面ノ概況ヲ述フレハ左
ノ如シ

露軍ハ *Sipka* 峠ニ於テハ二十一日以來六日間ニ亘リ戰鬪シ後ノ三日間
ハ兩軍交攻勢ヲ取リテ其目的ヲ達セス二十七日ヨリ戰全ク熄ミ兩軍各
占領セル陣地ニ工事ヲ施シ對峙ノ情況トナレリ *Sipka* 峠附近ニ在ル露軍
ノ兵力ハ歩兵二十一大隊半砲五十五門ヲ算ス而シテ此兵力中歩兵第五
十四聯隊ハ未タ戰鬪ヲ交エサリシモ爾餘ノ諸隊ハ著シク疲勞シ大ナル
損害ヲ受ク全陣地ハ敵ノ十字火ノ下ニ在リ連絡竝ニ軍需品ノ追送ハ困
難ナル地形ニ於テ殊ニ晝間ハ敵火ノ下ニ行ハサルヘカラス周圍ニ横ハ
レル戰死者ノ屍體ハ腐敗シテ臭氣鼻ヲ衝キ時候漸次寒氣ヲ加ヘ霖雨亦
漸ク多シ *Sipka* ノ背後 *Zelenodrovo* ニハ布爾牙利歩兵五大隊 第一第二第三第五第十 在リ

Toples 及 *Mon. Sv. Bogorodica* ニハ「ドン」哥薩克騎兵若干アリ *Trevna* 峠ニハ
布爾牙利歩兵第六大隊及「ドン」哥薩克騎兵一中隊アリ *Uzdovo* 附近ニハ
歩兵第二師團ノ歩兵十一大隊砲兵二中隊砲兵第九旅團第一中隊在リ 地同
ニハ此外編成中ノ布爾牙利歩兵第七乃至第九大隊モ現在セリ *Drenovo* ニハ少將サロフノ部隊 歩兵四大隊ヨリ成リ
將エルンロートノ指揮 *Yrnovo* ニハ狙擊歩兵第四旅團 砲四門 其他若干ノ部隊
ニ屬スヘキモノナリ

又歩兵第三師團第二旅團長少將ダブイドフノ指揮スル同第二旅團砲兵
三中隊ハ二十八日午前四時 *Gm. Studena* 出發 *Batak*, *Pavlikeni*, *Bela Cerkova*
ヲ經テ前進シ三十日ニハ *Sevljevo* ニ到著スヘク *Kakrina* 南方陣地ニハ少
將スコベレフノ指揮スル歩兵四大隊騎兵十二中隊砲十四門工兵半小隊
アリテ *Lovca* ノ敵ト相對ス
中將ラデツキーハ前記ノ如ク迂回說ノ同意ヲ得タリシモ未タ之ヲ實施
スルニ至ラス

軍參謀長ハ峠上ノ敵兵守勢ヲ取り而モ其兵員減少シツツアルカ故ニ豫定
ノ如ク先 *Mevna* ヲ攻撃シ他方面ニ於テ守勢ヲ取ルヲ有利ナリトシ乃チ直
ニ軍司令官ニ情況ヲ報告シ且意見ヲ具申シテ曰ク *Mevna* ニ全兵力ヲ集中
スルヲ緊要トス而シテ之カ第一著手トシテ先 *Lovca* ヲ占領スルヲ要ス
而シテ軍司令官ハ軍參謀長ノ意見ヲ認容シ是ニ於テ露軍ノ作戰ニ大影響
ヲ與ヘシ *Dika* 方面ノ戰況ハ茲ニ一段落ヲ告ケ爾後戰局ハ *Lovca* ヨリ次
テ *Mevna* ニ及フノ氣運ニ向ヘリ

是ヨリ先東方面ニ於テハ土軍攻勢ヲ採レルカ爲八月二十一日以降 *Karaloni*
河畔ニ於テ部分的ノ諸戰鬪アリ即チ二十一日及二十二日ニハ *Ajzlar* ニ於
テ三十日ニハ *Kara Hasan* ニ於テ戰鬪アリ然レトモ此等ノ諸戰鬪ハ或ハ軍
司令官ノ決心ニモ將又 *Jourdava* ニ在ル下流「ドナウ」兵團ノ行動ニモ何等ノ
影響ヲ與ヘス西方面ノ情況亦變化ナシ

羅馬尼軍トノ協同動作ハ此頃ニ至リテ漸ク確實ト爲レリ即チ二十七日羅

馬尼王カールハ露國大本營ニ到著シ兩國軍ノ協同作戰ニ就テ協議スル所
アリ二十九日軍命令ヲ以テ羅馬尼王カールハ西部兵團司令官ニ任命セラ
レ同兵團ハ中將ツオトフノ指揮セシ從前ノ西部兵團並ニ羅馬尼步兵第二
第三第四師團ヨリ成リ中將ツオトフハ西部兵團參謀長トナリ羅馬尼陸軍
大臣將官セルナタハ羅馬尼軍ヲ指揮シ同軍ハ露軍ト同様ニ「*ドナウ*」河右岸ニ移
スニ決定セラル而シテ羅馬尼軍ノ前記諸隊ハ八月三十日第二師團ヲ除キ
既ニ *Donau* 河右岸ニ在リ第四軍團步兵第十六師團ノ内歩兵第六十一聯隊
砲兵一中隊 此時迄下流「ドナウ」兵團ノ内ニ在リタリ ハ三十一日頃西部兵團ニ歸還シ「*ドン*」哥薩克騎
兵第四聯隊ハ一時 *Donau* 河左岸ニ殘留シ九月初旬ニ至リテ西部兵團ニ合
シ露軍ハ今ヤ防禦ヨリ轉シテ攻勢ヲ採ラントス

附記 八月十三日(或ハ十四日)頃ノ君府ニ催サレタル軍事會議ノ結果ス
ライマンパシアハ主力ヲ以テ *Dika* ヲ攻撃シ之ト同時ニスライマン
パシアノ一部ハメヘメツトアリーパシアノ軍ト共ニ *Ynovovo* ニ向ヒ攻

撃スルコトニ決定セラレ同パシアハ君府ヨリ之ニ關スル命令ヲ受領セリ發令ノ日明カナラス

是ヨリ先スライマンパシアハ八月十日既ニ *Siven* ヲ出發シ *Tridica* ヲ經テ *Sipka* ニ向ヒ行進ヲ起シ十九日 *Sipka* ノ南方ニ到著シ二十一日ヨリ *Sipka* 山上ノ露軍陣地ヲ攻撃シ戰鬪三日間ニ亘リシモ成功セス
 メヘメットアリーパシアハ攻撃ノ目的ヲ以テ野戰部隊ノ編成ニ著手中露軍 *Razgrad* ニ向ヒ前進スルノ意アルヲ諜知シ攻勢ノ企圖ヲ斷念シ單ニ一部ヲシテ *Osmanbazar* ヲ向ヒ陽攻セシメ主力ヲ以テ *Razgrad*, *Eski Dzumaja* 附近ノ陣地ヲ占領セシム

メヘメットアリーパシアハ君府ヨリ屢攻勢ヲ取ヘシトノ嚴命ヲ受ケシモ之ヲ實施セス偶、八月二十二二十三日 *Razgrad* ノ西南方 *Karaloum* 河畔 *Ajzlar* 附近ニ於テ露土兩軍一部ノ衝突アリメヘメットアリーパシアハ戰鬪ノ結果露軍ヲ陣地ヨリ撃退セシヲ以テ志氣大ニ昂リ八月三

十日 *Kara Hasan* ヲ攻撃シテ之ヲ占領シ益々自信力ヲ得偶、君府ヨリモ攻勢ヲ取ルヘキ命令ヲ受ケタルヲ以テメヘメットアリーパシアハ露軍ヲ *Karaloum* 右岸地區ヨリ撃退セント欲シ攻撃ノ目的ヲ以テ敵情竝ニ地形ヲ偵察シ其結果 *Kacelovo* 附近ノ敵ヲ攻撃スルニ決シ其部署ニ就ケリ

君府ニ於テハ八月下旬(二十六七日頃ナラン)スライマンパシアヨリ *Pliska* 峠ノ露軍ヲ攻撃スルニハ新銳ノ増加兵ヲ得ルヲ要シ且メヘメットアリーパシアオスマンパシア兩軍同時ニ *Gabrovo Beviljevo* ニ向ヒ突進スルニアラスンハ奏効ノ見込ナシトノ反覆セル報告ニ接シ増加兵ノ派遣ヲ計畫セシモ攻撃方案ニ關シテスライマンパシアト意見ヲ異ニシオスマンパシアヲシテ依然 *Plevna* ヲ守備セシメ單ニメヘメットアリーパシアニ對シテノミ攻撃命令ヲ下セシモノノ如ク而シテメヘメットアリーパシアハ *Gabrovo* 方面ニ攻勢ヲ取ラスシテ *Kacelovo* 方向

ニ攻勢ヲ取ラントス

八月三十日ニ於ケル土軍一般ノ配置附圖第三十八ノ如シ

二 南方面ノ作戦

其一 八月十三日ヨリ十九日迄ノ南部兵團ノ

情況 第二卷附圖第三十七並ニ本卷

附圖第三十九參照

南部兵團ハ八月十三日概ネ左ノ配置ニ在リ 詳細ナル配置並ニ軍隊區分ニ關シテ

八月十三日
南部兵團ノ
位置(附圖
第三十七參
照)

「セルエビ」支隊

セルエビ 及其附近

「シプカ」支隊

シプカ 峠及其附近

「ハインキエ」支隊

ハインキエ 峠及其附近

「エレナ」支隊

エレナ 及其附近

「オスマンバザール」部隊

オスマンバザール 及其附近

豫備隊

テノボ 附近

八月十三日頃迄ニ南部兵團司令官中將ラデツキーノ知り得タル敵情ノ概

八月十三日
南部兵團司

令官ノ知り
得タル情況

要次ノ如シ

一、スライマンパシアハ二十五大隊以上ノ兵力ヲ NOVAGOTA ニ集中セン

トシ同地ニ工事ヲ施セリ布爾牙利人ノ言ニ依レハ約三十五大隊ノ土

軍ハ Tvardica ニ工事ヲ施シ Siven ニモ土軍約五千アリト

1) Lovca ニハ重砲十二門騎兵約千五百ヲ有スル約二萬ノ土軍アリ

三、諸兵種ヨリ成ル約二三千ノ土軍 Kalofet, Karlovo ヨリ Sipka 及 Kazanlik 向

ヒ前進中ナリ之カ爲シプカ支隊ノ騎兵四中队ハ既ニ Sipka 峠ニ退

却セリ

四、Dymali Kioj Karlovo 東ニハ土軍歩兵約二聯隊及騎兵一聯隊存在スルカ

如シ

此方面ノ土軍ハ義勇兵多ク正規軍ハ僅少ナリ

八月十三日ヨリ同十八日迄ニ至ル南部兵團第一線諸隊ノ概況左ノ如シ

一、「エレナ」支隊方面ニ於テハ支隊長ハ十三日夜不正規騎兵若干 Tvardica 峠

八月十三日
ヨリ同十八
日ニ至ル南
部兵團第一
線諸隊ノ情
況

ヨリ北進シ布爾牙利ノ諸村落ニ進入セシコトヲ知り十四日 *Yvdiica* ニ
 將校斥候ヲ派遣セシモ同地附近ニハ毫モ敵兵ヲ認メス次テ十六日支
 隊ハ *Ahmelli* 東方約十九吉米 附近ニ現レタル土軍騎兵二中隊及火砲
 二門ヲ支援トセル義勇兵ノ一隊ヲ攻撃シ之ヲ東南方 *Saravoka* ニ擊退
 セシモ此方面ニ大ナル敵兵ヲ認メス

一「ハインキエ」支隊ノ前面ニ於テハ十五日土軍「ツェルキヨス」兵ハ *Hain*
Kioj 隘路内ノ露軍警戒兵ヲ驅逐シテ同支隊ノ前衛陣地前五吉米 南方
 附近ニ壓迫シ翌十六日午前十時騎兵ヲ有スル約一大隊ノ土軍ハ露軍
 前衛陣地ニ向ヒ攻撃シ來リシモ露軍ハ撃テ之ヲ卻ク後ニ至リ敵ノ兵
 力ハ約六大隊 實際ハ歩兵二大隊騎兵二 ナリシコトヲ知リシモ同日夕此敵
 ハ南方ニ退却シ隘路内ニ敵影ナキヲ確ム

二「シプカ」支隊方面ニ於テハ十四日布爾牙利歩兵諸大隊ノ給養ヲ顧慮シ
同歩兵諸大隊ハ編制不完全ナリシ爲 歩兵第三十六聯隊 第二大隊及第三 布爾牙利歩
給養被服裝具等ノ補給充分ナラス 第十二中隊缺

兵第三大隊砲兵第九旅團第二第五中隊ヲ *Sipka* 峠附近ニ又布爾牙利
 歩兵第四大隊ヲ中腹ニ置キ布爾牙利歩兵第一第二第五大隊山砲兵第
 二中隊ノ四門ヲ *Sipka* 村ニ移シ以テ *Tundza* 河平地ノ物資ヲ利用セン
 トス然ルニ十五日同支隊ニ屬シ *Tundza* 河平地ニ在リテ左翼前ノ警戒
 ニ任シタル「ドン」哥薩克騎兵第二十一聯隊ノ一中隊及烏拉爾哥薩克騎
 兵中隊ハ土軍「ツェルキヨス」兵及土民ヨリ攻撃セラレ *Jenna* 方面ヨリ *Sipka*
 村ニ向ヒ退却シ又此頃布爾牙利ノ避難民群ヲ爲シテ *Sipka* 峠ニ
 退却シ敵兵日ナラスシテ露軍ノ前面ニ現出スルノ徵候アリ是ニ於テ
Sipka 村ニ在リシ諸隊ハ中腹ノ布爾牙利歩兵第四大隊ノ位置ニ退却
第四大隊ノ内一中隊ハ後ニ至リ騎兵
支援ノ爲 *Sipka* 村ニ派遣セラレタリ
 十六日右翼前ノ警戒ニ任シタル「ドン」哥薩克騎兵第二十一聯隊及同第
 二十六聯隊ノ各一中隊ハ *Bicini* 附近ニ於テ土軍不正規騎兵ヲ擊退シ
 十七日支隊ノ騎兵ハ *Karamlik* ニ於テ土軍騎兵ト衝突シ之ヲ東方ニ擊

退セシモ十八日は是等ノ騎兵ハ歩兵ノ支援ヲ有スル土軍騎兵ノ壓迫ヲ受ケテ ベシブカ 村ニ集積セシ糧秣ニ火ヲ點シ同處ニ在リシ歩兵一中隊ト共ニ ベシブカ 峠ニ退却ス之ヲ要スルニ ベシブカ 前面ニ於テハ露軍ハ土軍漸時活氣ヲ帶ヒ來ルヲ認メシモ土軍ノ大兵既ニ十八日 カザン Kazanik 附近ニ到著セシ情況ハ全ク知ル所ナカリキ

四「オスマンバザール」部隊方面ニ於テハ敵情變化ナカリシモ同部隊ノ兵力ハ第十一軍團 第三十二師團第一旅團騎兵第十一聯隊騎砲兵第十八中隊 ノ歸還ニ依リテ著シク増大セリ

五「セルエビ」支隊ノ前面ニ於テハ情況變化ナシ

南部兵團司令官中將ラデツキーハ前記第一線諸隊ノ諸情況ヲ知り尙十八日軍司令官ヨリ左ノ要旨ノ通報ニ接ス

一、八月十四日 クシムラ Sumla 發ノ電報ニ依レハスライマンパシアハ増援ヲ受ケ七萬ニ達シ其三分ノ一ハ アドリアノペル Adrianopel ニ殘留シ其他ハ巴爾幹山ヲ踰ユ

ルナラン

二、同日「タイムス」ノ所載ニ依レハスライマンパシアハ シプカ Sipka ニ對シテ監視部隊ヲ止メ其他ハ ツルノボ Trnovo ヲ威嚇センカ爲 スレベン Silven ヲ經テ巴爾幹山ヲ踰ユルナラン

三、維納發ノ電報ニ依レハオスマンパシア及メヘメットアリーパシアハ ツルノボ Trnovo ニ向ヒ前進シスライマンパシアノ先頭部隊ハメヘメットムヒリバイノ指揮ニ屬シ 此先頭部隊トハフツセンバシアノ部隊 步兵八大隊砲九門ヲ云フモノナラン スタラレカ Starareka ヲ占領シ ベブロ Bebrovo ニ向ヒ前進シラシムバシアハ ロサリタ Rosalita 峠 カドフ Kadofe ヲ通過シ又八月十四日土軍ハ イヴジカ Ivrdica 峠及 ハンキョフ Hankioj 峠ヲ占領シタリ又 バグダド Bagdad 小亞細亞ニ在リ ヨリ君士坦丁堡ニ向ケ三萬五千ノ兵進軍セリ

中將ラデツキーハ右ノ諸情況ヲ綜合シスライマンパシアハ オスマンバザール Osmanbazar ニ在ル友軍ト連絡スル目的ヲ以テ其軍ヲ率キテ コテル Kotel ヲ通過スルカ或ハ直ニ オスマンバザール Osmanbazar ニ對スル露軍ノ側面ヲ攻撃センカ爲ニ ベブロ Bebrovo, エナ Elena 若クハ

Hankioj 峠ヲ前進スルモノト推測シ十七日 Trnovo ノ豫備隊ニ在リシ狙撃
 歩兵第四旅團竝ニ歩兵第十四師團ニ何時ニテモ出發シ得ヘキ準備ヲナシ
 アルヘシト命令セリ 是ヨリ先中將ラデツキーハ第十一軍團
 長ヲ其隸下ニ屬スルノ軍命令ヲ受領ス
 之ヲ要スルニ十八日迄ニ露軍ハスライマンパシアノ Zipka 峠ニ向ヘル前
 進ニ就テ毫モ知ル所ナカリキ

附記

八月十三日 スライマンパシア軍 步兵六十六大隊騎兵二
 十三中隊砲六十三門 ハ一部ヲ以テ

Kotel, Strareka, Sliven 竝ニ Novazagora 在リ其主力 步兵五十六大隊騎兵二
 十三中隊砲五十四門 ハ同

日歩兵三大隊砲六門騎兵百五十人ヨリ成ル一支隊ヲ Tyrdica ニ留メ主
 カヲ率キ Hankioj ニ到リ二日間同所ニ滞在シ同地ニ陣地ヲ構成シ又

露軍ハインキエ支隊ニ對シ偵察ヲ試ミ 十五日小部隊ヲ派遣シ又十六日歩兵二
 大隊騎兵二中隊ヨリ成ル部隊ヲ派遣セ

リ最後ノ偵察部隊ハ Natchrot ノ露軍前進陣地當時露軍前衛陣地ノ兵力ハ歩兵六中隊哥薩克騎
 兵一中隊山砲二門トスヲ攻撃シ露軍之ニ應戦スル

ヤ戰鬪ヲ避ケテ Hankioj ニ退キシコト既記ノ如シ 其結果スライマンパシアハ Zlat
 ouch 附近ノ露軍ノ兵力ハ歩兵四乃至五大隊騎兵一中隊砲二門ナリト

八月十三日
 ヨツ十八日
 迄ノ土軍
 スライマン
 パシアノ情
 況

ノ報告ヲ受ケ又十五日 Kazanlik 方面ニ派遣セシ騎兵ノ報告ニヨリ同
 地ニ露軍歩兵四乃至五大隊騎兵若干アルコトヲ知ル 土軍騎兵ハ十五日ガ
 Zanklikニ於テ糧秣徵集

ニ從事セシ露軍布爾牙利軍歩兵三中隊ヲ認
 メテ之ヲ歩兵四五大隊ト見タルモノナラン

十六日 Hankioj ノ工事略々完成ススライマンパシアハ此間 日時明カ
 ナラス 陸軍大

臣ヨリ兩ドナウ軍ト連合スル目的ヲ以テ Sipka ニ向ヒ前進シ次テ避ク
 ヘカラサル損害ヲ恐ルルコトナク同時ヲ通過スルヲ勉ムヘシトノ命

令ヲ受領シ同時ニメヘットアリーパシアハスライマンパシア軍ト協
 同動作ヲナシ尙同軍ヲ援助スヘキヲ通報セリ是ニ於テスライマンパ

シアハ左ノ處置ヲ爲シタル後十七日 Hankioj 出發 Sipka 峠ニ向ヒ西進ス

1 Hankioj ノ陣地ニ歩兵六大隊騎兵ノ一部山砲五門霰發砲一門ヲ殘

シ同地ヲ守備セシム 内歩兵一大隊砲四門ハ
 Trnovoヨリ招致セルモノナリ

11 Novazagora ヨリ歩兵一大隊ヲ Tyrdica ニ招致シ同地ノ守備兵ヲ歩兵

三大隊砲二門トス

八月十九日
シプカ方面
ノ情況(附
圖第三十九
參照)

二、前記兩支隊 兵力計步兵九大隊騎兵約八中隊砲八門 ハシユクリパシアノ指揮ニ屬シ絶エス斥候ヲ放チテ Hankioj Elena 附近ニ在ル露軍支隊ヲ監視セシム

四、Diven 附近ノ諸隊ヲ指揮スルフッセンパシアヲシテ Tvardica ニ在ル支隊ト連絡シ軍主力 Sipka 峠ニ對スル攻撃ヲ容易ナラシムル爲メ Bebrovo, Elena 方面ニ陽動セシム

五、オスマンパシアニ Lovca ニ向ヒ陽動スヘキコトヲ要求ス

十七日「スライマンパシア」軍主力ハ Mogis ニ宿營シ十八日 Kazanlik ニ到リ同地ニ於テ Kaloter ヨリ來レル國民軍二大隊ヲ合ス

八月十九日朝「シプカ」守備隊ハ Sipka 峠高地上ヨリ土軍ノ大兵 Kazanlik ヨリ前進スルヲ目撃シ又同夜約四十大隊ノ土軍 Sipka 村ノ東南方二里ニ其一部ハ同村南方一里ニ露營セルヲ確認ス

同日「エレナ」支隊方面ニ於テハ Bebrovo ノ東方及東南方ニ於テ土軍ノ兵力漸次増加スルノ情況アルヲ以テ大佐レルマントフ 步兵第三十四聯隊長 ハ之ヲ掃蕩セ

八月十九日
南部兵團司令官ノ得タル諸情況判斷

ント欲シ步兵一大隊騎兵二中隊騎砲二門ヲ率キテ Bebrovo ヨリ Ahmetli 及其南方地區ニ向ヒ前進シ陣地ニ在リシ優勢ナル土軍ト衝突シ狀況不利トナリ Bebrovo 附近迄敵ノ追撃ヲ受ケテ退却シ隊伍ヲ亂シテ Grn. Marjan ノ陣地ニ歸著ス 露軍ノ損傷將校以下三十五

同日中將ラデツキーハ Tnovovo ニ在リ午前中ハ各方面ヨリ何等ノ情況ニ接セス午後一時三十分左ノ軍通報ヲ受領ス

參謀本部 陸軍省内 ノ發信ニ曰ク八月十四、十五日維納發ノ電報ニ依レハ斯拉イマンパシアハ Tvardica, Rosalita セリフホキ 兩隘路口ヲ守備シ Bebrovo 及 Lovca 南方峠 ニ向ヒ前進シオスマンパシアハ Plevna ヨリメヘメットアリーパシアハ要塞地區ヨリ共ニ Tnovovo ニ向ヒ前進スメヘメットアリーパシアノ前進ハ遅々タリ云々

然ルニ午後三時頃以後「シプカ」支隊長デロチンスキーヨリ「スライマン」軍ニ關スル重要ナル報告頻々トシテ南部兵團司令部ニ到著ス

一、午後一時三十五分發午後二時四十五分著電報
土軍大部隊 Kazanlik 附近ニ到達ス

二、午後二時少將ストリエトフ發少將デロチンスキーニ宛テタル報告午後
五時四十分著

砲六門ヲ有スル土軍歩兵二十四大隊「ツェルキョス」兵二千ハ Starazagora-Mog-
lis 街道ヲ Janna ニ向ヒ前進ス其行進方向ヨリ判斷スルニ Sipka 竝ニ Janna
ノ峠ニ向フモノナラン其騎兵ハ Kazanlik ノ東北隅ニ向ヒ前進ス
I. Sv. Nikola 山ヨリ望見シタル大佐ウヤツエムスキー布爾牙利歩兵第一旅團長ノ報告午後
六時四十分著

前進セル土軍ノ兵力ハ砲兵及騎兵ヲ有スル約四十大隊ナリ
以上ノ報告ト共ニ同日夕「エレナ」支隊長少將ボレエシアヨリ午後二時三十分
分發ノ左ノ報告兵團司令部ニ到著ス

十九日朝歩兵五中隊騎兵二中隊及砲二門ヲ有スル部隊ハ Bebrovo ヨリ

Ahmetli 及 Starareka ニ向ヒ前進シ土軍ノ陣地ヲ攻撃セシニ却テ優勢ナ
ル土軍ノ壓迫ヲ受ケ Bebrovo ヲ經テ Grn. Marjan ニ退却ス小官ハ歩兵第
三十四聯隊長大佐レルマントフノ請ヲ容レ歩兵三中隊砲二門ヲ増援ト
シテ同地ニ差遣セリ

南部兵團司令官ハ以上ノ諸報告ヲ綜合シスライマンパシアハ全力ヲ以テ
Sipka ニ來ルニアラスシテ其主力ハ Elena 方面ニ向フヘク Sipka 峠ノ前
面ニ現ハレタル土軍ノ兵力ニ關スル報告ハ誇大ニ過クルモノナリト爲シ
左ノ處置ヲ爲ス

一、狙撃歩兵第四旅團哥薩克歩兵二中隊並山砲兵第二中隊ノ二門ヲ含ムハ明二十日黎明背囊ヲ負ハス
彈藥盒ノミヲ携行シ Elena ニ向ヒ行進スヘシ

二、歩兵第十四師團第二旅團長少將ヨルシンハ砲兵、輜重ノ護衛トシテ部
下歩兵二大隊ヲ Ithovo ニ殘シ歩兵四大隊砲兵二中隊ヲ率ヒテ明二十
日黎明出發 Zatarica ニ到ルヘシ

三在 *Nikijup* ノ騎兵諸隊指揮官少將ラテエエフハ少クモ一聯隊ヲ *Tpnovo* ニ派遣シ警戒ニ任セシムヘシ此命令カ如何ニ實行セラレタルカ明カナラス

四セルエビ支隊ノ内在 *Sevljivo* ノ歩兵第五十四聯隊ヲ歩兵第三十五聯隊ト交代セシメ歩兵第三十五聯隊ヲ *Gadrovo* ニ移シ同地ニアル少將デロチンスキーノ指揮ニ屬セシム

中將ラデッキーハ敵情竝ニ右ノ處置ヲ軍司令官ニ報告シ且西部兵團ノ部隊ヲ以テ *Lovca* ヲ監視スヘキ軍隊ヲ増援スヘキヤ否ヤヲ問ヒ左ノ要旨ノ軍訓令報ヲ得タリ

Sipka 峠及 *Trevna* 峠ヲ固守スヘシ予ハ貴官ノ請求ニ應シテ歩兵第二師團 此師團ハ此頃本國ヨリ布爾牙利戰地ニ判著シ *Grn. Slodona* ニ集合セシモノナリ ヲ要スレハ「セルエビ」支隊増加ノ爲ニ *Bo-* *la Cerkova* *Rosica* 川左岸ニ差遣ス予ハ此師團ニ特別ニ重要ナル任務ヲ與フルノ企圖ヲ有スルカ故ニ事情已ムヲ得サル場合ノ外ハ同師團ヲ使用セサルコトヲ望ム

八月十九日
スライマン
バシアノ情
況

附記 十九日スライマンバシアハ *Kalofor* ヨリ來リシ國民兵二大隊ヲ

Kazanlik ニ殘シ兵站勤務ニ充テ *Kalofor* ニ不正規騎兵若干ヲ派遣シ

布爾牙利ノ人民ヲ罰セシメ露軍ヲ款待セルヲ以テナリ 主力歩兵四十八大隊砲四十ハ *Jeni-*

na, Sekerecevo 南方ノ線ニ野營ス騎兵ハ此方面ニハ十五中隊存在スル管ナルモ爾後之ニ關スル兵力行動等記録ナキヲ以テ本

書モ亦之ヲ省略セリ

此頃ラシツムバシアノ指揮スル歩兵二大隊ハ *Philippopol* 及 *Kalofor* ニ前進セシモノノ如シ

十九日夜スライマンバシアハ *Sipka* 南方露營地ニ各旅團長及諸隊副

官ヲ集合シ會議ヲ開ク同席上アヒメツトフルシーバシア管テ *Sipka* 防禦ニ任セリ 及

高級古參ノ旅團長ハ主攻撃ヲ *BedeK* 山方面ヨリ實行シ *Sipka* 村方面

ヨリ陽攻スヘシトノ意見ヲ呈シスライマンバシアハ翌二十日參謀長

大佐オメールバイヲシテ *Ml. Bedek* 山方面ヨリ敵ヲ攻撃スルノ可否

ヲ偵察セシム

其二 Sipka 峠附近ノ戰鬪

戰鬪前ノ情況

Sipka 附近
露軍ノ陣地
及地形ノ概
要(附圖第
四十一參
照)

「シプカ」守備隊長少將ストリエトフハ是ヨリ先八月五日 Sipka 峠守備ノ任ヲ受クルヤ地形ヲ偵察シタル後 Sv. Nikola 山ノ外同山ヨリ稍高キ Lysajagora, Maly Bedek 山ヲ占領スルノ必要ヲ認メ少將デロチンスキーニ防禦ニ關スル意見ヲ具申セシモ用ヒラレス故ニ只單ニ Sipka 峠附近ニノミ防禦工事ヲ施セリ時間ノ缺乏、岩石ノ地質、作業力及器具ノ不足等ノ爲二十日迄ニハ尙防禦工事薄弱、陣地ノ延長モ僅少ナリキ左ニ施設工事及陣地附近地形ノ概要ヲ記述スヘシ

防禦工事ノ全地域ハ Sv. Nikola 山 Gora Centralnaja, Sipka 山ノ三高地ヲ包括シ Sipka 峠ニ沿ヒ南北ノ縦長約千有餘米アリ
前方陣地(南方築城市群)ハ Sv. Nikola 山附近ニ築設セルモノニシテ其正面ハ主トシテ南方及東南方ニ面シ三個ノ砲兵陣地及之ニ連繫スル散兵壕ヨ

リ成ル

最右翼ノ砲兵陣地ハ Sv. Nikola 山ノ西北斜面ニ位置シ砲四門分ノ掩體アリ大砲臺ト稱シ一部ハ西南方ニ一部ハ西方 Lysaja Gora ニ面ス同砲臺ノ左右ニ各歩兵一中隊ノ掩體アリ其東方 Orinoje Gnjezdo 山ノ斷崖及其北端ニ二中隊分ノ歩兵掩體アリ其東北端ニ砲二門分ノ掩體アリ小砲臺ト稱ス主トシテ東南方谷地及南方 Sipka 街道及 Maly Bedek 山ヲ射撃スルヲ得ヘシ其北方街道ノ屈折點附近ニ砲九門分ノ掩體アリ鋼砲臺ト稱シ鹵獲鋼砲ヲ同砲臺内ニ据ユ依テ其名アリ 射界廣ク東南方東方竝ニ東北方ニ對シテ射撃スルヲ得ヘシ同砲臺ノ左右ニ各歩兵二中隊ノ歩兵掩體アリ

之ヲ要スルニ前方陣地ハ歩兵八中隊分及砲十五門分ノ掩體ヨリ成リ經始線ノ全長約九百米アリ前方陣地ハ各方面概ネ岩石多キ急斜面ヨリ圍繞セラルルカ故ニ攻者ノ前進ハ頗ル困難ナリ然レトモ處々死角ヲ利用シテ近接シ得ル所アリ東方ヨリ Sv. Nikola 山ト Demirtepe トヲ連繫スル

山背ハ前進容易ニシテ且 Maly Bedek 山及 Demirtepe ノ砲火ノ援助ヲ受クルノ利アルモ鋼砲臺ノ有効射撃界内ニ在リ又北方 Zipka 山ノ砲臺ヨリ側射セラルルヲ免レス

前方陣地ノ Sv. Nikola 山 & Maly Bedek 山及 Lysajagora ヲ除クノ外附近ノ全地域ヲ瞰制シ Maly Bedek 山ヲ距ル約二千米 Lysajagora ヲ距ル二千米ニシテ Sv. Nikola 山頂ハ南方及東方斜面ハ急峻ナルモ北斜面ハ緩徐ニ西北方ニ降下スルカ故ニ陣地内部ハ Lysajagora ヲリ瞰射セラル Demirtepe 及 Demievic 兩山ハ甚タ高カラスト雖モ Sv. Nikola 山ヲ距ル約千五百米ニシテ陣地ノ側面及背面ヲ火制シ得ル位置ニ在リ
後方陣地ハ西方、東方、北方ノ三築城群ニ分ツ

西方築城群ハ火砲四門ノ掩體ヲ有スル一砲臺(中央砲臺ト稱ス)及若干ノ歩兵掩體ヨリ成ル中央砲臺ハ Goracentralnaja ニ構築セラレ Lysajagora ヲ距ル約二千五百二十米 Ml. Bedek 山ヲ距ル約二千八百米ニシテ Lysajagora

及同山以東 Sv. Nikola 山ニ至ル全地域竝ニ Maly Bedek 山 Demirtepe 及 Demirtepe 山ヲ射撃スルヲ得ヘシ中央砲臺ノ北方斜面ハ舊土耳其砲臺ノ存在セシ所ニシテ同所ニハ西方及北方ニ面スル散兵壕アリ其西南側ニハ中央砲臺ノ前方ヲ圍繞シテ南方ニ亘リ Sipka 大街道ノ西側ニ沿ヒ Pelese-jek 附近ニ至ル間ニ一連ノ散兵壕アリ之ヲ以テ西方築城群ノ歩兵陣地ヲ形成シ其全長約八百米アリ此陣地ノ前方 Wolynskaja Gora ニ獨立シテ二重ノ散兵壕アリ

西方群ノ陣地前面ノ地形ハ Marko Kraljevbjir ノ山背ヲ除キ兩側ハ傾斜急峻ニシテ大部隊ノ運動ヲ許サル森林地ヨリ成ル

東方築城群ハ Sipka 山ノ東南斜面ノ突起部ニアリ距離約三十乃至四百米ヲ隔テテ二重ノ散兵壕ヨリ成リ南方、東南方及東方ニ面シ其延長約四百米アリ

北方築城群ハ Sipka 山上ニ圓形ニ築設セラレ山頂ニ砲四門ノ掩體アリ土

軍ノ營テ築設シタル砲兵掩體ヲ改造セルモノニシテ圓砲臺ト稱ス同砲臺ハ *Lysayagora*. *Iesnobjkurgan* 山 *Maly Bedek* 山 *Demirtepe* ヨリ瞰制セラ
 ル(是等ノ山頂ハ *Sipka* 山頂ヨリ高キコト約二十米乃至約九十米又之ト
 相距ルコト約千三百乃至二千八百五十米トス)歩兵二中隊分ノ散兵壕ハ
 砲臺ノ下方ニ豫備散兵壕二中隊分ハ砲臺ノ北端ニ在リ北方築城群ノ東
 正面ノ地域ハ緩徐ナル傾斜ヲ以テ *Jalovica* 川ノ河谷ニ降下シ斜面一帯
 ハ森林ヲ以テ蔽ハレ其林縁ハ *Sipka* 街道ヲ距ル僅ニ百五十歩乃至六百
 歩ニ接近ス *Jalovica* 河谷ヨリ *Maly Bedek* 山方面ニハ數多ノ連絡路ヲ有ス
 土軍若シ此地區ヨリ前進セハ友軍砲兵ノ比較的有利ナル援助ヲ受ケ而
 モ森林ニ隱蔽シテ *Sipka* 街道ニ接近シ得ヘク爾後ノ前進モ唯圓砲臺ノ
 砲火ヲ受クルノミ故ニ *Sipka* 附近露軍ノ退路ヲ遮斷スル爲 *Sipka* 山北
 方三百米ノ突起部又ハ其北方 *Urankus* 山ヲ占領スルノ動作ニ便ナリ
 上述セル築城群ノ外 *Sipka* 峠附近ニハ營テ土軍ノ築設シタル潰殘ノ工

十九日「シ
 プカ」守備
 隊ノ情況

事及露軍ノ未完成ノ工事若干アリ又大砲臺及小砲臺特ニ西方築城群ノ
 北部ニハ鹿柴ヲ設ケ又西方築城群ノ山頸竝ニ *Dinka* 街道上南方築城群
 ノ南方約四百米ノ道路屈折點附近ニハ地雷ヲ埋設ス 陣地ノ他部分ニモ地雷
 ヲ埋設セシカ如シト雖
 其位置不
 詳ナリ
 露軍陣地ノ記述ニ逸スヘカラサルモノハ其飲用水源ナリ *Sipka* 峠ノ防
 禦ニ任シタル露軍ノ水源ハ多クハ敵ノ有効射界内ニ存セシカ故ニ以下
 記述セントスル炎暑六日間ノ戦闘ニ於テ露軍ニ至大ノ苦痛ヲ與ヘタル
 ハ亦疑フノ餘地ナキカ如シ
 「シプカ」守備隊長少將ストリエトフハ土軍約四十大隊 *Sipka* ノ前面ニ到著
 セシヲ知り極力陣地ヲ固守セント欲シ直ニ之ヲ在 *Gadrovo* ノ「シプカ」支隊長
 デロチンスキー 步兵第九師團
 第二旅團長 ニ報告シ且増援ヲ請求シ Chabrovo-Sipka 道上
 Kalenodrovo
 ニ通スル街道交叉點附近ニ
 在リシ歩兵第三十六聯隊第 三 第十二中隊ヲ増援セララル 布爾牙利歩兵第四大隊ヲ中腹ヨリ *Sipka* 村ニ出シ同
 地ヲ守備セシメ其他ヲ *Sipka* 峠ノ陣地ニ集合シ同夜土軍ノ夜襲ヲ顧慮シ

八月二十日
「シブカ」支隊
ノ情況
(附圖第四
十參照)

陣地ニ在リテ夜ヲ徹ス

二十日「シブカ」支隊ノ兵力ハ少將ストリエトフノ指揮スル步兵第三十六聯隊第二大隊缺布爾牙利步兵第一第二第三第四及第五大隊砲兵第九旅團第二第五中隊山砲兵第二中隊半部鹵獲砲兵中隊騎兵四中隊烏拉爾哥薩克騎兵一中隊及同第二十六聯隊第一中隊ニシテ總人員約六千人砲二十七門ヨリ成リ拂曉來土軍ノ攻撃ヲ期待シテ陣地附近ニ在リシモ此日土軍ハ遂ニ攻撃シ來ラス然レトモ諸情況ニ依リ土軍「シブカ」ヲ攻撃スルノ意圖ハ極メテ明瞭トナレリ依テ少將ストリエトフハ翌二十一日黎明敵ノ攻撃ヲ期待シテ防禦ニ關スル諸準備ヲ爲シ特ニ連絡線警戒ノ爲「Gabrovo」ニ於テ編成中ノ布爾牙利步兵第十大隊ニ「Zelenodrivno」ヲ守備スヘキヲ命シ少將ストリエトフ隷下ニ在リシヤ否ヤ明カナラサレトモ布爾牙利軍司令官タル

隊ノ「Sipka」峠ニ向フ前進ヲ急カシメンコトヲ請求ス步兵第三十五聯隊ハ南部兵團司令官ノ命令ニ依リ

ル名義ノ下ニ指揮權アルモノト認メラレタルカ如シ又少將デロチンスキー步兵第九師團第二旅團長ニ步兵第三十五聯隊ノ「Sipka」峠ニ向フ前進ヲ急カシメンコトヲ請求ス

カクリムヨリ「Gabrovo」ニ到リ少將デロチンスキーノ指揮下ニ入ルヘキモノナリ

同夜十時步兵第三十六聯隊第二大隊ハ「Gabrovo」ヨリ「Sipka」峠ニ著シ少將ストリエトフノ指揮下ニ入ル

夜半少將ストリエトフハ各隊長ヲ集メ工兵中將クレンケモ亦同會議ニ陪席セリ防禦ニ關スル會議ヲ開キ其結果陣地占領ヲ左ノ如ク決定ス附圖第四十一其參照

前方陣地(南方築城群)

長大佐トルストイ布爾牙利步兵第三旅團長

步兵第三十六聯隊第三大隊

砲兵第九旅團第二中隊

鹵獲砲中隊野砲六門
山砲一門

計步兵五中隊砲十五門

東方築城群(「Sipka」山東南本道東側地區)

長大佐ウヤツエムスキー布爾牙利步兵第一旅團長

布爾牙利步兵第二第三第五大隊

西方及北方築城群 (Sipka 及 Gora-Centralnaja)

長大佐 ドブレラドウ イッチ 布爾牙利軍司令部附ナルカ如シ後十月十五日ニ至リテ同

大佐リピンスキーハ Gabrovo ニ止リ二十一日 Sipka ノ陣地ニ到著シ代リテ此方面ノ指揮ニ任ス

步兵第三十六聯隊第一大隊及第五第六中隊

砲兵第九旅團第五中隊

計步兵七中隊砲八門

豫備隊(前方陣地ト後方陣地トノ中間 Peresejek 附近)

步兵第三十六聯隊撤兵第二中隊及第七第八中隊

布爾牙利步兵第一第四大隊

山砲兵第二中隊ノ半部

計步兵十一中隊砲四門

布爾牙利步兵第四大隊ハ依然 Sipka 峠ノ南斜面 Hainkioj ニ在リ土軍ノ

壓迫ヲ受クルニ至レハ退テ豫備隊ニ入ラシム又守備隊ニ屬スル騎兵

四中隊 Sipka 峠兩側ノ山地通路ノ警戒ニ任シタルモノノ如シ

「シプカ」支隊長少將デロチンスキーハ二十日步兵第三十六聯隊第二大隊ヲ Sipka 峠ニ派遣シ自ラ「ドン」哥薩克騎兵第三十聯隊第一中隊同騎砲兵第十

中隊ノ二門布爾牙利步兵第七第八第九大隊(新編)ト共ニ Gabrovo ニ止ル

同日步兵第五十四聯隊ハ中將ラデツキーノ命令ニ依リテ Seviljevo 出發

Kakrina 南方ノ陣地ニ到リ步兵第三十五聯隊ト交代シテ同地ノ守備ニ任シ

步兵第三十五聯隊ハ交代後直ニ出發 Seviljevo ヲ經テ Gabrovo ニ著シ少將

デロチンスキーノ隷下ニ入り同少將ハ「シプカ」守備隊長少將ストリエトフ

ノ請求ニ從ヒ翌二十一日朝之ヲ Sipka ニ向ヒ前進セシム

在 Irnovo 狙撃歩兵第四旅團(哥薩克步兵二中隊ハ前日ノ兵團命令ニ依リ二十日

午前二時 Irnovo 出發 Elena ニ向ヒ步兵第十四師團第二旅團(二大隊缺)及砲

兵二中隊モ亦午前三時 Irnovo 出發 Zlatarica ニ向フ

中將ラデツキーハ初メ狙撃歩兵第四旅團ト共ニ Irnovo ヲ出發シ後先行シ

步兵第三十五聯隊同第
五十四聯隊
ト交代シテ
向フ
(附圖第四
十參照)

八月二十日
狙撃歩兵第
四旅團及步
兵第十四師
團第二旅團
行動

テ Elena ニ著シ優勢ナル敵兵 Osmanbazar 方面ニ存在セサルコトヲ知り直ニ狙撃歩兵第四旅團ヲ PrisoVO 南方ニ歸還セシメ次テ Zlatarica ニ赴キ同地ニ來著セシ歩兵第十四師團第二旅團長少將ヨルシンニ會シ二十一日早朝出發諸隊ヲ率キテ午前中ニ Irnovo ニ歸還スヘキヲ命シ直ニ先行シテ Irnovo 歸還ス

狙撃歩兵第四旅團長少將ツウエチンスキーハ午前十一時半上記歸還命令ヲ受領シ直ニ Elena ヨリ歸途ニ就キ同日午後三時半頃 PrisoVO ニ著シ歩兵第十四師團第二旅團長ノ指揮スル部隊ハ翌二十一日 Irnovo ニ歸著ス

附記 八月二十日スライマンバシアノ指揮スル部隊ハ左ノ如ク位置ス
 Tyrdica 及 Hankioj 附近ニハシニクリバシアノ指揮スル歩兵九大隊騎兵八中隊砲八門アリテ Tyrdica, Hankioj ノ兩峠ヲ監視シ又東北方フツセンバシアノ部隊ト連絡ス
 Novazagora ニハ歩兵一大隊ノ守備兵アリ

八月二十日
 スライマン
 バシアノ情
 況

Kazanlik ニハ國民兵二大隊アリ

Sipka 村南側ニハスライマンバシアノ本軍 歩兵四十八大隊砲四十六門(四十
 八門ト記スルモノアリ)騎兵若干
 在リ Kalofar ニハラシツムバシアノ指揮スル歩兵二大隊 Philipopol ヨリ及不
 正規騎兵若干アリ

是日朝參謀長大佐オメルバイハスライマンバシアノ命令ニ依リ若干大隊ヲ率キテ Jenina ヲ經テ Maly Bedek 東南方ニ吉米 山ノ方向ニ前進シ
 附近露軍陣地ヲ偵察シ同大佐ハ午後偵察ヲ終リ軍事會議ノ席上
 ニ於テ左ノ要旨ノ報告ヲナセリ

一 露軍ノ左翼ニ通スル道路ハ僅少ナリ然レトモ此方面ノ露軍守備兵モ亦僅少ナリ

二 同方面ノ道路ハ砲兵ノ通過ヲ許ス

三 露軍ノ陣地ハ甚タ堅固ナラス土製掩體ヨリ成ルニ過キス

スライマンバシアハ右ノ報告ニヨリ Maly Bedek 山方面ヨリ主攻撃ヲ行

ヒ同時ニ Sipka 方面ヨリ陽攻ヲ行フニ決シ攻撃方法ヲ左ノ如ク定ム

一、レドシ ユップパシアハ第二第三旅團歩兵十
六大隊騎兵若干及山砲一中隊

ヲ以テ二十一日 Maly Bedek 山ヨリ Sv. Nikola 山ノ東側露軍陣地

ヲ攻撃スヘシ但シ敵ニ隱蔽スル如ク二十日夜運動ヲ起シ拂曉迄ニ

Maly Bedek 山ニ到達シ同所ニ砲兵掩體ヲ設ケ步兵第一旅團ト協同

シテ攻勢ニ轉スルヲ要ス

二、サリヒパシアハ第一旅團歩兵八大隊
及騎兵若干ヲ率ヒ Zipka 大街道ヲ Sv. Nikola

山ノ南方約千五百米ニアル Hudaノ稍北方ニ前進シ敵ヲ牽制スヘシ

其前進ノ時刻ハ追テ命令ス

三、爾餘ノ部隊歩兵二十四大隊騎兵ノ
主力砲兵ノ殆ト全部ハ豫備隊トナリ Zipka 村ノ南方ニ位

置スヘシ

八月二十一日 Sipka 附近ノ戰鬪(第一日)(附圖第四十一其一、
其二第四十二參照)

二十日夜 Hudaニ在リシ布爾牙利步兵第四大隊ハ土軍ノ壓迫ヲ受ケテ前方

陣地内ニ退却シタル後二十日ヨリ二十一日ニ互ル夜ハ靜穩ニ經過セリ

二十一日拂曉シプカ守備隊ノ兵力左ノ如シ

步兵三十六聯隊

布爾牙利步兵第一乃至第五大隊

騎兵四中隊シプカ
ト守備隊ノ許ニ在ラサリシカ如シ

砲兵第九旅團第二第五中隊

山砲兵第二中隊ノ半部

鹵獲砲兵中隊門七

合計步兵八大隊騎兵四中隊砲二十七門

「シプカ」守備隊ハ前日ノ計畫ニ基キ豫定ノ如ク陣地ヲ占領ス附圖第四十一其一
拂曉ノ位置ノ如シ

同日午前七時頃前方陣地ノ鋼砲臺ハ Maly Bedek 山上ニ土軍砲兵ノ陣地進入

ヲ認メテ直ニ砲火ヲ開キ幾モナク守備隊長少將ストリエトフノ命令ニ依

リ鋼砲臺、小砲臺、圓砲臺、中央砲臺等悉ク Maly Bedek 山ニ砲火ヲ集中ス然レ

戰鬪開始

トモ距離稍遠ク充分ノ效果ヲ奏スルヲ得サルヲ以テ暫クニシテ射撃ヲ中止ス

午前十一時
露軍前方
陣地ノ情況

午前八時土軍 *Maly Bedek* 山ヨリ *Sy. Nikola* 山上ニ向ヒ砲火ヲ開キ其歩兵ハ *Maly Bedek* 山ノ西斜面ニ現出ス露軍砲兵ハ直ニ射撃ヲ開ク
守備隊長少將ストリエトフハ土軍ノ攻撃方向 *Sy. Nikola* 山東方ニ在リト判断シ豫備隊ノ内歩兵ノ全部 歩兵第三十六聯隊撤兵第二中隊第七中隊第七中隊布爾牙利步兵第一第四大隊ヲ前方陣地ニ増加ス是ニ於テ前方陣地ノ兵力ハ歩兵十六中隊砲十五門トナル午前十一時ニ於ケル前方陣地ノ配備左ノ如シ

第一線トシテ陣地ニ在ルモノ
八中隊

步兵第三十六聯隊第十二中隊第九中隊撤兵第三中隊布爾牙利步兵第一大隊第三中隊步兵第三十六聯隊第七中隊撤兵第二中隊第十中隊及布爾牙利步兵第一大隊第四中隊
第一線ノ支援トシテ其直後ニ在ルモノ
三中隊

步兵第三十六聯隊第十一中隊(大砲臺ノ後方)布爾牙利步兵第四大隊第一中隊(小砲臺ノ後方)同步兵第一大隊第二中隊(步兵第三十六聯隊第七中隊ノ後方)

地區豫備隊
五中隊

布爾牙利步兵第一大隊第一中隊同第四大隊第一中隊缺及步兵第三十六聯隊第八中隊

午前十一時前方陣地ノ南方 *Han* ニ於テ地雷ノ爆發ニ任シタル一中尉ハ *Duple* 街道ヲ南方ヨリ前進シ來レル土軍ノ射撃ヲ受ケ點火準備ヲ整ヘテ後方ニ退却シ露軍前方陣地ノ歩兵及小砲臺ノ砲兵二門ハ直ニ土軍ニ向テ射撃ヲ開始ス土軍ハ散開シテ徐々前進シ其兵力約二大隊ナリ此時爆發隊ハ地雷ニ點火セシモ時機過早ニシテ損傷ヲ敵ニ加フルヲ得ス然レトモ土軍ハ危懼シテ地雷埋設地點ヲ東方ニ避ケ小砲臺ニ向ヒ前進ス小砲臺及鋼砲臺ノ野砲二門大砲臺ノ一門ハ榴霰彈ヲ以テ之ヲ猛射シ撤兵第三中隊第

七中隊布爾牙利步兵二中隊モ亦盛ニ一齊射撃ヲ行フ之カ爲土軍ハ陣地前約九百米ニ於テ隊伍ヲ亂シテ *Nolov* 南方森林谷地ニ退却ス忽チニシテ土軍再ヒ *Nolov* 東南方地區及 *Sv. Nikola* 西南方地區ニ向ヒ攻撃シ來リシモ露軍ハ悉ク之ヲ擊退シテ陣地ヲ固守フ

此間露軍後方陣地ニ於テハ布爾牙利步兵第二第三第五大隊及步兵第三十六聯隊第五第六中隊ハ東方及北方築城市群ヲ占領シ步兵第三十六聯隊第一大隊ハ中央砲臺附近西方築城市群ノ一部ヲ約一小隊ヲ以テ *Wolynskaja gora* ノ突出陣地ヲ占領シ後步兵第三十六聯隊第五第六中隊ハ北方築城市群ノ南端陣地ヲ撤シテ午前十時頃西方築城市群ノ突出陣地ニ移リ同地ニ在リシ小隊ト共ニ此陣地ヲ守備ス

步兵第三十五聯隊ノ到著

此日在 *Gabrovo* 少將デロチンスキーヨリ *Sipka* ニ向ヒ前進ノ命ヲ受ケタル步兵第三十五聯隊(第四中隊缺)ハ *Gabrovo* ヲ出發シ午後一時ヨリ二時ノ間ニ於テ *Sipka* 峠ニ到著シ少將デロチンスキーモ亦 *Sipka* ノ陣地ニ著ス

步兵第三十五聯隊第四中隊ハ *Sipka* 陣地ニ在ル露軍ノ兵力ハ步兵 *Javo* ノ聯隊輻重ノ許ニ殘留セリ 是ニ於テ *Sipka* 陣地ニ在ル露軍ノ兵力ハ步兵

四十九中隊騎兵四中隊砲二十七門ヲ算スルニ至レリ 附圖第四十一其ニ參照

右ノ結果軍隊ノ區分ヲ左ノ如ク變更ス

- 一、步兵第三十六聯隊撤兵第一中隊及第四中隊 後方陣地守備隊ノ内 ハ前方陣地ノ地區豫備隊トナリ前方陣地ノ守備兵ハ步兵十八中隊砲十五門トナル
- 二、步兵第三十五聯隊第三大隊ハ西方築城市群ヲ守備ス
- 步兵第三十六聯隊第一第二中隊ハ中央砲臺兩側同第三中隊ハ圓砲臺ノ前方陣地ヲ占領ス

三、步兵第三十五聯隊第一大隊(第四中隊缺)ハ後方陣地ノ地區豫備隊ト爲リ *Gora Centralnaja* ノ北麓ニ位置ス

四、步兵第三十五聯隊第二大隊ハ *Sipka* 山ノ北麓ニ位置シ總豫備隊ト爲ル

午後一時頃 *Maly Bedek* 山上ノ土軍砲兵約四門 *Sv. Nikola* 山ニ向ヒ射撃ヲ

前方陣地午後一時後ノ戰闘

開始シ幾モ無ク土軍歩兵約七大隊ハ濃密ナル散兵線ト爲リ *Maly Bedek* 及 *Demirtepe* ヲ下リテ鋼砲臺ニ向ヒ 進ヲ開始ス圓砲臺中央砲臺先之ニ砲火ヲ注キ豫備隊ニ在リシ山砲四門モ *Petosejek* 附近ニ陣地ヲ占メ之ニ參與ス暫クニシテ土軍叢林中ニ入り其影ヲ没セシヲ以テ射撃ヲ中止シ再ヒ敵開地ニ出ツルヲ待チ近距離ヨリ猛烈ニ歩砲火ヲ集中ス土軍避易叢林内ニ遁入ス時正ニ午後三時ナリ

此頃南正面ノ土軍モ亦大砲臺及鋼砲臺ニ向ヒ攻撃シ來リシカ前方陣地ノ守備兵ハ後方部隊ノ増加ヲ得テ極力防守シ接戦ニ至ラスシテ土軍ヲ森林谷地内ニ撃退ス爾後同方面ノ土軍鋼砲臺ニ向ヒ攻撃ヲ反覆セシカ露軍ハ砲火ヲ以テ之ヲ驅逐スルヲ得タリ

午後四時頃東方面ノ土軍再ヒ攻撃ヲ開始ス其正面 *Demirvie* 山ニ延長シ *Maly Bedek* 山ノ火砲ハ六門ニ増加シ *Demirtepe* ニモ亦砲兵ヲ進入セシメントス露軍鋼砲臺ハ直ニ之ニ向ヒ砲火ヲ開キ遂ニ *Demirtepe* 上ノ敵砲兵

ヲ現出シ能ハサラシム此間土軍歩兵ハ *Demirtepe* ト *Sv. Nikola* 山トヲ連絡スル山背及其北方谷地ヲ通過シ鋼砲臺ニ向ヒ前進ス鋼砲臺中央砲臺及圓砲臺ノ砲兵ハ正面及側面ヨリ土軍ニ砲火ヲ集中シ歩兵モ亦猛烈ニ射撃ヲ加ヘ再ヒ土軍ヲ叢林内ニ撃退ス

此ノ如クシテ露軍ハ土軍ノ攻撃ヲ拒止シ午後六時兩軍砲火全ク沈黙シ薄暮ト共ニ小銃火モ亦絶ユ

「シプカ」守備隊ハ日没後一部ヲ陣地ニ止メ主力ヲ陣地後方ニ宿營ス土軍夜暗ニ乘シ *Novob* 附近鋼砲臺ニ向ヒ前進シ來リシカ歩兵及砲兵 砲兵第二中隊第四小隊 最近距離ニ於テ之ヲ射撃シ遂ニ之ヲ撃退ス爾後露軍ハ陣地前數百米ノ地ニ停止セシ土軍ノ防禦工事ヲ施スノ音響ヲ聽クノミニシテ二十一日ノ夜ハ靜穩ニ經過セリ

此夜守備隊ハ土軍ヲ撃退シ志氣昂リ翌二十二日起ルヘキ攻撃ニ對シ諸種ノ防禦準備ヲ爲ス

二十一日ノ戰鬪ニ於テ「シプカ」守備隊ノ損害ハ合計二百五十人ニシテ砲兵射耗彈藥約千八百ヲ算ス

スライマン
バシア右翼
部隊ノ情況

附記 スライマンバシア軍ノ主攻撃(右翼)部隊

步兵十六大隊山砲一中隊ヨリ成リ

ハ二十日 Sipka 村附近ノ露營地ヲ出發シ第二旅團 レドシユツババシア之ヲ指揮ス

Buzludza 山 Kladenoi 山附近ヲ通過シ第三旅團 レドシユツババシア之ヲ指揮ス

ルツ Duganica 及 Stara 兩谿流間ノ山梁ヲ經テ ア之ヲ指揮ス Mi. Bedek 山ニ向ヒ午

前六時同所ニ達ス兩旅團ノ運動ハ遮蔽宜シキヲ得同所ニ達スル迄露

軍ヨリ發見セラレサリキ午前七時レドシユツババシアノ前進部隊先

MI. Bedek 山ノ西斜面ヲ占領シ尋テ同山頂ニ砲兵掩體ヲ構築シ其完成

ヲ待チテ山砲ヲ陣地ニ就カシメ露軍砲兵ニ向ヒ射撃ヲ開始ス此間歩

兵ノ主力ハ Demirtepe 及 Mi. Bedek 山ノ後方ニ開進ス

スライマンバシア軍ノ陽攻部隊 第一旅團八大隊騎兵若干ニシ ハ午前六時

Sipka 南方露營地ヲ出發ス不正規騎兵ノ小部隊最前方ニ進ミ狙撃步

スライマン
バシア軍陽
攻部隊ノ情況

兵第一第六大隊ヨリ成ル前衛步兵四大隊ノ本隊步兵二大隊ノ後衛之ニ續行シサリヒバシアハ本隊ニ在リ

同縱隊ノ前進ハ急峻ナル登坂ト炎熱ノ爲ニ頗ル遲滯シ午前九時頃ニ

至リ先頭ニ在リシ不正規騎兵ハ始メテ中腹ニ達シ露軍地雷爆發隊ト

衝突スサリヒバシアハ直ニ Sv. Nikola 山上ノ露軍陣地ヲ攻撃スルニ

決シ本隊ノ内前衛ノ許ニ到達セル若干大隊ヲ前衛ニ加ヘ Sipka 街道

東側地區ヲ經テ Zolob 附近ヨリ攻撃前進セシム午前十一時頃同攻撃

部隊ハ前進ヲ起セシモ露軍ノ歩砲火ヲ受ケ萎靡進マス是ニ於テサリ

ヒバシアハ本隊ノ諸隊ヲシラ Sipka 街道ノ西側地區ヲ經テ Sv. Nikola

山頂ニ向テ攻撃セシメシモ亦敵ノ歩砲火ヲ受ケテ秩序紊亂シ遂ニ Sv.

Nikola 山西斜面ノ密林内ニ蟄伏スルニ至リ午後一時頃第一旅團ノ主

力ハ Sipka 街道兩側ニ於テ露軍陣地前二三百米ニ膠著シ戰況毫モ發

展セス

正午レドシッパシアハ Maly Bedek 山ニ山砲四門ノ陣地占領終ルヲ待チ歩兵七大隊ヲ Maly Bedek 山 Demirtepe ノ線ニ展開シ Sv. Nikola 山ノ東側陣地ニ向ヒ攻撃セシム攻撃部隊ハ直ニ運動ヲ起シ森林内ヲ遮蔽シテ露軍陣地ニ接近シ森林外縁敵開地ニ出ツルヤ忽チ露軍歩砲兵ノ集中火ヲ受ケ其地ニ停止スルヲ得スシテ退却ス午後四時頃レドシッパシアハ Maly Bedek 山ノ砲ヲ六門ニ増加シ尙スライマンバシアノ豫備隊ヨリ増遣セラレタル砲兵中隊ヲ Demirtepe ニ陣地ヲ占領セシメ(同中隊ノ陣地進入ハ敵火ノ爲ニ其目的ヲ達セサリキ)歩兵ノ隊伍整頓ヲ待テ再ヒ攻撃ヲ開始ス然ルニ此攻撃モ亦敵前數百米ニ達シタル後前回ノ如ク失敗セリ

南正面ニ於ケルサリヒバシアノ部隊ハ殆トバシアノ指揮ヲ脱シテ午後各部隊ノ獨斷ヲ以テ統一ナキ屢次ノ攻撃ヲ反覆シ敵前近距離ニ達セシモ常ニ露軍ノ爲ニ撃退セラレ

是ヨリ先スライマンバシアハ豫備隊ト共ニ Sipeka 村露營地ニ在リ豫備隊ノ内ヨリ砲兵一中隊ヲレドシッパシアニ増遣シ次テ午後三時頃自ラ南正面サリヒバシアノ許ニ到著シサリヒバシアノ部隊ハ命令ヲ待ツコトナク戦闘ヲ開始シ然モ今ヤ戦況紛雜收拾スヘカラサルヲ目撃シテ大ニ憤怒セシモ既ニ敵陣地ニ肉薄セル部隊地隙又ハ斷崖等ノ死角ヲ利用シ敵前近距離ニ退却セシムルハ危険ナルヲ以テ飽クマテ現陣地ヲ固守セシメント欲シ豫備隊ヨリ歩兵二大隊砲二門ヲ中腹 Han 近ニ招致ス カフツニ附シ歩兵二大隊騎兵若干ハ Mladodarevo 方面ニ招致セラレタルカ如シ

以上ノ如クシテ二十一日土軍ノ攻撃ハ夜ニ至ル迄繼續セシモ遂ニ成效セス

スライマンバシアハ二十一日ノ戦闘ニ於テ露軍頑強ニ抵抗セシヲ以テ其兵力過弱ナルモノニアラスト思惟セシモ尙歩兵二十二大隊砲三十二門ノ豫備隊ヲ有シ殊ニ君士坦丁堡ヨリ再三攻撃ヲ實行スヘキ命

令ヲ受領シ二十二日拂曉更ニ攻撃ヲ敢行スルニ決シ其攻撃方向ハ參謀長大佐オメルバイノ意見具申ニ依リ Marko-Kraleev Bajir 高地ヨリ露軍中央砲臺ニ向ヒ攻撃セントス然ルニアヒメットフルッシーパシア第六旅團長ナルカ如シヲ始メトシテ同方面ノ地形ヲ知ルモノ無カリシカ故ニ既ニ命令シタル攻撃ヲ中止シ同日各部隊ヲシテ各占領スル陣地ニ工事ヲ實施セシメ大佐オメルバイ及ウエツセルパシア第三旅團長ヲシテ Sipka 峠ノ北方地域及 Gabrovo ニ通スル大街道ノ兩側ヲ詳細ニ偵察セシム

二十一日朝中將ラデツキーハ Elena ヨリ Trnovo ニ歸著シスライマンパシアノ軍ハ Sipka ニ向ヒ前進セシコトヲ確知シ同時ニ二十日發左ノ要旨ノ軍命令ニ接ス附圖第四十二參照

一、中將ラデツキーハ絶エス第十三軍團ニ狀況ヲ通報シ以テ適時ニ其援助ヲ受ケ得ル如クスヘシ

11. Sipka ノ守備隊ヲシテ防禦ニ必要ナル事項ハ凡テノ手段ヲ盡シテ遣

憾ナカラシムルヲ要ス

之ト同時ニ左ノ通報ニ接ス

歩兵第二師團ハ Grn. Studena ヨリ Batak ヲ經テ二十一日 Bela Cerkova Pavikeni 川左岸 川左岸 二到著ス同師團ノ任務ハ Lovca ニ在ル土軍スライマンパシアノ軍ヲ援助スル爲攻勢ニ出ツルノ虞アルカ故ニ Trnovo 及 Gabrovo ニ通スル道路ヲ警戒シ及歩兵第十四師團第一旅團第五十三第五十四聯隊 Seviljevo 附近ヨリ Gabrovo ニ轉進スル場合ニ於テ之ト交代シテ Seviljevo ニ到ルニ在リ故ニ歩兵第二師團ハ此目的以外ニ Bela Cerkova ヨリ他ニ移動セシムヘカラス之レ南部兵團若シスライマンパシア軍ノ攻撃ヲ拒止スルヲ得ハ企畫セラレタル Plevna ノ決戦攻撃ニ於テ同師團ヲ其左翼ニ参加セシメント欲スルニ依ル

是ニ於テ中將ラデツキーハ直ニ Prisoivo ニ在リシ狙撃歩兵第四旅團ドン哥薩克騎兵第二十三聯隊ノ一二中隊第一第五中隊ナルカ如シ 竝ニ此日 Zlatarica ヨリ Trnovo

ニ歸還セシ步兵第十四師團第二旅團(一大隊缺)砲兵第十四旅團第二第三中隊ニ翌二十二日拂曉 Trnovo 出發 Gabrovo ニ前進スヘキヲ命シ又第十一軍團長中將シアコウスコエニ Osmanbazar 及 Klana 方面ヲ警戒シ重要ナル報告ハ直接軍司令部ニ報告スヘキヲ命令セリ

次テ中將ラデツキーハ土軍正午頃 Lovca ヲ發シ Sevljevo ニ向ヒ前進シタリトノ報ニ接シ直ニ之ヲ軍司令官ニ報告シ且步兵第二師團ヲ Sevljevo ニ向ヒ急行セシメンコトヲ請求ス

是ヨリ先中將ラデツキーハ既ニ Sevljevo 附近ニアル步兵第十四師團第一旅團ヲ Siska 方面ニ招致セントスルノ意アリ軍司令官ニ步兵第二師團ヲ Viljevo ニ向ヒ前進セシメラレンコトヲ請求シ同時ニ前記旅團ニハ第二師團來著セハ之ト交代シテ Siska ニ向ヒ前進スヘキヲ命令セシモノノ如シ

同夜十一時二十分中將ラデツキーハ在 Siska 峠少將デロチンスキーヨリ Siska 峠附近ノ戦闘猛烈ナルノミナラス二十二日ハ西方面ヨリモ敵ニ包圍セ

ラレントスルノ報告ヲ受領シ二十二日朝 Trnovo 出發 Gabrovo ニ向ヒ前進ス

同二十一日步兵第二師團ハ前日(二十日)ノ軍命令ニ依リ Patak ヲ經テ前進シ Pavikeni 附近ニ到著シテ宿營シ中將ラデツキーハ同師團ハ爾後 Sevljevo ニ向ヒ前進シ同地附近ニ在ル步兵第十四師團第一旅團ト交代スヘキコト並ニ西部兵團ヨリ Lovca 方面ニ向ヒ歩兵一旅團ヨリ成ル支隊ヲ派遣セラルヘキコトヲ豫期セリ

八月二十二日 Siska 附近ノ戦闘(第二日) 附圖第四十三(第四十四參照)

二十二日拂曉露軍「シプカ」守備隊ハ陣地ニ在リ其配備左ノ如シ

一前方陣地

長大佐トルストイ

歩兵第三十六聯隊(第一第二第三中隊缺)

布爾牙利步兵第一第四大隊

砲兵第九旅團第二中隊

八月二十二日拂曉露軍ノ配備(附圖第四十三參照)

鹵獲砲兵中隊門七

計歩兵二十中隊砲十五門

前記ノ部隊ハ歩兵九中隊ヲ第一線散兵壕ニ歩兵二中隊ヲ其支援トシテ陣地ノ直後ニ置キ九中隊ハ豫備隊トシテ右翼後 *Dipka* 街道兩側ニ位置ス

二、東方築城市群

長大佐ウヤツエムスキー

布爾牙利歩兵第二第三第五大隊

三、西方及北方築城市群

長大佐リピンスキー歩兵第三十五聯隊長來著大佐ドブレラドウイッチト交代セルモノトス

歩兵第三十五聯隊第四中隊缺

歩兵第三十六聯隊ノ第一第二第三中隊

野砲兵第九旅團第五中隊

山砲兵第二中隊ノ四門

計歩兵十七中隊砲十二門

此部隊ノ内歩兵第三十五聯隊第三大隊ハ *Wolynskajagora* 及中央砲臺西方ヲ占領シ歩兵第三十六聯隊第一第二中隊ハ西方ニ對シ歩兵第三十五聯隊第八中隊ハ東方ニ對シテ共ニ *Wolynskie-Domiki* ノ南方陣地ヲ占領シ歩兵第三十五聯隊撤兵第二中隊第五第六第七中隊及第三十六聯隊第三中隊ハ圓砲臺周圍ノ陣地ヲ占領シ歩兵第三十五聯隊第一大隊(第四中隊缺)ハ中央砲臺ノ北麓ニ位置シテ豫備隊トナリ一部ハ中央砲臺兩翼ノ陣地ヲ占領ス

砲兵ノ陣地占領ハ前日ニ同シ

四騎兵部隊ハ陣地ノ兩側ニ在ル山道ノ警戒ニ任シタルモノノ如シ騎兵ノ行

二十二日午前六時頃ヨリ露土兩軍ハ砲戰ヲ開始シ爾後殆ト終日ニ互リテ

八月二十二日ノ戰況

持續セラル

露軍砲兵ハ此砲戰ニ約八百六十發ヲ使用ス四百七十八發ハ榴彈三百八十二發ハ榴
霰彈トス諸砲臺中最大發射ヲ爲シタル
ハ砲兵第九旅團第二中隊前方陣地ニ露軍ノ損傷ハ約百人ニ過キス露國參謀本部戰史ニ
アリニシテ其數四百五十三ニ達セリ
キハ地形ノ利用竝ニ掩護ノ依ルモノトス露軍若シ
掩體ヨリ露出センカ土軍ハ忽チ砲火ヲ之ニ集中セリト

是日ドン哥薩克騎砲兵第十中隊ノ二門ハ少將デロチンスキーノ命令ニ依
リ Gabrovo ヨリ Sipka ニ招致セラレ午後圓砲臺ニ陣地ヲ占ム

露軍ハ二日間ノ戰鬪ニ於テ頗ル疲勞ス而シテ炎熱燒クカ如キ時ニ於テ食
料及飲料水ノ缺乏ハ大ニ之ニ影響セシモノノ如シシプカ守備隊ハ此情況
ヲ顧慮シ二十二日夜ヨリ翌朝ニ互リテ守備兵ノ交代ヲ實施ス即チ左ノ如
シ附圖第四十
五其一參照

步兵第三十五聯隊第一大隊(第四中隊缺)ハ前方陣地ノ步兵第三十六聯隊
撤兵第一中隊第四中隊第三大隊(撤兵中隊缺)ト交代シ同隊ハ第三中隊ト
共ニ Wolynskie Domiki 附近ニ移リ同所ニ在リシ步兵第三十六聯隊第一第

土軍ノ配備

二中隊及同第三十五聯隊第八中隊ニ増加ス

露軍第一線陣地ノ諸隊ハ夜間工事ヲ行ヒ特ニ Sv. Nikola 山ノ前方陣地ニ在
リテハ晝間破壞セラレタル陣地ヲ修築シ明二十三日拂曉ノ戰鬪ヲ準備ス
附記 スライマンパシア軍ハ二十二日拂曉左ノ位置ニ在リ

一、右翼部隊 レドシュツバシヤ(第二旅團長)ノ指揮スル第二第三旅團ノ步兵十六大隊騎
兵若干並砲十二門(山砲六門野砲六門ニシテ野砲六門ハ二十一日増加セラレ
タルモ
ノナリ) ハ二十一日夜間 Demievic 山ヨリ Maly Bedek 山ニ互ル高地ニ

構築セラレタル陣地ヲ占領シ主力ハ其後方ニ集合ス
Maly Bedek 山上ニハ山砲六門野砲二門アリ

二、左翼部隊 サリヒバシヤ(第一旅團長)ノ指揮スル第一旅ト Sv. Nikola 山南方 Sipka
團及第四旅團ノ一部歩兵十六大隊並砲二門

街道兩側ノ地區ヲ占領シ主力ハ標高五六〇高地ノ南麓ニ在リ砲二
門ハ標高五六〇高地上ニ陣地ヲ占領ス

前記兩翼部隊ヨリハ偵察ノ爲各小部隊ヲ敵陣地殊ニ其背後ニ向テ
派遣セリ

二、スライマンパシアノ豫備隊第四旅團ノ一部第二第六旅團步兵二ハ Sipka 南方ノ露營地ニ在リ

別ニ步兵二大隊騎兵若干ハ Blagodatovo 附近ニ止リ其小部隊ハ Sipka 峠ノ西方ニ前進シテ偵察ニ任ス

スライマンパシアハ二十二日諸偵察ノ報告ヲ綜合シ二十三日主力ヲ以テ東方面ヨリ Sv. Nikola 山竝ニ Sipka 山 Uzunkus 山トノ中間地區ニ向ヒ攻撃シ一部ヲ以テ南方面ヨリ Sv. Nikola 山ニ又一部ヲ以テ西方面ヨリ Volynskaja Gora ニ向ヒ攻撃スルニ決シ二十三日拂曉迄ニ各攻撃準備ノ位置ニ就カシム其部署ノ大要左ノ如シ

一、右翼部隊 舊右翼部隊ニ步兵五大隊砲八門ヲ増加シ步兵二十一大隊騎兵若干砲廿門トシ之ヲ第四旅團長シアキルパシアノ指揮ニ屬ス ヲシテ Sipka 山 Sv. Nikola 山附近露軍陣地ノ東側ニ向ヒ攻撃ス

二、中央部隊 舊左翼部隊ヲ増加シ步兵十四大隊砲六門トシ之ヲ第一旅團サリヒバシアノ指揮ニ屬ス ヲシテ Sv. Nikola 山ノ露軍前方陣地ヲ攻撃セシム

但シ步兵一大隊ヲ Lesnoj Kurgan 高地ノ南方千米附近ニ出サシム其的ハ左側部隊ト連絡セシムルニ在リシカ如シ

三、左翼部隊 ラシツムバシアノ指揮スル ヲシテ Lysaja gora 村ヨリ Volynskaja gora ニ向ヒ攻撃セシム

四、爾餘 步兵十一大隊騎兵ハ Sipka 村南方ニ位置セシム Blagodatovo 二大隊ヲ合ス

此日狙撃歩兵第四旅團 哥薩克步兵二中隊 歩兵第十四師團第二旅團歩兵第五十

五聯隊第二大隊缺 此大隊ハ Trnovo 騎兵二中隊野砲兵第十四旅團第二第三中隊ハ二十一日ニ於ケル中將ラデツキーノ命令ニ依リ Gabrovo ニ向ヒ前進ス即チ狙撃歩兵第四旅團 哥薩克步兵二中隊 砲山砲 ハ 第一梯隊ト爲リ二十二日午前五時 Trnovo 出發 各兵ハ背囊ヲ負ハス又行李 歩兵第五十五聯隊第二大隊缺歩兵

第五十六聯隊及砲兵第十四旅團第二第三中隊ハ第二梯隊ト爲リ二十二日午前三時乃至四時ノ間 Trnovo 附近ノ宿營地ヲ出發シ「ドン」哥薩克騎兵第二十三聯隊ノ二中隊ハ獨立シテ兩梯隊ノ前方ニ行進シ中將ラデツキーハ第

狙撃歩兵第四旅團及歩兵第十四師團第二旅團等 Gabrovo 二前進ス(附圖第四十四參照)

一梯隊ノ先頭ニ在リテ行進ス
 LinoVOヨリ GabroVOニ通スル街道ハ全然森林ナキ波狀地ニシテ數多ノ昇
 降坂アリ又軍隊及布爾牙利避難民避難民ハ多クノ車輛ヲ携行セリノ通過ニ依リテ道路著シ
 ク破壊セシノミナラス此日炎熱燒クカ如ク砂塵飛揚シテ列兵ヲ覆ヒ行軍
 極メテ困難ナリ之カ爲第一梯隊ハ午後零時半 Drenovoニ於テ大休
 止ヲ爲シ午後四時更ニ行進ヲ起ス爾後ノ行軍ハ各兵疲勞ノ結果行進速度
 遲緩シ落伍兵漸次ニ増加シ爲ニ其輸送ニ百二十輛ノ車ヲ要スルニ至ル此
 ノ如クシテ Lrenovo, GabroVO間約五里ノ行軍ニ七時間ヲ要シ二十三日午
 前一時漸ク GabroVOニ著ス約十里ノ行軍ニ休憩時間ヲ除キ約十六時間ヲ要セリ第二梯隊ノ行軍ハ里程稍
 遠キト特ニ各兵戰時武裝ヲ爲セシトヲ以テ一層ノ困難ニ遭遇セリ即チ同
 隊ハ歩兵第五十六聯隊砲兵兩中隊歩兵第五十五聯隊ノ順序ヲ以テ午前九
 時 Debelcuニ到達シ同地ニ於テ喫食シタル後歩兵ハ午前十一時更ニ出發ス
出發前同地ニ人員ヲ先遣シ豫メ炊事ヲ爲サシメタルモ軍隊ノ著セシトキ準備未タ整ハス爲ニ出發ヲ遲延セシモノノ如ク然ルニ落伍者ノ數漸次増

八月二十二
 日夜中將ラ
 デツキーノ
 部署

加シ正午頃ヨリ日射病ニ倒ルル者亦少ナカラス午後三時歩兵第五十五聯隊ニテ二十六人ヲ算ス是ニ於
 テ更ニ Drenovska 小川方約五吉米ノ地ニ大休憩ヲ爲シ落伍兵ノ爲ニ車輛ヲ
 準備シ午後八時更ニ行進ヲ起セシモ暗夜且道路不良ニシテ兵卒ノ疲勞甚
 シク行軍速度遲緩シ且行軍長徑著シク延長シ其先頭ハ二十三日午前九時
 GabroVO附近ニ達シタルモ後尾ハ同一時同地ニ達シ遲留兵ハ午後一時ニ
 至リテ漸ク到著ス砲兵第十四旅團第二第三中隊ノ行軍ニ關シテハ明確ナ
 ル記事ナキモ第三中隊ハ此日 GabroVOニ著シ第二中隊ハ此日遅ク著シタ
 ルモノノ如シ
 中將ラデツキー中將ラデツキーハ出發前二十三日午前三時迄ニ前記兩聯隊ヲDipka時ニ集合セシメンコトヲ豫期セリハ途中ヨリ先行シ
 テ二十二日午後九時 GabroVOニ著シ同日土軍ハ Dipkaニ對シ單ニ砲撃セ
 シノミニシテ新ニ攻撃ヲ企圖セサリシヲ知り疲勞セシ行軍部隊ニ休息ヲ
 與ヘント欲シ狙撃歩兵第四旅團ハ二十三日午後二時又ハ三時後ニ歩兵第
 十四師團第二旅團砲兵兩中隊ノコトハ不明ナリハ午後六時以後ニ GabroVO 出發 Sipka 峠

ニ向ヒ前進スヘキヲ命シ且 Sipka 峠ニ在ル少將デロチンスキーヲ Galrovo
 ニ招致ス當時中將ラデツキーハ若シタカ峠ヲ固守スル能ハサレ
 同二十一日歩兵第一師團ハ Rasica 川左岸ノ宿營地出發 Balvan ヲ經テ Sevil-
 jevo, Balvan 間ノ地ニ達シテ宿營シ歩兵第七聯隊砲兵一中隊ハ尙行進ヲ續
 行シテ Seviljevo ニ急行ス

八月二十三日 Sipka 附近ノ戰鬪(第三日)(附圖第四十五其一二其三四五六參照)

二十三日拂曉露軍ノ配備次ノ如シ

一、前方陣地

長大佐トルストイ

歩兵第三十五聯隊第一大隊(第四中隊缺)

歩兵第三十六聯隊撤兵第三中隊

布爾牙利歩兵第一第四大隊

砲兵第九旅團第二中隊

拂曉露軍ノ
 位置(附圖
 第四十五其
 一參照)

鹵獲砲兵中隊七門内一門ハ使
 用ニ堪ヘス

計歩兵十三中隊砲十四門

二、西方及北方築城群

長大佐リピンスキー

歩兵第三十五聯隊第一大隊(缺)

歩兵第三十六聯隊撤兵第三中隊(缺)

砲兵第九旅團第五中隊

[ドン]哥薩克騎砲兵第十中隊ノ二門

山砲四門

計歩兵二十四中隊砲十四門

此部隊ハ歩兵第三十五聯隊第三大隊ノ撤兵第三中隊ノ半部第十第十
 一中隊ヲ以テ Wolynskajagora ノ前進陣地ヲ同第十一中隊ヲ以テ中央砲
 臺ノ南方ヲ同撤兵第三中隊ノ半部及第九中隊ヲ以テ其西方ノ陣地ヲ

占領シ步兵第三十六聯隊撤兵第一中隊及第三大隊撤兵第三中隊缺ヲ以テ Wolynskie domiki ノ街道西方ノ陣地ヲ同第三十五聯隊第八中隊ヲ以テ其東側陣地ヲ占領シ步兵第三十六聯隊第一大隊撤兵第一中隊缺ハ豫備隊トシテ Wolynskie domiki ニ位置シ步兵第三十五聯隊第二大隊(第八中隊缺)ハ圓砲臺周圍ノ陣地ヲ占領シ步兵第三十六聯隊第二大隊及山砲第二中隊ノ半部ハ中央砲臺ノ北麓ニ位置シテ全地區ノ豫備隊ト爲ル

三、東方築城群

長大佐ウヤツェムスキー

布爾牙利步兵第二第三第五大隊

計歩兵十二中隊

砲兵陣地占領ニ關シテハ前日ニ異ナラス

午前四時頃圓砲臺、中央砲臺及大砲臺ノ砲兵 Lysajagora ニ放列ヲ布キタル四

正午ニ至ル迄ノ情况

西正面ノ情况

門八門ノ内四門先ツ射撃ヲ開始シノ土軍砲兵ニ對シテ砲戰ヲ開キ幾モ無ク圓砲臺及大砲臺ノ砲兵ハ Wolynskajagora ノ陣地ニ向ヒ Lysajagora 東部斜面ヲ前進スル土軍歩兵ニ目標ヲ變換ス而シテ大砲臺ノ砲兵ハ該斜面ニ至ル距離約二千五百米アリ充分ノ効力ナキノミナラス該山上ノ土軍砲兵ノ爲ニ却テ沈黙セシメラルルニ至ル

午前五時西方及北方築城群守備隊長大佐リピンスキーハ中央砲臺ノ北方豫備隊ノ位置ニアリ土軍ノ攻撃ニ關スル報告ヲ受領シ直ニ中央砲臺ノ西方陣地ニアル歩兵第九中隊ト撤兵第三中隊ノ半部トヲ Wolynskajagora ノ陣地ニ派遣シ同地ニ在リシ歩兵第十第十二中隊及撤兵第三中隊ノ半部ニ増援ス此間土軍ハ益々接近シ來リ第一線ノ兵力約二大隊ト爲リ尙後方ニ豫備隊アリ其猛烈ナル射撃ハ將ニ決戰ヲ惹起スルニ似タリ因テ同陣地ヲ守備セシ中佐シアワップハ全兵力ヲ防禦線ニ展開シ防戦甚タ努メ同時ニ大佐リピンスキーニ情况ヲ報告シ増加隊ヲ請求ス同大佐ハ其報告ヲ受領シ

午前六時三十分 Wolynskie Domiki 附近ニ在リシ豫備隊ノ内ヨリ歩兵二中隊
歩兵第三十六聯隊ヲ派遣ス是ニ於テ同陣地ノ守備兵ハ六中隊ト爲レリ午前七
ノ第二第三中隊時三十分土軍ハ豫備隊ヲ第一線ニ加入シ奮進露軍ノ陣地ニ迫リシモ露兵
 頑強ニ抗戦シ遂ニ土軍ヲ Lesnoj Kurgan 山ニ撃退ス午前八時頃 軍再ヒ増
 加兵ヲ得テ前進ヲ起ス此時 Wolynskajagora ノ露軍ハ猛烈ナル土軍ノ攻撃ノ
 爲死傷者續出シ守備隊長中佐シワッポモ亦負傷ス

大佐リピンスキーハ西方面土軍兵力ノ優勢ナルヲ認メ中央砲臺ノ北麓ニ
 在リシ豫備隊ヨリ歩兵第三十六聯隊第六中隊ヲ派遣シ又土軍西方陣地ノ
 側背 Zinza 山ニ迂回シ來ルノ報ニ接シ豫備隊ヨリ歩兵第三十六聯隊撤兵第
 二中隊ノ半部山砲第二中隊ノ半部並ニ圓砲臺ノ北方ニ在リシ歩兵第三十
 五聯隊第六中隊ノ半部ヲ Uzunkus 山ニ派遣シ又歩兵第三十六聯隊第八中
 隊ヲ東方築城群ニ増加ス乃チ午前十時頃豫備隊トシテ使用シ得ヘキモノ
 ハ歩兵第三十六聯隊第五第七中隊撤兵第二中隊ノ半部ノミ 中央砲臺ノ南方ニ
在リシ歩兵第三十

五聯隊第十一中隊ハ此間其ノ西方約二三百米ノ陣地ニ移リ又歩兵第三十六聯隊第二第四中隊ハ ウツキ
ウツキ附近ニ在リシモ此方面ニ使用スルノ必要ヲ顧慮セシカ故ニ遊動シ得ヘキモノハ二
 中隊半 ウツキナリ 此時 Wolynskajagora ノ戰鬪激甚トナリ大佐リピンスキーハ更ニ豫備
 隊ヨリ歩兵第三十六聯隊第五中隊ヲ同地ニ派遣ス是ニ於テ同陣地ノ兵力
 ハ八中隊ト爲リ守兵ノ志氣大ニ振興シ遂ニ土軍ヲ Lesnoj Kurgan 高地以西
 ニ撃退ス時正ニ正午ナリ

午前九時頃 Wolynskajagora 陣地ニ對スル土軍ノ攻撃ト略同時ニ土軍約一大
 隊西方ヨリ Uzunkus 山ニ向ヒ前進ス適大佐リピンスキーノ命令ニ依リ
 テ Uzunkus 山附近ニ派遣セラレシ歩兵第三十五聯隊第六中隊ノ半部同第
 三十六聯隊撤兵第二中隊ノ半部及山砲四門同地ニ來著シ攻撃シ來レル土
 軍ヲ拒止シ遂ニ之ヲ Lesnoj Kurgan ノ北方高地突出部附近ニ撃退ス
 此ノ如クシテ露軍ハ西方面ニ攻撃シ來レル土軍ヲ悉ク撃退セリ
 拂曉 Sv. Nikola 山上小砲臺及大砲臺ノ露軍砲兵標高五六〇高地附近ノ土
 軍砲兵ト砲戦ヲ交ヘ遂ニ之ヲ沈黙セシム其後土軍ハ大砲臺前ヲ迂回シテ

ウオランスカヤ^{ウオランスカヤ} Wolyuskajagora 二進出セントスルノ狀アリ又其一部ハ^{シプカ} Sipka 街道ノ東側地
區ヲ經テ鋼砲臺ニ向ヒ攻撃シ來レルヲ以テ守備隊長大佐トルストイハ直
ニ豫備隊ニ在リシ布爾牙利步兵第一第四大隊ノ各第三中隊ヲ陣地ノ右翼
ニ増加シ敵ヲ拒止セシム然ルニ午前九時以後土軍ハ露軍ノ陣地前ニ停止
シ敢テ前進セス此間土軍ノ大部隊陣地ノ東正面ニ攻撃シ來リシヲ以テ鋼
砲臺ノ砲兵ハ^{マリーベデク} Mary Bedek 山上ノ土軍砲臺ヲ射撃セシモ爾後正午頃迄狀況
變化ナシ

東正面ノ情
況

拂曉土軍砲兵ハ^{マリーベデク} Mary Bedek 山ヨリ^{スチニコラ} Sv. Nikola 山ノ砲兵及布爾牙利步兵第
二第三第五大隊ニ對シ射撃ヲ開キ次テ午前六時頃土軍歩兵ハ森林内ヲ通
過シ布爾牙利步兵第二第三第五大隊ノ陣地ニ向ヒ攻撃シ來ル布爾牙利步
兵三大隊ハ近距離ニ於テ一齊射撃ヲ以テ之ヲ迎ヘ其動搖ニ乘シ銃劍ヲ揮
テ土軍ヲ森林内ニ撃退ス暫クシテ土軍再ヒ隊伍ヲ整頓シ攻撃ヲ再興ス前
方陣地ノ守備隊長大佐トルストイハ之ヲ見テ最左翼ノ布爾牙利步兵第四

大隊第四中隊ヲシテ土軍ノ左翼ヲ射撃セシム此時中央砲臺ノ北麓ニ位置
セシ豫備隊ノ内歩兵第三十六聯隊第八中隊ハ此地區ニ増加セラレ布爾牙
利歩兵第二大隊ノ右翼ヲ延伸シ圓砲臺ノ右翼ニ在リシ歩兵第三十五聯隊
第七中隊モ亦此戰鬪ニ參加シ此方面ノ露軍十四中隊トナリ圓砲臺ノ砲兵
ト協力シテ再三反覆セル土軍ノ攻撃ヲ撃退ス

前方陣地東側ニ於テハ午前八時頃土軍歩兵^{マリーベデク} Mary Bedek 山及^{デニエヴィチ} Demevic 山ヨ
リ^{スチニコラ} Sv. Nikola 山ノ東側鋼砲臺ニ向ヒ攻撃シ來リシモ此方面ノ守備ニ任シタ
ル前方陣地ノ露軍歩兵五中隊ハ能ク前後四回反覆セラレタル土軍ノ突撃
ヲ拒止シ其陣地ヲ維持セリ

東正面ノ戰鬪中土軍ノ一部隊ハ午前九時突然^{シプカ} Sipka 山東側森林中ヨリ出
テテ圓砲臺ニ向ヒ攻撃シ來ル

是ヨリ先豫備隊ニ在リシ歩兵第三十六聯隊撤兵第二中隊ノ半部山砲四門
竝圓砲臺ノ北方陣地ニ在リシ歩兵第三十五聯隊第六中隊半部ハ^{ウザンクス} Uzankus

山ニ派遣セラレ午前八時三十分頃同地ニ到着シ西正面ヨリスル敵ニ對シ
 工事ヲ施シツツアリシカ突然土軍ノ東正面ヨリ *Uzunkus* 山ニ向ヒ攻撃シ來
 ルヲ認メ射撃ヲ以テ其前進ヲ拒止セントセシモ西正面ヨリ *Uzunkus* 山ニ向ヒ土軍ノ
 時既ニ後レ土軍一二大隊ハ大街道ニ近ク前進シ *Uzunkus* 山ノ東北側ニ迫レ
 リ圓砲臺ノ東側陣地ニ在リシ步兵第三十五聯隊ノ第五中隊及第六中隊ノ
 半部ハ不意ニ敵ノ攻撃ヲ受ケ射撃ヲ以テ之ヲ拒止スルノ違ナク銃劍ヲ揮
 ヒ格闘シテ漸ク之ヲ卻ケ爾後土軍數回突撃ヲ反覆セシモ辛ウシテ之ヲ拒
 止ス *Uzunkus* 山上ノ山砲四門ハ此戰闘ニ於テ近距離ノ射撃ヲ以テ大ニ土
 軍ニ損傷ヲ與ヘタリ然レトモ土軍ハ更ニ *Uzunkus* 山ノ東方地區ニ前進ス
 ルノ徵アリシヲ以テ露軍ハ左側背ノ危險ヲ防止セント欲シ中央砲臺ノ北
 麓ニ位置セシ豫備隊 步兵第三十六聯隊第七中隊及撤兵第二中隊ノ半部 ヲ此方面ニ増加ス故ニ今ヤ同地
 ニハ豫備隊トシテ使用シ得ヘキモノ皆無トナルニ至レリ
 午後一時 *Lesnoj Kurgan* 山ノ線ニ停止セル土軍ハ再ヒ *Wolynskajagora* 山ニ向ヒ

正午以後ノ
情況(附圖)

第四十五其
二参照)

攻撃シ來ル露軍ハ頑強ニ抵抗シ損傷甚大ナリ午後二時頃土軍更ニ第一線
 ニ兵力ヲ増加シ包圍的ニ攻撃ス是ニ於テ指揮官少佐ラチレウ *ウツチ* ハ大
 佐リピンスキーニ土軍優勢ニシテ現陣地ヲ固守スルヲ得サルコトヲ報告
 シ同大佐ハ此報告ニ接シ前方陣地ノ守備隊長大佐トルストイニ一中隊ノ
 増援ヲ請求スルト同時ニ少佐ラチレウ *ウツチ* ニ左ノ要旨ヲ命令ス

狙撃歩兵第四旅團ハ二時間以内ニハ確實ニ到着スル豫定ナリ 大佐リピン
ニ關シテ少將ツウエチンスキー(狙撃歩兵第四旅團長)ノ通報ヲ承知セシカ如シ 故ニ萬難ヲ排シテ現陣地ヲ固守スヘシ若
 シ已ムヲ得スンハ地雷ノ爆發ヲ妨害セサル如ク *Poresejek* ノ陣地ニ退却
 スヘシ

此時ニ當リテ土軍六乃至八大隊ハ東方築城群ノ布爾牙利步兵諸大隊ヲ攻
 撃シ加フルニ *Uzunkus* 山ニ向ヘル土軍ハ漸次其戰線ヲ北方ニ延伸シ *Uzunkus*
 山ノ前面ニ達ス而シテ東南方及南方ノ土軍ハ步兵攻撃ヲ斷念シタルモノ
 ノ如ク只露軍ヲ砲撃スルノミ然ルニ露軍ハ今ヤ全力ヲ第一線ニ増加シテ

又一兵ナシ是ニ於テ「シプカ」守備隊焦眉ノ急ヲ救フヘキモノハ唯中將ラデツキーノ指揮スル増援隊ノ來援アルノミ

然ルニ是ヨリ先午前八時守備隊長少將ストリエトフハ中將ラデツキーヨリ増加部隊ハ行軍ノ疲勞大ニシテ午後ニ至ラサレハ「ジプカ」峠ニ達スルヲ得ストノ通報ニ接シ唯一ノ希望ヲ失ヒシモ而モ此通報ヲ秘シテ部下ニ示

サス 露國參謀本部戰史ニ曰ク午後二時大佐リビンスキーハ増加部隊豫期ノ如ク到着セサリシヲ以テ少將ストリエトフニ書ヲ送り既ニ午後二時ナリ斯クシテ部下ヲ欺ク原文ニハ欺クノニ

字抹殺セラレタリニ忍ヒスト少將ストリエトフ之ニ答ヘテ「貴下ノ知ラレル如ク新銳ナル部隊ヲ有セス原文ニハ此文字抹殺セラレアリ判讀スル所ニ據ル」布爾牙利歩兵半大隊ヲ招致セヨサレト之カ

爲我軍ノ左翼ハ薄弱トナルヲ記憶セヨ予ハ中將ラデツキーノ許一方中將ラデツキーニ附近露軍ノ窮狀ヲ訴ヘテ増加部隊ノ迅速ナル赴援ヲ請求シ一方戰鬪中

ナル部隊ヲ一地區ヨリ他地區ニ轉置スルノ手段ヲ講シ前方陣地守備隊長大佐トルストイニ成シ得ル限り爾餘ノ地區ヲ援助スヘキヲ命令セリ 午後二時以後西方面ニ對スル土軍ノ攻撃益進歩シ少佐ラチレウイッチノ

部隊ハ殆ト其兩翼ヲ包圍セラレ今ヤ露軍陣地ノ守兵ハ大ナル損傷ノ爲ニ所々二十歩ニ僅ニ一人ノ守兵ヲ見ルモノアルニ至リ將校モ亦大多數損傷ヲ受ケ戰鬪指揮全ク阻碍セラル

大佐リビンスキーハ今ヤ同部隊ノ「Wolynskajagora」ヨリスル退却ハ避クヘカラサルヲ認メ「Sv. Nikola」山ノ守備隊ヨリ來著セル歩兵第三十五聯隊第一中

隊ヲ中央砲臺ノ右翼ニ増加ス 此間東方面ノ土軍ハ猛烈ニ「Uzunkus」山ヲ攻撃シ其騎兵ハ露軍ノ背後ヲ威

嚇ス當時此正面ニ於テ防禦ニ任シタルモノハ歩兵第三十六聯隊第七中隊 撤兵第二中隊第三十五聯隊第五中隊第六中隊ノ四中隊ナリシカ少將スト

リエトフハ危殆ヲ認メテ「Sv. Nikola」山ヨリ來著セル布爾牙利歩兵第一大隊ノ第一第二中隊ヲ此方面ニ増加ス中佐ケサコフ兩中隊ハ諸方面ヨリ飛來ス

ル敵彈ノ爲ニ「Dipka」街道ヲ前進スルコトヲ得ス街道ヲ避ケ大ナル損害ヲ受ケツツ「Uzunkus」山ノ南方高地ニ達シ漸ク土軍ノ前進ヲ拒止ス時ニ午後

五時過ナリ

是ヨリ先午後四時 *Wolynskajagora* ノ露軍ノ損傷其極ニ達シ將校ハ殆ト全部死傷シ陣地ヲ固守セル勇敢ナル士卒モ今ヤ負傷者ノ群ニ混シテ退却ヲ始ム是ニ於テ大佐リピンスキーハ前方陣地ヨリ來著セル步兵第三十五聯隊第二中隊ヲシテ中央陣地ノ右翼散兵壕ヲ占領セシム

露軍 *Wolynskajagora* ノ陣地ヲ撤退スルヤ土軍ハ猛烈ニ之ヲ追躡ス大佐リピンスキーハ中央砲臺ノ前方附近ニアル諸隊ヲシテ一齊射撃ヲ以テ敵ノ前進ヲ躊躇セシメントセシモ前方部隊ハ既ニ退却ヲ開始セルヲ以テ何等ノ效果ナク退却セル部隊ハ秩序紊亂シ各兵潰走ニ陥ル幸ニシテ土軍急進セサリシヲ以テ步兵第三十五聯隊第三大隊 中央砲臺ノ西方約二百米ノ陣地ニ在リシ守兵ニ増加セシカ如シ 及第三十六聯隊第三第五中隊ハ中央砲臺ノ西方及西北方地區ニ退却シ前方陣地ヨリ此地區ニ移リシ步兵第三十五聯隊第一第二中隊ヲ合シ中央砲臺西方ノ散兵壕ヨリ圓砲臺ノ背後ニ互ル間ニ停止シ步兵第三十

午後五時頃
露軍ノ位置

六聯隊第二中隊及第六中隊ノ一部ハ最後ニ退却シ *Peresejek* ニ到リ同地ニ在リシ同聯隊第一第四中隊ト合ス此頃前方陣地ヨリ來著セシ布爾牙利步兵第四大隊第一中隊ハ圓砲臺ノ北方ニ陣地ヲ占領ス

午後二時以後午後五時頃迄ニ前方陣地ヨリ後方ニ移動シタル部隊ハ步兵第三十五聯隊第一(午後二時稍過)第二中隊布爾牙利步兵第一大隊第一第二中隊同步兵第四大隊第一中隊午後四時三十分頃)ノ五中隊ニシテ從來步兵十三中隊ヲ有セシ前方陣地ノ步兵ハ今ヤ八中隊 布爾牙利步兵第四大隊第三中隊同第一大隊第三第四中隊步兵第三十五聯隊撤兵第三中隊布爾牙利步兵第四大隊第二中隊步兵第三十五聯隊撤兵第一中隊第三中隊布爾牙利步兵第四大隊第四中隊 ニ減シ又圓砲臺ヨリ *Peresejek* 附近ニ至ル西方築城群ノ正面第一線ニハ步兵第三十六聯隊第三第五中隊 *Wolynskajagora* ヨリ退却セルモノ 步兵第三十五聯隊第一第二第十一中隊及第三大隊(第十一中隊缺)最後ノ五中隊ハ *Wolynskajagora* ノ陣地ヨリ退却セルモノ 步兵第三十六聯隊撤兵第一中隊第九第十第十一第十二中隊アリ *Wolynskie Domiki* 附近ニ步兵第三十六聯隊第一第二第四第六中隊 第二第六中隊ハ *Wolynskajagora* ノ陣地ヨリ退却セルモノトス アリ其兵力計步兵十八中隊ニ

シテ又圓砲臺ノ東及南方陣地ニ步兵第三十五聯隊第七中隊及撤兵第二中隊アリ其南方東方築城市群ニハ布爾牙利步兵第二第三第五大隊步兵第三十六聯隊第八中隊同三十五聯隊第八中隊ノ十四中隊アリ圓砲臺ノ北方^{シムツカ}街道ニ沿フ地區ニハ布爾牙利步兵第四大隊第一中隊步兵第三十五聯隊第五中隊第六中隊ノ半部布爾牙利步兵第一大隊第一第二中隊步兵第三十六聯隊第七中隊撤兵第二中隊步兵第三十五聯隊第六中隊ノ半部計步兵七中隊ト山砲四門アリ要スルニ露軍ハ二部ニ分レ其一部ハ約二大隊ヨリ成リ弓形狀ニ^{スチニク} Sv. Nikola 山高地ヲ占領シ他部ハ約九大隊ヨリ成リ^{シムツカ} 街道ノ兩側ニ互リ互ニ背ヲ接シテ約一吉米半ノ陣地ヲ占メ優勢ナル土軍ヨリ三方面ヲ包圍セラル加之諸隊著シク損傷ヲ蒙リ砲二十九門中三門ハ使用ニ適セス鋼砲臺ハ彈藥ヲ射盡シ爾餘ノ諸砲臺モ餘ス所甚タ少シ露軍ハ此ノ如キ情況ニ在リテ三日間連續セル戦闘ニ從事シ體力疲勞シ加フルニ土軍ノ間斷ナキ攻撃ト増援部隊ノ未著トハ著シク露軍ノ志氣ヲ沮喪セシメ

狙撃歩兵第四旅團等
第四旅團等
第二旅團等
第三旅團等
其圖

午後五時以後遂ニ戦闘線内ニ在ル兵卒個々退却スルモノアルニ至ル此時ニ當リ偶々全守備隊退却ヲ開始セリトノ風評傳播シ^{前方車地ニ在リシ部隊ノ後方ニ移動スルヲ認メテ此ノ如ク}謂ヒ傳ヘタ 戦線ヲ去ルモノ頓ニ増加シ^{布爾牙利步兵第四大隊ニ於テハ最後ノ手段トシテ同大隊ノ旗桿ヲ折リテ奪取セラレントスル場}合ニ備ヘ又圓砲臺ニ於テ火砲閉鎖機ヲ離脱シ退却ノ準備ヲ爲セリト云フ殊ニ中央砲臺附近ノ部隊ハ敗退セル部隊ノ影響ヲ受ケ混亂ノ情況筆紙ノ盡ス所ニアラス然レトモ露軍ノ此危機ニ際シ土軍モ亦疲勞シテ最後ノ一撃ヲ加フルノ勇氣ナカリシヲ以テ露軍ハ辛ウシテ將校ノ奮勵努力ニ依リ退却運動ノ傳播ヲ防止スルヲ得タリ二十三日早朝ヨリ午後五時三十分ニ至ル十四時間ノ戦闘ニ於テ露軍ハ上記ノ如ク頗ル危険ナル情況ニ在リシモ午後五時三十分以後狙撃歩兵第四旅團ノ來援ニ依リテ漸ク危地ヲ脱スルヲ得タリ

二十三日午前八時少將デロチンスキーハ^{ガフホ} Gdaprovo ニ到着シ中將ラデツキ^{シムツカ} 峠ノ戦況ヲ報告シ其後少將ストリエトフヨリ二名ノ將校前後來著シテ^{シムツカ} 峠ノ危機ヲ訴ヘ狙撃歩兵第四旅團ノ急援ヲ請求ス是ニ於

テ中將ラデツキーハ直ニ第一梯隊 狙撃歩兵第四旅團哥薩克步兵第二中隊山砲第二中隊ノ二門ヲ含ムニシテ二十三日午前一時 ガブロフニ 著セシコト既記(本)「ドン」哥薩克騎兵第二十三聯隊ノ二中隊ヲ出發セシム同隊ハ 午前十一時頃 ガブロフ ヲ出發シ次テ第二梯隊 歩兵第十四師團第二旅團砲兵第十四旅團第二中隊ニシテ二十三日午前九時乃至十一時大部 ガブロフ ニ著セリ(本卷七八七九參照) ハ午後五時出發 シツカ 峠ニ向フ是日炎熱燒クカ如ク行軍極メテ困難ナリ第一梯隊ハ午後二時半頃 ツヘラノツカ Zelenodrovo ニ通スル三叉路附近ニ到著シ同所ニ第二回ノ休止ヲ行フ中將ラデツキーハ同所迄第一梯隊ノ先頭ニアリテ行進シ爾後哥薩克騎兵二中隊山砲二門ヲ率ヒ休憩ヲ廢シ第一梯隊ノ主力ニ先行シテ シツカ 峠ニ向ヒ急進シ午後四時三十分頃 カヂイヌカヤスチヘナ Kadiskaja-Stejena 山 附圖第四十 五其三參照 ノ南方ニ達シ土軍騎兵小部隊ヲ驅逐シ次テ砲二門ハ ウツク Uzunkus 山ノ東方附近ニ進出シテ戰鬪中ナル土軍ウツセルバシア部隊ノ右翼ニ對シ砲火ヲ開始シ 此砲二門ハ後 ウツク 山ノ同 騎兵兩中隊モ 中隊ノ四門ニ合シ行動ス 徒歩シテ戰鬪ニ參與ス此間中將ラデツキーハ土軍遠ク シツカ 峠ノ背後ニ進入セシヲ以テ猶豫スルコトナク哥薩克騎兵中隊ノ乘馬ヲ歸行セシメ狙

撃兵ノ急行ニ充テシム 狙撃歩兵第四旅團ハ此日輕裝シ第十六大隊第二中隊ヲ先頭トシ同大隊ノ殘餘及第十四第十五第十三大隊哥薩克步兵二中隊之ニ跟隨シ午後四時半頃其先頭ヲ以テ シツカ ノ陣地ヲ距ル約七吉米ノ地點ニ到達シ先頭中隊竝ニ爾餘中隊ノ志願兵若干ハ直ニ歸行セル空馬ニ跨リテ戰場ニ急行シ第十六大隊及第十四大隊ノ一部ハ同地附近ニ在リシ「シブカ」守備隊ノ車輛ニ乘リ之ニ續行シ先頭中隊ハ午後五時三十分頃同大隊ノ殘餘竝ニ第十四大隊ノ一部ハ午後六時頃其他ハ午後八時頃戰場ニ來著ス 哥薩克步兵二中隊ノ爾後ノ行動ニ就テハ記錄ナシ 此間 ウツク 山ノ東方ニ攻撃シ來リシ土軍ハ露軍ノ頑強ナル抵抗ニ會シ森林中ニ退却セシヲ以テ午後六時頃第十六大隊ハ直ニ中央砲臺附近ニ集合シ中將ラデツキーモ亦同處ニ在リ同中將ハ ウツク Wolynskajagora ヨリ土軍ヲ擊退セント欲シ第十六大隊長ニ攻撃前進ヲ命ス大隊長ハ第二第四中隊ヲ以テ ゴラ Gora Centralnaja 山ヨリ ウツク Wolynskajagora ニ通スル山背ヲ第一第三中隊ヲ以

露軍ノ戰勢
回復

テ其北方森林谷地ヲ經テ前進シ中央砲臺北方ニ在リシ步兵第三十五聯隊第十一中隊ハ之ニ續行ス中央砲臺附近ノ陣地ニ在ル露軍步兵之ヲ見テ志氣大ニ揚リ自ラ進ンテ攻撃ニ參與スルモノ多シ斯クテ約半時間ニ互ル戰鬪ノ後露軍ハ土軍ヲ Wolynskajagora ヨリ Lesnoj Kurgan 山ニ擊退シ小銃火ヲ以テ之ヲ追撃ス斯ノ如クシテ Wolynskajagora ハ再ヒ露軍ノ有ニ歸セリ露軍 Wolynskajagora ニ於テ攻勢ヲ取レルトキ午後八時稍前頃ナラン其北方ニ於テ土軍ノ有力ナル部隊 Uzunkus, Rajska-dolina ニ向ヒ攻撃シ來ル是ニ於テ Uzunkus 附近ニ在リシ「ドン」哥薩克騎兵二中隊ハ Uzunkus 山砲臺ノ西北方ニ於テ徒歩戰ヲ行ヒ此間漸次來著セシ狙撃步兵第十四大隊ハ直ニ Uzunkus, Rajska-dolina 間ニ陣地ヲ占領シテ土軍ヲ拒止シ次テ第十三及第十五大隊モ亦來著シ第十四大隊ノ後方ニ集合セリ午後八時以後戰鬪ハ全線ニ互リ衰微シ午後十時頃ニ至リ銃聲モ亦沈默シ露軍第一線ハ各其陣地ニ工事ヲ増設ス是日ノ戰鬪ニ於テ露軍ノ損傷ハ將校三十人下士卒一千人射耗砲彈ハ明確

午前ニ於ケル土軍ノ情

ナラサルモ砲兵第二第五中隊ハ榴彈三百五發榴霰彈五百四十發霰彈第五中隊十二發ヲ發射ス

附記 スライマンパシア軍ノ諸隊ハ既記攻撃部署ニ基キ二十二日夜運

動ヲ起シ二十三日拂曉左ノ如ク位置シテ攻撃ヲ準備ス附圖第四十五其一參照

一、右翼部隊シアキルバシアノ指揮スル步兵ハウエッセルパシアノ部隊步兵五

ヲ以テ Jlovica 川ノ上流 Sipka 山ノ東方約千二三百米附近ノ谷地ニ

位置シレドシヨッパシアノ部隊十六大隊ヲ以テ Maly Bedek 山

Demirlepe, Demievic 山ヨリ其北方五百米ニ互ル間ニ位置シ砲十門

ハ Maly Bedek 山ニ陣地ヲ占領ス爾餘ノ十門ニ關シテハ不明ナリ

二、中央縱隊サリヒバシアノ指揮スル步兵十大隊砲六門ハ二十二日夜間第一線陣地ヲ撤去シ主

力ヲ標高五六〇ノ南方斜面ニ集結シ一部ヲ以テ同高地上ノ砲兵陣

地ヲ守備ス増加步兵ノ四大隊ハ後ニ至リテ加ハレリ

三、左翼部隊ラシツムバシアノ指揮スル步兵四大隊砲八門ハ Lysajagora ニ在リ同山上ニ放列ヲ布置

第十四章 八月中旬ヨリ同三十日ニ至ル作戦

西正面ノ戦

シ歩兵部隊ハ其後方ニ位置ス
 四、豫備隊歩兵十一大隊砲十ハ Sipka 村南側ニ出發準備ヲ爲ス
 之ヲ要スルニ露軍ノ歩兵約十一大隊砲二十九門ニ對シテ直接攻撃
 ニ任スヘキ土軍ノ兵力ハ歩兵三十五大隊砲三十四門ヲ算ス
 ラシ ムパシアハ早朝砲八門ヲシテ Lysajagoraノ陣地ヨリ中央砲臺ニ
 向ヒ射撃ヲ開始セシメ其掩護ノ下ニ歩兵二大隊ヲ第一線トシテ Ma-
 rko Kralevbajir 及其兩側ノ地區ヲ經テ Wolynskajagora ニ向ヒ攻撃セシメ
 一大隊ヲ豫備隊トシテ其後方ニ續行セシム別ニ歩兵一大隊ヲシテ北
 方地區ヨリ Uzunkus 山ニ向ヒ露軍陣地ノ背後ヲ攻撃セシム
 午前七時三十分土軍歩兵ハ Lesnoj Kurgan 山ヲ超エテ露軍陣地ニ肉薄
 セシモ露軍ノ頑強ナル抵抗ニ會シテ失敗シ更ニ豫備隊ヲ増加シ攻撃
 ヲ再行セシモ復々功ヲ奏セス北方ニ向ヒタル一大隊ハ Uzunkus 山ニ向
 ヒ攻撃セシモ亦其目的ヲ達セスシテ退却ス

南正面ノ戦

此ノ如クシテ正午頃露軍西方面ノ陣地ノ攻撃ニ任シタルラシ ムパ
 シアノ部隊ハ Lesnoj Kurgan 山附近及其北方地區ノ線ニ停止シ同所ニ
 於テスライマンパシアノ豫備隊ヨリ増遣セラレタル歩兵六大隊ヲ合
 ス是ヨリ先ラシ ムパシアハ午前十時頃スライマンパシアニ報告シテ増援ヲ乞ヒスライマ
 ンパシアハ Ziska 村附近豫備隊ノ位置ニ在リテ其報告ヲ受領シ直ニ歩兵六大隊ヲ Lysajagora
 ニ派遣然レトモ未タ攻撃ヲ再興スルノ時機ニ至ラス
 早朝土軍サリヒパシアノ部隊ハ標高五六〇高地上ニ砲六門ヲ布置シ
 露軍前方陣地ニ向ヒ砲撃ヲ開始ス幾モナクサリヒパシアハスライマ
 ンパシアヨリ歩兵四大隊ノ増加ヲ得主力約六大隊ヲ以テ Sv. Nikola 山ヲ一
 部約四大隊ヲ以テ鋼砲臺ニ向ヒ攻撃セシメ殘餘歩兵四大隊ヲ豫備隊トシ
 標高五四〇附近ニ位置セシム然ルニ其砲二門ハ優勢ナル露軍砲兵ノ
 爲ニ破壊セラレ他ノ四門ハ遂ニ沈黙スルノ止ヲ得サルニ至リ歩兵ノ
 攻撃モ亦露軍ノ猛烈ナル射撃ノ爲ニ進捗セス正午頃第一線ハ敵陣地
 前二三百米ノ地ニ停止ス

東正面ノ攻撃ニ任シタルシアキルパシアハ未明三個ノ部隊ニ分レテ
 開進シ天明ト共ニ *Maly Bedek* 山ニ陣地ヲ占領セル十門ノ砲兵先露軍
 陣地ニ向ヒ射撃ヲ開始シ同時ニ歩兵ノ前進ヲ起ス左翼部隊 歩兵六ハ
 圓砲臺東南方陣地ニ向ヒ右翼部隊 歩兵五次テ *Sipka* 山ニ向ヒ攻撃シ
 レドシ *ニョップ* パシアハ歩兵八大隊ヲ以テ *Demievic* 山ヨリ *Mi. Bedek* 山
 ノ間ニ留リ更ニ殘餘歩兵二大隊ヲ左翼部隊ニ増加ス兩攻撃部隊ハ敵
 前近距離ニ至ル迄森林内ヲ遮蔽シテ前進セシモ林端ヲ出ツルヤ露軍
 ノ猛烈ナル歩砲兵火ヲ受ケ次テ逆襲ニ會シテ森林内ニ退却ス爾後攻
 撃ヲ反覆セシモ *Dzhenkuz* 山附近ノ露軍砲兵ノ側射ヲ受ケ且此方面ニ
 ハ友軍砲兵ノ威力及ハサリシカ故ニ未タ攻撃ノ目的ヲ達スルニ至ラ
 ス

午後ニ於ケル土軍ノ情

ラシ ムパシアハ *Wolynskajagora* ノ露軍ヲ撃退シ午後六時頃同山ヲ占
 領セシモ其後露軍ノ逆襲ヲ受ケ *Lesnoj kurgan* 山ニ退却ス

午後八時頃ラシ ムパシアノ部隊ハ *Lesnoj kurgan* ニ集合シ同地ニ陣
 地ヲ構築シ其一部隊ハ *Lysajagora* ニ退却シ同處ニ第二陣地ヲ構築ス
 サリヒパシアノ中央部隊ハ午前ノ攻撃不成效後敵陣地前ニ止リ何等
 爲ス所ナシ日没ニ至リ其左翼ニ在リシ歩兵約六大隊ハ後方ニ退却シ
 テ *Sipka* 街道ノ附近ニ位置シ其他概シテ晝間ノ位置ニ於テ夜ヲ徹ス
 シアキルパシアノ右翼部隊ノ内ウ *セル* パシアノ部隊ハ晝間ノ攻
 撃成效セス日没ニ至リ *Jalovica* 川ノ河谷ニ退却シ同所ニ陣地ヲ構築シ
 レドシ *ニョップ* パシアハ十六大隊ノ歩兵ヲ有セシニ拘ラス單ニ八大隊
 ノミヲ以テ *Sipka* 山南方高地ヲ攻撃セシメ其他ハ *Demievic, Mi. edek*
 山ニ止マリテ友軍ノ戦闘ヲ傍觀セシカ薄暮ニ至リテ攻撃部隊ヲ後方
 ニ退却セシメ概ネ拂曉ノ位置ニ於テ夜ヲ徹ス
 之ヲ要スルニ二十三日土軍ハ左翼部隊ヲ *Lysajagora* ヨリ *Lesnoj Kurgan*
 山ニ進メタルノミニシテ他ニ何等ノ成效ヲ見ス然レトモ土軍ハ今ヤ

「シプカ」峠ノ露軍ヲ全ク包圍セシヲ以テ露軍ハ其抵抗ヲ持續シ能ハサル
モノトナシスライマンパシアハ露軍ノ增加部隊ヲ得タルコトニ就テ毫モ情報ヲ得ススライマンパシアハ二十四日
拂曉更ニ露軍ヲ攻撃スルニ決ス

「シプカ」守備隊ノ増援部隊タル第二梯隊步兵第十四師團第二旅團步兵第五十五聯隊ハ第二大隊及砲兵第十四旅團第二中隊
著後約七時間ノ休憩ヲ爲シ砲兵第十四旅團第二中隊步兵第五十五
聯隊第十二中隊ハ其輜重ト共ニ Gabrovo ニ殘留シ其他ハ午後五時同地出
發シイリクニ峠ニ向ヒ步兵部隊ハ深夜 Bryanski domik 及 Goragaiska ニ達シテ宿
營シ砲兵第十四旅團第三中隊ハ二十四日拂曉 Kadjskaja Sijena ニ到著ス
第十四旅團第二中隊ハ二十四日拂曉 Sijka 峠守備隊ノ
日 Galavo 出發同日夜 Sijka 著 即チ二十四日拂曉ニ於ケル露軍 Sijka 峠守備隊ノ
兵力左ノ如シ

八月二十四
日拂曉ニ於
ケル露軍ノ
陣地露軍ノ
兵力

歩 第九師團第二旅團步兵第三十五聯隊(第四中隊)及步兵第三十六聯隊
歩兵第十四師團第二旅團步兵第五十五聯隊(第二大隊)及第十二中隊並輕
疲勞者ノ一小部隊ヲ缺ク)及同第五十六聯隊
狙撃歩兵第四旅團哥薩克步兵二
中隊ヲ含ム

布爾牙利歩兵五大隊第一乃至
第五大隊

「ドン」哥薩克騎兵第二十三聯隊ノ二中隊
砲兵第九旅團第二及第五中隊内二門使用
ニ堪ヘス

同第十四旅團第三中隊
山砲兵第二中隊六門

鹵獲砲兵中隊七門ノ内一門ハ
使用ニ堪ヘス

「ドン」哥薩克騎砲兵第十中隊一小隊

合計歩兵二十大隊騎兵二中隊此外騎兵四中隊烏拉爾哥薩克騎兵中隊「ドン」哥薩克騎兵
第二十一聯隊ノ二中隊同第二十六聯隊ノ一中隊ハ Sijka
陣地ノ兩側陣地ニ在
リテ警戒ニ任シタリ砲三十九門内三門ハ使
用シ得ス戰鬥員計約一萬五千人

露軍ハ今ヤ増加部隊ヲ得タルヲ以テ中將ラデツキーハ明拂曉 Wolynskaja-
gora 方向ヨリ敵ヲ攻撃スルニ決シ一部ヲ Samar Cukar 山ニ進メテ土軍ノ背
後ヲ脅威セシム

是日歩兵第二師團ノ主力ハ Sevlijevo ニ前進シ同師團ノ内先行セシ歩兵第

第十四章 八月中旬ヨリ同三十日ニ至ル作戦

歩兵第二師
團ノ行動

七聯隊及砲兵一中隊ハ *Sevlijevo* ヲ越ヘテ前進中西部兵團所屬ノ少將スコ
 ベレフノ部隊既ニ *Lovca* 方面ニ對シ *Kakrina* 附近ニ到著セシヲ知り直ニ
Sevlijevo ニ復歸シテ主力ニ合シ又 *Kakrina* ノ陣地ニ在リシ步兵第五十四
 聯隊砲兵第九旅團第三中隊ハ少將スコベレフ部隊ノ到著後之ト交代シテ
Sevlijevo ニ至リ宿營シ同地ニ在リシ步兵第五十三聯隊ハ第二師團主力ノ
 來著後直ニ *Gabrovo* ニ前進ス是ニ於テ「セルエビ」支隊ノ任務ハ少將スコベ
 レフノ混成部隊步兵第六十四聯隊同第一百十八聯隊第一大隊高加士哥薩克騎兵旅團砲兵第十六旅團第二中隊工兵半小隊之ヲ擔任シ其後援
 トシテ要スレハ *Sevlijevo* ニ步兵第二師團ヲ有スルヲ得タリ

八月二十四日 *Sipka* 附近ノ戰團(第四日)附圖第四十七四十八參照

八月二十三日夜シブカ守備隊ハ一部ノ陣地變換ヲ行フ二十四日拂曉ニ於
 ケル守備隊ノ配置左ノ如シ

一、前方陣地

長大佐トルストイ

拂曉ニ於ケル露軍ノ配置(附圖第四十七參照)

步兵第三十六聯隊ノ六中隊第七中隊撤兵第三中隊第十中隊撤兵第一中隊第八中隊及第四中隊

步兵第三十五聯隊ノ二中隊第三中隊及撤兵第一中隊

布爾牙利步兵第四大隊

狙擊步兵第十五大隊

砲兵第九旅團第二中隊

鹵獲砲兵中隊七門内一門ハ破壊シテ使用スルヲ得ス

合計步兵十六中隊砲十五門實力十四門

右部隊ノ内步兵八中隊ハ第一線陣地ヲ占領シ步兵一中隊ハ右翼後ニ在リテ警戒ニ任シ其他七中隊ハ鋼砲臺ノ後方ニ位置シテ豫備隊ト爲ル(砲兵ハ各地區凡テ前日ニ同シ)

二、西方及北方築城群守備

長大佐リピンスキー

步兵第三十五聯隊十一中隊第一第二第五第七第八第九第十第十一第十二中隊撤兵第二第三中隊

步兵第三十六聯隊六中隊第一第二第三第九第十一第十二中隊

狙擊步兵第十六大隊

砲兵第九旅團第五中隊

〔ドン哥薩克騎砲兵第十中隊ノ二門

合計歩兵二十一中隊砲十門

右部隊ノ内狙擊歩兵第十六大隊及歩兵三十五聯隊第十一中隊ハ西方築城群ノ前方陣地タル *Wolynskaja Gora* 附近ヲ占領シ

内狙擊歩兵第三中隊及歩兵第三十五聯隊第十一中隊ヲ以テ同山ノ陣地ヲ守備シ狙擊歩兵大隊ノ主力ハ其後方ニ位置ス 歩兵第三十五聯隊第一第二中隊ハ中央砲

臺北方陣地ヲ占領シ同聯隊撤兵第三中隊第九第十第十二中隊及歩兵

第三十六聯隊第一第二第三第十二中隊ハ中央砲臺ノ西方陣地ヨリ

Pka 街道ノ西側ニ沿フテ南方ニ延長セル陣地ヲ占領シ歩兵第三十五

聯隊第八中隊ハ *Wolynskiedomiki* ノ東南 *Sipka* 街道東側ノ陣地ヲ占領

シ歩兵第三十六聯隊第九第十中隊ハ同地ノ北方中央砲臺ノ南麓ニ

位置シテ豫備隊トナル

三、東方築城群守備

長大佐 *ドブレラドウィッチ*

布爾牙利歩兵第一大隊第一第二中隊

同 第二大隊

同 第三大隊

同 第五大隊

歩兵第三十六聯隊第五第六中隊

合計歩兵十六中隊

四、後方連絡線守備

長少將 *ツウエチンスキ* 狙擊歩兵第四旅團長

狙擊歩兵第十三大隊

同 第十四大隊

布爾牙利步兵第一大隊第三第四中隊

步兵第三十五聯隊第六中隊

步兵第三十六聯隊撤兵第二中隊

砲兵第十四旅團第三中隊ノ四門

山砲兵第二中隊ノ四門

合計歩兵十二中隊砲八門

右ノ部隊ノ内狙撃歩兵第十四大隊第一第二中隊布爾牙利歩兵第一大隊第三第四中隊歩兵第三十六聯隊撤兵第二中隊ハ *Rajskajadolina* 附近ヨリ *Uzunkus* 山附近ニ至ル *Sipka* 街道ノ線ヲ西南面シテ陣地ヲ占領シ歩兵第三十五聯隊第六中隊ハ *Uzunkus* 山ノ東側ヲ東面シテ占領シ狙撃歩兵第十三大隊第十四大隊第三第四中隊ハ *Uzunkus* 山ノ北方大街道ノ北側ニ位置シテ豫備隊トナル

五、豫備隊

歩兵第五十六聯隊

歩兵第五十五聯隊第一第三大隊第十二中隊缺

砲兵第十四旅團第三中隊ノ四門

[ドン]哥薩克騎兵第二十三聯隊ノ二中隊

合計歩兵五大隊騎兵二中隊砲四門

右ノ内歩兵第五十六聯隊「ドン」哥薩克騎兵第二十三聯隊ノ二中隊ハ *Bryanski domik* ニ位置シ砲兵第三中隊ノ四門ハ其南方五百米ノ高地端ニ陣地ヲ占領シ又歩兵第五十五聯隊(第二大隊及第十二中隊缺)ハ *Gaciska* ニ位置ス 「シブカ」守備隊ニ屬セシ爾餘ノ騎兵部隊位置ニ關シテ明確ナル記事ナシ

二十四日拂曉前後方連絡線守備隊長少將ツウエチンスキーハ土軍ノ著大ナル兵力 *Sipka* 山ノ東方谷地ニ集合セリトノ報告ヲ受領シ狙撃歩兵第十三大隊第一第二中隊ヲ同山ノ北麓ニ派遣ス此部隊ハ *Gorny Uholm* 山ヲ登ラントセシ時不意ニ東側森林内ヨリ前進セシ土軍ニ會遇シ射撃スルノ違ナ

東正面ノ情況

ク直ニ銃劍ヲ揮フテ遂ニ之ヲ擊退シ後大街道ノ東部斜面ヲ守備ス此衝突ニ於テ露軍ハ二名ノ中隊長ノ外將校一下士卒七十名ヲ失フ暫クシテ少將ツウエチンスキーハ *Uzunkus* 山東南方地區ノ敵兵優勢ナルヲ知り直ニ第十三大隊ノ爾餘ノ二中隊ヲ同地ニ増援シ同大隊ハ拂曉後 *Sipka* 山ノ北麓ニ其全力ヲ合ス

午前四時三十分頃土軍ハ東西南ノ三方面ヨリ露軍全陣地ニ攻撃ヲ開始ス午前九時頃土軍歩兵約二大隊ハ其後方ニ密集部隊ヲ續行セシメ再ヒ *Uzunkus* 山東北地方地區ニ向ヒ攻撃シ *Gorny Cholm* 山附近ニアル狙撃歩兵第十三大隊ハ猛火ヲ注キテ之ヲ拒止ス次テ中將ラデツキーノ命令ニ依リテ *Uzunkus* 山ノ北麓ニ向ヒ前進シ來レル歩兵第五十六聯隊第一大隊 内一中隊ハ遠ク東方ニ出テタリ ハ正午過敵ノ右翼ニ迫リテ狙撃歩兵第十三大隊ノ戰鬪ヲ援助ス 此後土軍再ヒ第一線部隊ヲ増援シ狙撃歩兵第十三大隊ニ向ヒ攻撃シ來リシ

南正面ノ情

カ同大隊ハ小銃火ニ次クニ銃劍突撃ヲ以テ之ヲ迎へ遂ニ之ヲ擊退ス爾後東方面ノ土軍攻勢ニ出テス單ニ近ク同大隊ニ對峙シ時々射撃ヲ爲スノミナリキ

拂曉 *Maly Bedek* 山上ノ土軍砲兵ハ中央砲臺竝ニ *Sipka* 山ノ砲臺ニ向ヒ射撃ヲ開始ス前方陣地内小砲臺及鋼砲臺内ノ砲兵第九旅團第二中隊ノ四門ハ直ニ射撃ヲ開始シ之ニ應戰ス

午前八時頃小砲臺ノ砲兵門ハ土軍砲兵二門前方陣地南方標高五六〇ニ放列ヲ布置セントスルヲ見テ直ニ之ヲ射撃シ遂ニ之ヲ退去セシム然ルニ幾モナク南方面ノ土軍歩兵ハ小砲臺ノ東南方森林端ニ現ハレ同砲臺ニ向ヒ強烈ナル小銃火ヲ開キ *Maly Bedek* 山上ノ土軍砲兵亦之ニ協力シ爲ニ小砲臺ハ沈黙スルノ已ムナキニ至レリ

午前十一時頃土軍歩兵約二大隊小砲臺鋼砲臺ノ線ニ向ヒ突撃シ來リシモ效ヲ奏セス土軍歩兵ハ附近斷崖下ノ死角内ニ避匿ス

正午新銳ナル土軍歩兵約三大隊ハ標高五六〇北方陣地ヨリ *Orinoje gnjezdo* 山ノ突角ニ向ヒ同時ニ土軍歩兵約四大隊ハ鋼砲臺ノ正面ニ向ヒ攻撃シ歩兵約三大隊ハ其左翼後ニ跟隨ス是ニ於テ南正面ノ露軍歩砲兵ハ猛火ヲ注キテ銳意其前進ヲ拒止セントセシモ土軍歩兵ハ勇猛ニ突進シ斷崖下死角内ニ至リ暫時休憩ノ後遂ニ *Orinoje gnjezdo* 山ノ突角ヲ包圍シ幾モナク其一大隊ハ斷崖ヲ攀登シ爾餘二大隊モ亦之ニ續行ス是ニ於テ同所ヲ守備セシ歩兵第三十六聯隊第七中隊撤兵第三中隊ノ一部ハ直ニ銃劍ヲ揮テ之ヲ格闘ス此時大砲臺ノ後方ニ位置セシ同第八中隊ハ急ニ友軍ヲ赴援シ茲ニ殘虐ナル接戰ヲ演出ス

守備隊長大佐トルストイハ此情況ヲ見テ先歩兵第三十六聯隊第四中隊及狙撃歩兵第四中隊ヲ増遣ス然レトモ土軍優勢ニシテ未タ戰況ヲ挽回スル能ハス露軍頗ル苦戰ニ陥リシモ歩兵第三十五聯隊撤兵第一中隊第二ノ増援トシテ來リ會シ辛ウシテ土軍ヲ舊陣地ニ撃退ス

西方面ノ情

露軍攻勢移
轉ノ部署

Perezejek 附近ノ陣地ニ在リシ歩兵第三十六聯隊第九第十中隊ハ此間午後前後後ナラシメテ前方陣地守備兵ニ増加シ大砲臺ノ西北方ニ展開シ陣地ノ右翼ヲ掩護ス

鋼砲臺方面ニ向テ前進セシ土軍約四大隊ハ露軍ノ砲火ヲ受ケテ直ニ森林ニ退却シ後敢テ前進セス

拂曉 *Lesnoj Kurgan* 山上ノ土軍ハ *Wolynskajagora* ノ露軍ニ向ヒ射撃ヲ開キ正午頃迄ニ再三再四攻撃ヲ反覆セシモ露軍ハ常ニ之ヲ撃退ス此間露軍ハ狙撃歩兵第十四大隊長ヲ始トシ中隊長三名並數多ノ兵卒ヲ損傷セリ

午前七時中將ラデツキーハ歩兵第十四師團長少將ドラゴミロフヨリ森林内ヲ通過シ *Bamar Cukar* 山ヲ經テ前進スルトキハ *Iysajagora* 附近ニ在ル土軍ノ左翼陣地ヲ有利ニ攻撃スルヲ得ヘシトノ報告ヲ受領シ *Marko Kralevbajir* ノ土軍ヲ北方及東方ヨリ合撃スルニ決シ左ノ如ク攻撃部署ヲ定ム此命令ヲ後下午前十時前ナラン

一歩兵第五十六聯隊第二大隊ハ森林内ヲ通過シ SamarOukar 山ヨリ Lysajagora ノ土軍ヲ攻撃スヘシ

二大佐リピンスキーハ Wolynskajagora ノ守備隊 長中佐ホドヤコウ狙撃歩兵第十六大隊及歩兵第三十五聯隊第十

豫備隊ヨリ歩兵第五十六聯隊第二大隊ヲ増加ス同大隊ハ直ニ Wolynskajagora ニ到ルヘシ

LesnojKurgan ノ攻撃ハ歩兵第五十六聯隊第三大隊ノ Lysajagora 前ニ到着スルトキ開始スルヲ要ス

三歩兵第三十五聯隊第二大隊及第十二中隊缺ハ Sred. Bekleme 山ニ到リ歩兵第五十六聯隊第一大隊ト合シテ後命ヲ待ツヘシ 此部隊ハ後 Damsk 山ノ北側ニ招致セラレ

正午前ニ同地ニ到着シ而シテ歩兵第五十六聯隊第一大隊ハ後東正面ノ戦闘ニ参加セシコト既記本卷一―二頁参照ノ如シ
歩兵第五十六聯隊第二大隊長中佐コビリアンスキーハ命令受領後正午頃直ニ出發シ午後二時頃 Wolynskajagora ニ到ル同中佐ハ最古參者ナリシヲ以テ

同所ニアリシ狙撃歩兵第十六大隊歩兵第三十五聯隊第十一中隊ヲモ併セ指揮シ直ニ狙撃歩兵第十六大隊歩兵第五十六聯隊撤兵第二中隊同第五中隊ノ半部ヲ第一線トシ爾餘ヲ豫備隊トシ攻撃ノ準備ヲ完了ス

迂回部隊タル歩兵第五十六聯隊第三大隊 長中佐レンネンフエルト ハ午前七時三十分 フル janski domik ノ宿營地ヲ出發シ嶮難ナル山地ノ通過ニ多大ノ時間ヲ費シ午

後二時其先頭部隊ノミ漸ク Lysajagora 北方高地ニ達ス同中佐ハ先敵陣地ヲ偵察シ此間ヲ利用シテ困難ナル行進ト酷暑ノ爲ニ困憊セル兵卒ヲ休憩セシム中佐ハ偵察ノ結果土軍ノ築城陣地ハ急峻ナル高地上ニ在リテ直ニ之ヲ攻撃スルノ困難ナルヲ知り攻撃ヲ翌日ニ延期スルニ決シ直ニ其旨ヲ中將ラデツキーニ報告ス

午後二時三十分ニ至リ Lysajagora ノ土軍ハ歩兵第五十六聯隊第三大隊ノ前進ヲ知り同大隊ニ向テ攻撃シ來リシモ同大隊ハ陣地ヲ固守シテ土軍ヲ舊位置ニ撃退ス

是ヨリ先^{ウオリンヌカヤ}Wolynskajagoraニ在ル中佐コビリアンスキーハ爾後攻撃ヲ敢行スルモ敵ノ堅固ナル陣地前五百歩ノ地ニ於テ山背ヲ降下セサルヘカラサルカ故ニ奏功覺束ナキモノト認メ前進ヲ起サス午後四時ニ至リ大佐リピンスキーヨリ速ニ敵ヲ攻撃スヘキ命令ヲ受ケ已ムヲ得ス攻撃運動ヲ起セシモ土軍ノ猛烈ナル瞰制火ノ爲忽チ莫大ナル損傷ヲ蒙リ前後二回ニ互ル攻撃モ其效ナク僅カニ散兵線ヲ少シク前方ニ進メ得タルニ過キス而カモ此時迄ニ既ニ四名ノ中隊長ヲ失ヒタリ

中將ラデツキーハ此時^{ウオリンヌカヤ}Wolynskajagoraノ戰場ニ在リテ戰況ヲ目撃シ兵力過少ナルヲ認メ増援トシテ狙撃歩兵第四旅團ノ内使用シ得ヘキ部隊ヲ差遣セシム當時狙撃歩兵旅團中第十五大隊ハ前方陣地ニ第十三大隊ハ^{ディナカ}Dipka山北麓ニ第十四大隊ノ第一第二中隊ハ其西北方陣地ヲ守備セシカ故ニ他ニ使用シ得ヘキモノハ同大隊ノ第三第四中隊ノミ因テ旅團長少將ツウエチンスキーハ直ニ同兩中隊ヲシテ中佐コビリアンスキー部隊ヲ増援セシ

ム兩中隊ハ午後五時稍前所命ノ地ニ達シ第四中隊ハ戰線ノ左翼ニ延伸増加シ同第三中隊ハ豫備隊ニ加入ス

午後五時中佐コビリアンスキーハ歩兵第五十六聯隊撤兵第二中隊狙撃歩兵第十四大隊ノ二中隊同第十六大隊ヲ第一線トシ歩兵第五十六聯隊第五第六中隊ヲ右翼ニ歩兵第五十六聯隊第七第八中隊ヲ左翼後ニ置キ歩兵第三十五聯隊第十一中隊ヲ豫備隊トシテ中央後ニ位置セシメ再ヒ攻撃前進ヲ起ス

第一線ハ命ヲ受ケ直ニ斜面ヲ下リテ前進セシモ敵陣地直前ノ鹿柴ニ阻止セラレテ前進挫折ス

中佐コビリアンスキーハ大佐リピンスキーニ援助ヲ乞ヒ歩兵第三十五聯隊第一第二中隊歩兵第三十六聯隊第一中隊ノ増援ヲ得更ニ攻撃ヲ開始シ鹿柴ヲ越ヘテ敵ヲ驅逐セシモ爾後土軍ノ集中火ノ爲ニ莫大ナル損傷ヲ受ケテ^{ウオリンヌカヤ}Wolynskajagoraノ西部斜面狹隘部ニ退却シ同地ニ止リテ日没ニ至ル迄

射撃ヲ持續シ土軍ト相對ス中將ラデッキーハ是時ニ至ルモ歩兵第五十六聯隊第三大隊ヨリ何等ノ情報ヲ得ス乃チ攻撃ヲ反覆スルモ奏功覺東ナキヲ認メ大佐リピンスキーニ現狀ヲ維持シテ陣地ヲ守備スヘキヲ命セリ是ニ於テ大佐リピンスキーハ歩兵第五十六聯隊ノ撤兵第二中隊狙撃歩兵第十四大隊ノ二中隊ヲ陣地ニ留メ爾餘ノ諸隊ハ夜暗ニ乘シ整肅ニ退却シテ其後方ニ集合ス但シ狙撃歩兵第十六大隊ハ損害頗ル大ナリシヲ以テ後

Uzunkus 山西北側ノ地ニ復歸セシム

以上ノ如クシテ二十四日露軍ハ東及南方面ニ於テ土軍ノ攻撃ヲ拒止シ西方面ニ於テ攻勢ヲ取リシモ土軍ヲ Lesnoj Kurgan 山ヨリ撃退スルコト能ハス終日持續セル小銃火及砲火ハ日没ト共ニ衰ヘ午後十時頃全ク沈黙セリ此日ノ戦闘ニ於テ歩兵第三十五聯隊ハ將校三下士卒八十五同第三十六聯隊ハ下士卒二百三十四狙撃歩兵第十四大隊第三第四中隊ハ下士卒約百十四ヲ失ヒ第十六大隊ハ約三百三十ノ現員ヲ有スルノミ歩兵第五十六聯隊

歩兵第五十三聯隊砲兵第十四旅團第二中隊ノ Spika 來著 (附圖第四十八參照)

第二大隊ハ將校ノ損傷特ニ多ク爲ニ同大隊ハ同聯隊第一大隊ノ將校五人ヲ補充セラルルニ至レリ

是夜露軍ハ占領セル陣地ヲ益々堅固ニシ又若干軍隊ノ移動ヲ行フ即 *Сопы* Ijevo[#] ヨリ來援セル歩兵第五十三聯隊第三第四中隊缺 此兩中隊ハ幅重ノ掩護ニ任シ Gabrovo 附近ニ殘置セシメラル 竝ニ *Итovo*[#] ヨリ來援セル砲兵第十四旅團第二中隊ハ *Spika* ノ陣地ニ到著シ歩兵第五十三聯隊(第三第四中隊缺)ハ *Gora-Rasejska* 附近ニ露營シ大砲臺ノ砲兵第九旅團第二中隊ノ半部ハ同第十四旅團第三中隊ノ半部ト交代シ鋼砲臺鹵獲砲四門ハ砲兵第十四旅團第二中隊ノ半部ト交代シ圓砲臺ノ [ドン] 哥薩克騎砲兵第十中隊ノ二門ハ砲兵第十四旅團第三中隊ノ二門ト交代シ *Uzunkus* 山ノ山砲兵第二中隊^六ハ砲兵第十四旅團第三中隊ノ二門ト交代シ *Kadjskajastjena* 山ノ砲兵第十四旅團第三中隊ノ半部ト交代シ *Uzunkus* 山ノ砲兵第十四旅團第三中隊ノ二門ト交代シ又東方築城群ヲ守備セシ布爾牙利步兵第一大隊第三第四中隊缺及第二第三及第五大隊ハ疲勞セル爲歩兵第五十五聯隊撤兵第一中

隊第三大隊第十二中隊缺ト交代シ同歩兵第一大隊第三第四中隊ト共ニ
Gabrovo^{ガブロ}ニ退却ス砲兵第十四旅團第二第三中隊ト交代セシ爾後ノ砲兵ノ所在ニ關スル記録ナシ而シテ是日 Devljevo^{セヴリェ}ヲ出
發セル歩兵第五十四聯隊砲兵第十四旅團第四中隊ハ午後九時 Gabrovo^{ガブロ}ニ
到着セリ

中將ラデツキーハ明二十五日攻撃ヲ再興シ Marko Kraljevajir^{マルコ}山上ヨリ土軍
ヲ驅逐セントス

中將ラデツキーハスライマンパシアハ歩兵百大隊砲百門ヲ有シ其意圖必
ス Gabrovo^{ガブロ}ニ突進セントスルニアリトノ風説ニ重キヲ置キ Sipka^{シプカ}峠ノ守
備兵ヲ増援シ又 Gabrovo^{ガブロ}ノ警備ヲ充分ナラシメント欲シ同二十四日夕獨
斷ヲ以テ中將スワヤトポルクミルスキーニ時ヲ移サス Devljevo^{セヴリェ}ヨリ歩兵
第二師團ノ一聯隊ヲ Gabrovo^{ガブロ}ニ差遣スヘキヲ命シ且歩兵第五十四聯隊及
砲兵第十四旅團第四中隊ヲシテ Sipka^{シプカ}峠ニ向ヒ前進ヲ繼續セシム
同二十五日午前三時中將ラデツキーハ軍參謀長ヨリ「狙撃歩兵第三旅團
四砲

門^ハハ翌二十五日 Grn. Studena^{グリン}ヲ出發シ Nikip^{ニキプ}ニ前進セシム貴官ハ情況ニ
有スヲ依リ同旅團ヲ Trnovo, Cajir^{トラン}若クハ Blavan^{ブラヴァン}ヲ經テ Devljevo^{セヴリェ}ニ差遣スルコトヲ
得「トノ通報ヲ受領セリ

附記 二十四日朝ニ於ケル土軍ノ配置概ネ左ノ如シ

一、東方面

ウエツセルパシアノ部隊歩兵五大隊 騎兵若干ハ主力ヲ以テ Dvinkus^{ドヴィンク}山ノ東方
Jalovica^{ヤロヴィツァ}河畔ニ在リ其一部ハ Sipka^{シプカ}山ノ東北方森縁附近ヲ占領ス
レドシユツパシアノ部隊歩兵十六大 砲兵二十門ハ Maly Bedek, Demirtepe, Demio-
VIC^{デミオ}ノ諸高地ヲ占領ス

二、南方面

サリヒパシアノ部隊歩兵十四大 砲六門ハ主力ヲ以テ Sv. Nikola^{スヴニコラ}山ノ南方標高
五六〇高地ノ附近ヲ一部四大ヲ以テ其東北方標高四八五附近村縁
ヲ占領ス

八月二十四
日スライマ
ンパシア軍
ノ配備(附
圖第四十七
参照)

三、西方面

ラシツムパシアノ部隊歩兵十大隊騎兵若干砲八門 Lesnoj Kurgan, Markokraljevbjir 及 Lysajagora ニ工事ヲ施シ夜ヲ徹ス

四、豫備隊

歩兵五大隊騎兵若干及砲十二門ハ Sipka 村ニ騎兵ノ一部ハ警戒ノ爲 Sipka 村ノ西方地區ニ在リ
土軍ウエツセルパシア部隊ハ早朝來 Sipka 山及其北方地區ニ向ヒ再三攻撃ヲ反覆セシモ失敗シ東方面ニアル爾餘ノ土軍ハ Demievic, Demir-tepe, Ml. Bedeck 諸山ニ在リ單ニ峙ニ向ヒ射撃ヲ爲シ其一小部隊ハ森林内ヲ隱蔽シテ前方陣地ノ左翼及布爾牙利歩兵第三第五大隊ノ正面ニ前進シ之下射撃ヲ交換シタルニ過キサリキ
サリヒパシア部隊ハ小砲臺鋼砲臺 Orinoje gnjezdo 山ニ對シテ猛烈ニ攻撃セシモ遂ニ目的ヲ達セス

ラシツムパシアハ拂曉 Wolynskajagora ヲ攻略セントセシモ果サス後却テ露軍ノ攻撃ヲ受ク然レトモ陣地ヲ固守シテ Lesnoj Kurgan 高地ニ留レリ此間敵ノ一部ハ Samar Cukar 山ニ現出セシカラシツムパシアハ此露軍ノ微弱ナルヲ知り一部ヲ以テ之ヲ攻撃セシメシモ之ヲ驅逐スルコト能ハス

以上ノ如クニシテ是日土軍ハ各方面ニ對シテ再三攻撃ヲ反覆セシモ悉ク不成效ニ終リ日没頃概ネ拂曉前ノ位置ニ復シ夜ヲ徹ス

スライマンパシアハ是ヨリ先各方面ノ戦況毫モ發展セサルヲ知リシノミナラスラシツムパシアノ報告ニ依リ露軍新鋭ナル部隊ハ軍ノ最左翼前 Samar Cukar 山ニ現出シタルコトヲ知り大ニ危惧ノ念ヲ起シ直ニ南正面ノサリヒパシアニ命シ其四大隊ヲラシツムパシアニ増援セシメ又ウエツセルパシアノ部隊ヲ東方面ヨリ軍ノ最左翼 Lysajagora ニ來ラシムサリヒパシアヨリ派遣セラレタル四大隊ハ日没頃 Lysajagora ニ

到著シ戰鬪ニ參加セスシテ夜ニ入りウエッセルパシアハ夕刻上記命令ニ接シ同夜月明ナリシニモ拘ラス翌二十五日朝ニ至リテ出發セリ
スライマンパシアハ同日夜露軍増援部隊ノ兵力ニ關シ誇大ノ報告ヲ受ケ大ニ恐怖ノ念ヲ起シ Sipka 峠ヲ略取セントスル當初ノ決心ヲ放棄シ爾後現在ノ陣地特ニ Lysajagona ヲ堅固ニ守備シテ露軍 Tundza 河ノ平地ニ進出スルヲ妨害スルニ決ス

八月二十五日 Sipka 附近ノ戰鬪第五日附圖第四十九第五十參照

二十五日 Sipka 峠ニ在ル中將ラデッキーノ部隊左ノ如シ

步兵第九師團第二旅團步兵第三十五聯隊第四中隊缺步兵第十四師團ノ

步兵三聯隊步兵第五十三聯隊第三第四中隊缺步兵第五十五聯隊第二大隊第十二中隊缺步兵第五十六聯隊

狙擊步兵第四旅團哥薩克步兵二中隊ヲ含ム

布爾牙利步兵第四大隊

砲兵約六中隊砲兵第九旅團第二第五中隊砲兵第十四旅團第二第三中隊山砲兵第二中隊六門鹵獲砲兵中隊七門下ノ哥薩克騎砲兵第十中隊ノ二門

八月二十五日 Sipka 峠上ノ露軍ノ兵力

計步兵十九大隊(四中隊缺)ト二中隊砲兵六中隊人員約一萬四千人小銃一萬二千四百九十一砲四十七門

尙騎兵六中隊ハ Sipka 陣地ノ兩側山路ニ在リテ警戒ニ任セシモ配置明カナラス

二十五日拂曉露軍 Sipka 峠守備隊ノ配置附圖第四十九其一ノ如シ

午前六時三十分頃迂回部隊タル步兵第五十六聯隊第三大隊ハ Lysajagona ノ北方約九百米ノ標高五八五ノ高地ニ在リ此時土軍歩兵ハ密林内ヲ隱蔽シテ前進シ其正面及右翼ニ近迫ス露軍第一線ノ守備ニ任シタル撤兵第三中隊之ヲ認メテ直ニ射撃ヲ開始シ大隊長中佐レンネンフェルドハ直ニ第九第十中隊ヲ撤兵第三中隊ニ増加ス土軍ハ二回ノ一齊射撃ヲ行ヒ次テ陣地ニ向ヒ突撃セシモ露軍守備兵猛火ヲ注キテ之ヲ卻ケ爾後土軍ハ數回突撃ヲ反覆セシモ悉ク之ヲ撃退セリ

午前七時頃中將ラデッキーハ西方歩兵第五十六聯隊第三大隊方面ニ砲聲

ヲ聞キ直ニ大佐リピンスキーニ *Lysajagora* ヲ攻撃スヘキヲ命シ同時ニ中佐
コベリアンスキーニ步兵第五十五聯隊第一大隊撤兵第一中隊缺ヲ増援シ
又步兵第五十三聯隊 第一中隊ハ *Kadyskaja Stena* 山ニ在ル砲兵第十四旅團第二中隊ノ四門ノ
隊第二大隊第三大隊ヲ 掩護ニ任シ第四中隊ハ *Galrovo* ニ駐留シ實力ハ第一中隊撤兵第一中
隊計十二中隊トス *Uzunkus* 山ノ北麓ニ招致ス

午前九時頃中將ラデツキーハ中佐レンネンフェルトヨリ戦闘ニ關スル報
告ヲ受領シ同大隊苦戦ノ狀況ヲ知り步兵第五十三聯隊ノ第一中隊及撤兵
第一中隊ヲ *Samar Cukar* ニ派遣ス故ニ午前九時以後豫備隊ノ兵力ハ步兵第
五十三聯隊第二第三大隊ノ二大隊ノミトナレリ

此頃步兵第五十五聯隊第一大隊撤兵第一中隊缺ハ *Wolynskajagora* ニ達シ中
佐コベリアンスキーノ隷下ニ入り同中佐ハ今ヤ步兵第五十六聯隊第二大
隊同第五十五聯隊第一大隊撤兵第一中隊缺狙撃步兵第十四大隊(第一第二
中隊缺)合計步兵十一中隊 約千七
百名 ヲ指揮スルニ至レリ
是ニ於テ大佐リピンスキー 中佐コベリアンスキーハ此方面ノ諸隊ヲ直接指揮セシモ
同中佐ハ大佐リピンスキーノ隷下ニ在リシモノナラン ハ

Lesnoj Kur-
gan 山背
上ノ戦闘

步兵第三十五聯隊第十一中隊ヲ陣地ニ留メ狙撃步兵大隊ノ一中隊ヲ中央
ニ步兵第五十六聯隊第二大隊ヲ右翼ニ同第五十五聯隊第一大隊撤兵第一
中隊缺ヲ左翼ニ展開シ *Lesnoj Kurgan* 山ノ土軍陣地ニ向ヒ前進セシメ狙撃
大隊ノ一中隊ヲ豫備隊トシテ中央後ニ位置セシム此區署ト共ニ大佐リピ
ンスキーハ圓砲臺及中央砲臺ニ土軍陣地ノ砲撃ヲ命シ *Sy. Nikolai* 山ノ砲
兵ニモ其協力ヲ求ム

午前九時三十分圓砲臺中央砲臺 *Sy. Nikolai* 山ノ諸砲臺ハ砲撃ヲ開始シ攻
撃ニ任シタル歩兵部隊ハ前記ノ部署ニ從ヒ前進ス土軍ハ中央部ニ在リシ
狙撃歩兵ノ一中隊ニ向ヒ小銃火ヲ集中シ同中隊ノ損害頗ル大ニシテ豫備
隊トシテ其後方ニ在リシ他ノ一中隊ハ忽チ戦線ヲ補充セサルヘカラサル
ニ至ル午前十時三十分第一線ハ山背ヲ下リ敵陣地ノ東斜面ヲ攀登ス此前
進中狙撃歩兵兩中隊ハ急峻ナル坂路ノ下降ヲ避ケテ少シク左方ニ偏シタ
ル爲戦線ニ空隙ヲ生シタルヲ以テ大佐リピンスキーハ本陣地ヨリ歩兵第

三十五聯隊第三大隊第十一中隊缺ヲ招致シ撤兵第三中隊及第十二中隊ヲ以テ中央戰鬪線ノ缺陷ヲ充填シ第九第十中隊ヲ豫備隊トシテ戰線ノ後方ニ跟隨セシム第十一中隊ハ總隊豫備隊トシテ依然舊陣地ニ留マレリ

大佐リピンスキーハ步兵第三十五聯隊第三大隊第十一中隊缺ヲ招致スルト同時ニ其舊陣地ニ *Perejpek* ヨリ步兵第三十六聯隊ノ一部ヲ移サント欲セシモ同地ノ守備ニ任シタル大佐ドミトロウスキー之ヲ諾セス爲ニ中將ラデツキーニ請ヒテ步兵第五十三聯隊第二大隊ノ増加ヲ得タリ同大隊ハ成

レズノイクルガシ
Lesnoj kurganヲ占領シ之ヲ固守スヘントノ命令ヲ受ケタリ

午前十一時頃 *Lesnoj Kurgan* 山ノ土軍陣地前ニ達セル露軍歩兵ハ隊伍ヲ備

ヘ一齊ニ攻撃前進ヲ起ス土軍之ヲ認メテ陣地ノ兩翼ニ散兵線ヲ延伸シ急射撃ヲ以テ露軍ヲ猛射ス露軍第一線ハ勇ヲ鼓シテ前進ヲ繼續シ大佐リピンスキーハ敵陣地前約五百歩ノ地點ニ達シ中央部ノ第一線ニ突撃ノ信號ヲ與フ於是中央部隊先敵陣地ニ突入シ左右兩翼ノ部隊之ニ繼テ突撃ス左

翼ニ突入シタル歩兵第五十五聯隊第一大隊ハ鹿柴ヲ越ヘ敵陣地内ニ於テ土軍ト格闘シテ終ニ陣地ヲ奪取シ中央及左翼ニ於テモ突撃效ヲ奏シ遂ニ土軍ヲ其陣地ヨリ *Lysajagora* ニ驅逐ス然ルニ土軍ハ露軍前進部隊ノ僅少ナルヲ見テ陣地ヲ回復セント欲シ陣地ニ在ル友軍歩兵ノ射撃ニ援助セラレツツ銃劍ヲ揮テ逆襲ス露軍之ヲ支フルヲ得ス將ニ退却セントスルニ際シ步兵第五十三聯隊第二大隊ノ先頭中隊來著シ戰況ヲ挽回シテ *Lesnoj Kurgan* ノ高地ヲ維持スルヲ得タリ露軍第一線ハ此成效ニ依リテ志氣大ニ昂リ其大部ハ勝ニ乘シテ敵ヲ追撃シ尙集成ノ一部隊ハ續テ *Lysajagora* ノ土軍ニ向ヒ攻撃ヲ續行ス時正ニ午後三時ナリ以下附圖第四十九其二參照 適ニ步兵第五十三聯隊第二大隊ノ四中隊モ亦到着セシヲ以テ大佐リピンスキーハ戰鬪部隊ニ三中隊ヲ増加シ第七中隊ヲ豫備隊トシ *Lesnoj Kurgan* 山ニ殘シ爾餘ノ諸隊ヲ以テ猛烈ニ攻撃ヲ續行セシム然レトモ爾後第一線諸隊ノ前進ハ敵ノ猛射ノ爲メ遅々トシテ進捗セス遂ニ *Lysajagora* ノ敵陣地ノ直前同山東斜面ニ停止ス

中佐レンネンフェルトハ Samar Cukar 山ヨリ此情況ヲ目撃シ歩兵第五十六聯隊第十二中隊及撤兵第三中隊ニ前進ヲ命シ以テ友軍攻撃部隊ノ右側ヲ掩護セシメ尙爾餘ノ三中隊ヲ以テ敵ノ背後ヲ脅威セントス
是ニ於テ大佐リピンスキーノ部隊ハ中佐レンネンフェルトノ二中隊ト協力シテ前進シ中佐レンネルフェルトノ爾餘三中隊戰鬪線ニ到達スルヲ待チテ勇ヲ鼓シテ全線敵陣地ニ突撃シ格闘ノ後土軍ノ陣地及鹿柴ハ漸次露軍ノ有ニ歸ス露軍ハ續テ Lysajgora ノ第二陣地ニ據レル土軍陣地ニ向ヒ前進セシカ此時新ナル土軍ノ部隊南方ヨリ來リ露軍ノ左側ニ展開シテ縱射ヲ加ヘタルヲ以テ大佐リピンスキーハ已ヲ得ス戰鬪部隊ニ退却ヲ命ス午後四時頃第一線部隊ハ退却ヲ開始シ歩兵第五十六聯隊第十二中隊及撤兵第三中隊ハ大佐リピンスキーノ部隊ト共ニ東方ニ退却シ同大隊ノ殘餘ハ北方ニ退却ス新銳ナル土軍數大隊ハ東方ニ向ヒ大佐リピンスキーノ部隊ヲ急追シ露軍ハ射撃ト逆襲トヲ以テ敵ヲ支持シツ辛フシテ Lesnoj Kurgan

山ニ退却ス

中將ラデツキーハ此情況ヲ知り命令受領ノ爲ニ中將ノ許ニ來著セル大佐トルストイヲシテ退却セル諸隊ヲ Lesnoj Kurgan 山ニ集合セシム午後五時頃露軍ハ辛フシテ Lesnoj Kurgan 山上ニ停止ス中將ラデツキーハ歩兵第五十三聯隊第二大隊ヲシテ同地ヲ守備セシメ爾餘ノ部隊ヲ Wolynskajagora ニ退却セシメタルモ後土軍更ニ攻撃シ來リタルヲ以テ午後六時歩兵第三十五聯隊第一第二中隊ヲ歩兵第五十三聯隊第二大隊ニ増加シ Wolynskajagora ニ退却セシ歩兵第三十五聯隊第三大隊ヲ中央砲臺ノ西側陣地ニ又狙撃歩兵第十四大隊第三第四中隊歩兵第五十六聯隊第二大隊第十二中隊撤兵第三中隊及歩兵第五十五聯隊第一大隊(撤兵第一中隊缺)ヲ隊伍整頓後 Uzunkus 山ノ北麓豫備隊ノ位置ニ歸還セシム
午後七時後 Lesnoj Kurgan 山ヲ守備セル歩兵第五十三聯隊第二大隊同第三十五聯隊第一第二中隊ハ刻々増加スル土軍ノ攻撃ヲ受ケ戰鬪ハ午後八時

尙熾ニシテ深更迄繼續セリ

是ヨリ先中佐レンネンフォルトハ步兵第五十六聯隊第九第十及第十一中隊ヲ率キテ北方舊陣地ニ退却シ午後五時頃中佐ゼンデツキーノ指揮スル步兵第五十三聯隊撤兵第一中隊及第一中隊モ亦同地ニ到著ス中佐レンネンフォルトハ日没ノ頃死者ヲ埋葬シ負傷者ヲ收容シテ退却ヲ起シ午後十時頃 *Uzunkus* 山ニ到著シ 同聯隊第十二中隊撤兵第三中隊ヲ合ス 中佐ゼンデツキーハ中佐レンネンフォルトニ後ルルコト二時間ノ後退却ヲ起シ二十六日午前五時 *Brijan-skidomik* ニ到著ス

午後九時步兵第五十四聯隊及砲兵第十四旅團第四中隊 一十五日午後三時 *Chapovo* ヲ出發ス *Sipka* 峠ニ來著シ砲兵中隊ハ *Brijanskidomik* ニ駐止シ步兵第五十四聯隊第三大隊缺ハ一中隊ヲ步兵第五十三聯隊第二中隊ト交代シテ 步兵第五十三聯隊第二中隊ハ交代シタル後 *Brijanskidomik* カチイカヤスチエナニ赴ケルカ如シ *Kadyskajastjema* 山ノ砲兵中隊ノ掩護ニ任セシメ殘餘ヲ以テ *Uzunkus* 山附近ニ到リ 同聯隊第三大隊ハ前進中 *Kalenodrovo* ニ至ル大街道ノ屈折部 *Uzunkus* ニ殘留シ後布爾牙利步兵大隊ト交代シテ主力ニ合セリ

步兵第五十四聯隊及砲兵第十四旅團第四中隊ノ *Sipka* 來著

山附近ニ在リシ步兵第五十三聯隊第三大隊ハ西方及北方築城群地區豫備隊ニ入ル

午後十時頃中將ラデツキーハ步兵第五十三聯隊第三大隊中央砲臺附近ニ到著セシヲ以テ之ヲ *Lesnoj Kurgan* 山ニ前進セシメ同所ノ部隊ト交代セシム午後十一時步兵第五十三聯隊第三大隊長大佐アドレルベルクハ大隊ヲ率キテ同地ニ著ス此時恰モ同地ノ守備兵 步兵第五十三聯隊第二大隊同第三十五聯隊ノ二中隊 竝ニ隊伍整頓中ノ狙撃步兵第十四大隊第三第四中隊步兵第五十六聯隊第二大隊同第五十五聯隊第一大隊撤兵第一中隊缺ハ約三十歩ニ近接セル土軍ト激戰中ニシテ戰鬪中ノ部隊ノ交代ノ如キハ到底不可能ナリシヲ以テ大佐アドレルベルグハ高級古參者トシテ此等諸隊ヲ併セ指揮シ步兵第五十三聯隊第三大隊ノ一部ヲ第一線ニ増加シ陣地ヲ固守セシム然レトモ土軍ハ刻一刻ニ戰線ヲ増加シテ露軍ヲ包圍シ殊ニ其一部ハ露軍ノ背後ニ出テ露軍ノ苦戰殆ト絶頂ニ達ス然レトモ土軍モ亦損傷ト疲勞トニ依リ掉尾ノ一撃ヲ加フ

ルヲ得サルモノノ如ク露軍ハ僅ニ其陣地ヲ保守スルヲ得タリ
Lesnoj Kurgan 山上ニ於ケル露土兩軍ノ激戰間露軍ハ他ノ地點ニ於テ守備
隊ノ移動ヲ行フ即チ左ノ如シ

附近 Sipka 街道ノ西側陣地ヲ占領セシ歩兵第三十六聯
隊ノ四中隊ノ内第九第十一第十二中隊ハ前方陣地ニ至リテ同地守備兵
ヲ増加シ前方陣地ニ在リシ同聯隊第四中隊ハ Wolynskiedomiki ニ到リ同
聯隊第一第二第三中隊及撤兵第二中隊ト共ニ中央砲臺ノ南方 Sipka 大
街道以西ノ陣地ヲ占領ス

同日歩兵第二師團ノ歩兵第八聯隊 同師團ノ砲兵一中隊之
命令ニ依リ Sevlijevo ヨリ Gabrovo ニ到著シ又狙撃歩兵第三旅團 砲四門
Orn. Studena ヨリ Nikjup ニ前進ス

同日夜中將ラデツキーハ軍司令官ヨリ左ノ電報命令ニ接ス
情況之ヲ要スレハ貴官ハ第二師團ノ一旅團 中將ラデツキーハ此命令ヲ受領セサ
ルニ先タチ第二師團ノ一部ヲ前進セ

既記ノ如シ 及第十一師團ノ一旅團ヲ Sipka 陣地ニ招致シ又狙撃歩兵第三
旅團 Nikopoli ニテ奪取セテ Trnovo ニ前進セシムルヲ得

第十一軍團長シフコウスコエニハ Sipka ノ戰鬪尙繼續セハ時機ヲ失セ
ス前記諸隊ノ移動ヲ實施スヘキ旨ヲ命令シタリ

是ヨリ先中將ラデツキーハ中將シフコウスコエヨリ少將サロフノ指揮ス
ル部隊 歩兵第四十一聯隊第一大隊同第四十二聯隊砲兵
第十一旅團第四中隊砲兵第三十二旅團第六中隊 ハ二十三日 Trnovo ニ前進シ
Pka 及 Elena 方面ノ豫備ニ充ツヘシトノ通報ヲ受ケタルカ如シ

附記 二十五日東方面竝ニ南方面ニ於テハ土軍ノ情況變化ナシ西方面
ニ於テハ拂曉來 Lesnoj Kurgan 山ノ土軍ハ露軍ノ包圍攻撃ヲ受ケ陣地
ヲ固守スル能ハス Lysajagora ノ陣地ニ退却ス是ヨリ先 Lysajagora ニアル
土軍ノ一部隊ハ再ニ Samar Cukar 山上ノ露軍陣地ヲ攻撃セシモ其目的
ヲ達セス午後ニ至リ露軍ハ北方及東方ヨリ陣地ヲ攻撃シ土軍一時危
殆ニ迫リシモ適ウエッセルパシア部隊ノ増加ヲ得テ戰況ヲ恢復シ露軍

ヲ擊退シテ之ヲ追撃ス其後サリヒパシアヨリ歩兵二大隊竝ニスライ
 マンパシアノ豫備隊ヨリ増援部隊相前後シテ到著シシキルパシア
 ハラシツムパシアニ代リ爾後此方面ニ在ル歩兵二十六大隊砲十門ヲ
 指揮シテ攻撃ニ任シ夜暗ニ拘ラス銳意攻撃ヲ續行セシモ遂ニ目的ヲ
 達セス

八月二十六日 クシツカ 附近ノ戰鬪第六日 附圖第五十一
第五十二參照

中將ラデツキーハ二十五日ノ戰鬪ニ於テ其企圖シタル攻勢移轉遂ニ不成
 效ニ終リシヲ以テ同夜増加部隊 本卷一三
四頁參照 ヲ得タルモ最早攻勢ヲ繼續セン
 トスルノ意ナク唯現狀ヲ維持スルヲ以テ満足スルニ至リシモノノ如シ二
 十六日早朝ニ於ル クシツカ 峠ノ配備附圖第五十一ノ如シ
 南方面及東北方面ニ於テハ朝來兩軍互ニ沈黙ヲ守リテ何等活動ヲ見ス之
 ニ反シテ西方面ニ於テハ昨二十五日夜來歩兵第三十五聯隊第一第二中隊
 同第五十三聯隊第二大隊及第三大隊ノ一部ハ レスノイ
クルガン Lesnoj Kurgan 山ニ在リ其後

西方面ノ情
 況

方ニハ歩兵第五十三聯隊第三大隊 カ 狙撃歩兵第十四大隊第三第四中隊歩
 兵第五十五聯隊第一大隊撤兵第一中隊缺同第五十六聯隊第二大隊アリテ
 近ク土軍ト相對峙ス而シテ土軍ハ二十六日拂曉猛烈ニ露軍陣地ヲ射撃シ
 尋テ陣地内ニ突入ス露軍之ト拮鬪シ遂ニ土軍ヲ擊退ス然レトモ土軍優勢
 ニシテ加フルニ大佐アドレルベルグノ指揮セシ諸隊ハ將校下士卒ノ多數
 ヲ失ヒ彈藥缺乏シ殊ニ ヴォルニ
スカヤゴラ Wolynskajagora ノ部隊ハ前日敗戦ノ影響ヲ受ケテ士
 氣振ハス露軍ノ危機尙去ラサルヲ以テ同大佐ハ中將ラデツキーニ其窮境
 ヲ訴フ 二十五日ノ戰鬪ニ於テ中將ラデツキーハ少將デロチンスキー少將ストリエトフ等ヲ介ス
 ルコトナク諸隊ニ命令シ今又大佐アドレルベルグ直接ニ中將ラデツキーニ報告セシテ以
 テ見レハ當時^{クシツカ}陣地ニアル軍隊指揮權ハ中將ラデツキーハ當時豫備隊トシテ
 ラデツキーノ直接擔任スル所タリシモノノ如シ 中將ラデツキーハ當時豫備隊トシテ
 新來ノ歩兵第五十四聯隊第三大隊及一中隊缺ヲ有セシモ同部隊ハ既ニ二
 日間溫食及飲料水ヲ缺キ大ニ疲勞セルヲ以テ之ヲ大佐アドレルベルグニ
 増加セシムルヲ欲セス乃チ中將ラデツキーハ大佐アドレルベルグニ レスノイ
クルガン Lesnoj
 Kurgan 山ヲ棄テ ヴォルニ
スカヤゴラ Wolynskajagora ヲ守備スヘキ筆記命令ヲ與ヘ第一線部隊ハ

午前八時三十分頃陣地ヲ撤シ大ナル損害ヲ受クルコトナク Wolynskajagora
ニ退却シ同所ノ部隊ト合ス土軍之ニ追躡シ火戰再ヒ起ル
午前十一時中將ラデツキーハ Wolynskajagora ヲ守備セル部隊中歩兵第五十
三聯隊第二大隊ヲ除キ他ノ部隊ヲ退却セシム 理由不明 然ルニ同山上ノ諸隊 歩兵
第三十五聯隊第一第二中隊狙撃歩兵第十四大隊第三第四中隊歩兵第五十三
聯隊第三大隊同第五十六聯隊第二大隊同第五十五聯隊第一大隊一中隊退却ヲ起スヤ歩兵
第五十三聯隊第二大隊モ亦之ト共ニ退却シ 命令ノ誤達カ或ハ他部隊ノ退却ニ誘ハレタルカ不明ナリ 同地ニ
ハ將校ヲ有セサル諸聯隊ノ兵合計二百乃至二百五十人ノ駐留セルアルノ
ミ而モ此時ニ乘シテ土軍敢テ攻勢ニ轉セサリシカ故ニ何等ノ變化ヲ見ル
コトナク午後一時迄經過セシハ露軍ノ幸福ナリ
中將ラデツキーハ歩兵第五十三聯隊第二大隊モ亦 Wolynskajagora ヲ撤去シ
同地ニ有力ナル部隊ノ存在セサルヲ知り直ニ Wolynskiedomiki 附近ニ在ル
歩兵第三十六聯隊第一大隊長ウオリノラゼウイッチニ命シ同大隊ヲ以テ
Wolynskajagora ヲ守備セシメ歩兵第三十六聯隊第一大隊撤兵第一中隊缺及

八月二十六日
日 Wladimir 峠
附近ニ於ケル
露軍配置
ノ概要

撤兵第二中隊ヲシテ Wolynskiedomiki ヲ守備セシム土軍之ニ對シ射擊ヲ開
始セシモ大ナル變化ナクシテ日没トナリ尋テ戰鬪自然ニ熄ム
同二十六日爾餘ノ方面ニ於テハ終日靜穩ニシテ變化ナシ此日中將ラデツ
キーハ Zevljevovo ニ在ル歩兵第二師團ヨリ歩兵第七聯隊砲兵一中隊ヲ Gab-
rovo ニ招致ス 同隊ハ午後六時 Zevljevovo 出發二十七日早朝 Gabrovo ニ著シ歩兵第八聯隊ニ合ス
同日狙撃歩兵第三旅團ハ Nikijup ヨリ Trnovo ニ少將サロフノ指揮スル第十
一師團ノ部隊 砲兵四大隊砲兵二中隊 Prisovo 附近ヨリ Drenovo ニ前進ス
以上ノ如クシテ二十日以後 Sipka 守備隊ノ兵力ハ漸次ニ増加シ二十六日
ニ於テハ歩兵約二十一大隊半砲五十五門ヲ算シ Zelenodivovo, Gabrovo 附近ニ
歩兵十一大隊 内布爾牙利歩兵五大隊ヲ含ム此外編成中ノ布爾牙利歩兵三大隊在リ 砲十六門 露國參謀本部戰史ノ記スル所ニ依レハ砲數ニ疑アリ而シテ前述スル所ニヨレハ砲八門トアルヘキ筈ナルモ爾後ノ經過ニ依レハ十六門ヲ正トスルカ如シ或ハ歩兵第八聯隊ノ前進ニ際シ砲八門ヲ同行セシニアラスヤ アリ尙其後援ト
シテ Zevljevovo ニハ第二師團ノ約半部 Drenovo ニハ少將サロフノ指揮スル
歩兵四大隊砲十六門アリ

八月二十六日中將ラデツキの情
況判斷

同日中將ラデツキハ六日間ノ戰鬪ニ於テ各聯隊步兵第五十四聯隊ヲ除クハ皆大ナル損傷ヲ受ケ又土軍ハシツカ峠附近ヲ包圍セル諸高地ヲ占領シ小銃火及砲火ヲ以テ絶エス陣地内ヲ掃射シ彈藥及給養品ノ追送ハ夜間ト雖モ尙危險ヲ免レサルノミナラス二十四日二十五日二十六日ノ三日間陣地ノ右翼ニ於テ企圖シタル攻撃ハ悉ク失敗セルヲ以テシツカノ露軍ハ縱令増援隊來著スルモ其戰況ヲ發展スルコト能ハサルヘク即露軍ハ少クトモ一軍團ヲスライマンバシア軍ノ背後ニ迂回セシムルニアラスンハ危機ヲ脱スルコト能ハストナシ軍司令官ニ意見ヲ具申シ且明二十七日諸隊ヲシテ嚴正ナル守勢ヲ維持セシメ同時ニ之ヲ軍司令官ニ報告ス本卷一六、一七頁參照

二十六日中將ラデツキハ將來ノ作戰ヲ顧慮シ有力ナル部隊ヲ以テシツカノ占領セント欲シ之ヲ中將シシツカコウスコエニ命令シ同中將ハ之ヲ少將サロフニ命令セリ本卷第一五、一六頁參照

二十一日ニ生起シタルシツカ峠附近ノ戰鬪ハ二十六日ヲ以テ一段落ヲ告

戰鬪ノ結果

ク之ヲ要スルニ始メノ三日間ハ土軍ハ峠ヲ包圍セル諸陣地ヲ獲取シテ有利ノ情況ニ在リ後ノ三日間ハ露軍ハ逐次増加隊ヲ得テ攻勢ヲ取リシモ遂ニ勝敗ヲ決スルニ至ラスシテ兩軍共ニ守勢ヲ取リ各其陣地ヲ保持シテ相對峙スルニ至ル

六日間ノ戰鬪ニ於テ露軍ノ參加兵力ハ各方面ヨリ漸次ニ來援シ其總計步兵二十五大隊半騎兵六中隊砲五十五門ナリ附錄第一參照此間ノ損傷附錄第二參照ハ死者將官一佐尉官十五下士卒八百五十八負傷者將官一佐尉官百下士卒二千七百三十失踪將校十二下士卒百二十五合計約三千八百四十二人ニシテ全損傷ハ約百分ノ十三、三六ニ相當シ步兵ハ將校百二十三下士卒三千六百三十二砲兵ハ將校四下士卒八十一ヲ失ヒ步兵ハ將校ノ約百分ノ二十九下士卒ノ約百分ノ十八、三七砲兵ハ將校ノ約百分ノ二十八、六一下士卒ノ約百分ノ十一ニ相當シ最大損傷ヲ蒙レル部隊ハ狙擊步兵第十四大隊第三第四中隊ノ將校百分八十下士卒百分ノ五十狙擊步兵第十六大隊二十三、二十四ノ

二日間ノ戰鬪ニ於ケル將校百分ノ四十七下士卒百分ノ三十九五等トス
射耗ニ關シテ
ハ記錄ナシテ

八月二十六
日スライマ
ンパシアノ
情況判斷

附記

スライマンパシアハ六日間ノ戰鬪ニ於テ現員ノ大半ヲ失ヒ彈藥
缺乏シ露軍ノ兵力モ頗ル増大シタルヲ以テ攻撃ヲ續行スルモ奏效ナ
カラシコトヲ認メ乃チ皇帝及陸軍大臣ニ *Sipka* 峠ヨリ露軍ヲ驅逐ス
ルニハ新銳ニシテ戰備完結セル約一萬五千乃至二萬人ノ増援ヲ得ル
ヲ要スヘキコト及メヘメットアリーパシア及オスマンパシアノ兩軍
ヲシテ威嚇ノ目的ヲ以テ露軍ノ退却線特ニ *Seviljevo* 及 *Gubrovo* ニ向ヒ
突進セシムルヲ必要トスル旨ヲ意見具申シ之ト同時ニスライマンパ
シア軍ハ爾後主力ヲ *Sipka* 村ニ集合シ一部ヲ以テ *Sipka* 峠周圍ノ諸
山ヲ堅固ニ守備シテ *Sipka* 峠ノ露軍ヲ封鎖セント欲ス乃チスライマ
ンパシアハ攻撃ヲ斷念セシニアラサリシモ二十七日以後 *Sipka* 山上
ノ土軍ハ全ク守勢動作ヲ取ルニ至レリ *Sipka* 附近ノ戰鬪ニ於ケル土

軍ノ損害ハ將校死六十一負傷百七十二合計二百三十二下士卒死千五
百四十一負傷四千八百七十合計六千四百一十一ヲ算ス此損傷ハ殆ト全
ク歩兵ニ關スルモノニシテ砲兵ハ僅少ナリ

其三 六日間ノ戰鬪後 *Sipka* 方面ハ

月三十日迄ノ情況

八月二十七日中將ラデツキーハ軍司令部ヨリ過早ニ翼ニ對シテ攻勢ヲ取
ルヘカラストノ命令ヲ受領本卷一七頁參照ス當時土軍ノ射擊衰ヘシモ中將ラデツ
キーハ露軍ノ陣地ヲ攻撃スルヲ不利トシ迂回動作ノ有利ナルコトニ就テ
再ヒ軍司令官ニ意見ヲ具申ス之ニ對シテ同日午前三時十五分發軍命令電報
ヲ受領シ爾後ノ作戰ヲ協定スル爲メ軍參謀長ハ *Sipka* 峠ニ向ヒ前進シ二
十八日又ハ二十九日ニ峠ニ來著スヘキヲ知り又二十八日軍通報竝ニ軍命
令ニ依リテ左ノ諸件ヲ知ル

一歩兵第三師團ノ半部ハ *Grn. Studena* ヨリ *Seviljevo* ニ派遣セラレ八月三

十日頃同地ニ到着ス

一中將ラデツキーハ *Sevlijevo* ヨリ歩兵第二師團ノ殘餘一旅團ヲ *Gabrovo* ニ招致スヘシ但軍參謀長ノ來著スル迄之ヲ戰鬪ニ使用スヘカラス
歩兵第十一師團ノ歩兵四大隊砲十六門ハ *Drenovo* ニ在リ *Trevna* ヲ確實ニ守備スルコトハ必要ナリ中將ラデツキーハ此目的ノ爲同隊ヲ使用スルヲ得

依テ中將ラデツキーハ *Sipka* 峠上ノ諸隊ヲシテ現ニ占領セル陣地ヲ守備セシメ又歩兵第二師團第二旅團(一大隊缺砲兵第九旅團第一中隊ヲ *Sevlijevo* ヨリ *Gabrovo* 附近ニ招致ス 是ヨリ先二十六日中將ラデツキーハ中將シアコウスコエ守備ニ關シテハ更ニ處置セサリシモノナラン(本卷一五七頁參照) 是ヨリ先二十六日中將ラデツキーハ中將シアコウスコエ

步兵第二師團第二旅團(一大隊缺砲兵第九旅團第一中隊ハ二十八二十九ノ兩日ニ *Sevlijevo* ヲ出發シ三十日朝迄ニ *Gabrovo* ノ南方 *Zelenodrovo* ニ通スル道路ノ交叉點附近ニ集合シ同處ニ在リシ同師團第一旅團砲十六門ニ合

ス此間 *Sipka* ヨリ *Gabrovo* ニ退却セシ布爾牙利歩兵第一第二第三第五大隊ハ *Zelenodrovo* ニ到リ同地ニ在リシ同歩兵第十大隊ニ合シ *Gabrovo* ニ於テ編成中ノ同歩兵第七第八第九大隊ハ編成完結セス其後ノ行動不明ナリ
二十九日軍參謀長 *Sipka* 峠附近陣地ヲ巡檢シ三十日ノ會議ニ於テ南方面ニ於テ守勢ヲ取り先 *Trevna* ヲ攻略スルニ決ス 本卷二六頁參照 於是中將ラデツキーハ爾後 *Sipka* 峠上ノ諸隊竝ニ歩兵第十一師團ノ四大隊砲十六門ヲ指揮シ *Sipka* 附近ノ高地竝ニ之ニ近接セル諸峠殊ニ *Trevna* 峠ノ防禦ニ任ス 三十日ニ於ケル同中將部隊ノ配置ハ附圖第五十三ヲ參照スヘシ

附記 スライマンパシアハ一時諸隊ヲシテ守勢ヲ探ラシメシモ尙 *Gabrovo* ヲ奪取セントスルノ意アリ先二十八日 *Sipka-Gabrovo* 道以西ノ地區ヨリ *Zelenodrovo* 及 *Gabrovo* 兩方面ヲ偵察セシメ其結果 *Zelenodrovo* 附近ノ守備薄弱ナルコトヲ知り同地點ヲ占領セント欲シ同時ニ君土坦丁堡ノ當局者ニ對シテ速ニ *Sevlijevo* 及 *Gabrovo* ニ對スル作戰ヲ開始

スヘキ命令ヲオスマンパシアニ下サレンコトヲ請願シ自ラモ亦直接
オスマンパシアニ其旨ヲ電報ス

スライマンパシアハ二十九日迄ニ陸軍大臣ヨリ左ノ要旨ノ電報ニ接ス

一、補充ノ爲可及的迅速ニ人員約四千竝ニ必要ノ彈藥ヲ *Djika* ニ差遣ス

1) *Cirpan, Novazagora* 及 *Karabunar* 等ニ在ル十大隊 此大隊ハ始メ是等ノ地點ヲ
守備スル爲派遣セラレタル

モノ ナリ ヲ スライマンパシアノ請求セル目的ニ使用スヘシ

二、スライマンパシアノ請求セル二旅團 十六ハ *Karabunar* ニ差遣スヘ

キモ此部隊ハ同地附近ニ陣地ヲ占メ萬一ノ場合ニ於ケル退却掩
護ニ供スヘシ

スライマンパシアハ右ノ訓令ニ接シオスマンパシアヲシテ先 *Gadro-*

ko 道ヲ占領シテ以テ露軍ノ新增加隊ノ來援ヲ遮斷シ次ニ十五乃至二

十大隊ノ増援部隊ノ來著ヲ待チ *Djika* 峠ニ在ル露軍ヲ全ク包圍スル

ヲ得策ナリトシ三十日意見ヲ陸軍大臣ニ報告ス

君士坦丁堡及オスマンパシアノ兩方面ニ於テハ共ニオスマンパシア
軍ノ守勢動作ヲ可ト認メスライマンパシアノ意見ニ同意セサリシモ
スライマンパシアハ未タ其消息ニ接セス電報ヲ以テ直接オスマンパ
シアニ協同動作ヲ請求シ九月二日ヲ期シテ *Zelenodrivno* ヲ攻撃スルニ
決ス

八月三十日スライマンパシアノ指揮シタル總兵力ハ歩兵七十一大隊

騎兵三十中隊砲七十二門ニシテ其配置附圖第五十三ノ如シ 兵力ニ若干
増加アリシ

ハ此間ニ増加兵到着
セシニ依ルナラン

其四 八月十三日ヨリ「オスマンバザール」部隊ノ

行動 附圖第三十七卷第五十
四一覽圖第一第二三參照

八月十三日「オスマンバザール」部隊 長歩兵第十一師團長少將エルンロート歩兵第十一師
團歩兵第四十二聯隊同第四十二聯隊第三大隊及砲兵
第十一旅團第二第四第五中隊缺騎兵第十三師團龍騎兵第十三聯隊下シ 哥薩克騎兵第十三聯隊ノ二
中隊騎砲兵第二十中隊ノ二門下シ 哥薩克騎砲兵第六中隊ノ二門缺但シ 下シ 哥薩克騎砲兵第六中隊
ノ二門ハ八月十五六ハ第二卷附圖第三十七ノ如ク *Zlatarica, Gorsko-Novoselo, Kesalevo*

ノ線ニ在リ騎兵ノ一部ハルスチ ャック兵團ノ右翼ト連絡スル爲 Jjubeller 附近ニアリ

少將ボレエシアノ指揮スル「エレナ」支隊ハ *Mora* 及其附近ニ在リ又「ルスチ ャック」兵團ノ右翼ハ *Ajalar* 附近ニアリ

第十一軍團長中將シ、コウスコエハ軍總豫備隊ノ所在地タル *Gm. Studena*

軍總豫備隊
ノ位置ニ在
リシ第十一
軍團ノ部隊
オスマン部
隊ニ復歸ス

ニ在リ八月十四日部下歩兵第三十二師團歩兵第一旅團槍騎兵第十一聯隊 騎兵第十一師團騎兵第十一聯隊及「ドン」哥薩克騎兵第十一聯隊ハ「アッレル」支隊ノ許ニ在リ又龍騎 兵第十一聯隊ハ少將スコベレフニ屬シ *Novo* 方向ノ偵察ヲ了シ既ニ原隊ニ復歸スヘキ管ナルモ未 隊ハ高加士哥薩克騎兵旅團ニ轉屬ス 砲兵第三十二旅團第二第五中隊缺及騎砲兵第 十八中隊ヲ率キテ *Inovo* 東北方地區ニ到リ中將ラデツキーノ指揮ヲ受ク

ヘキ命令ニ接シ十五日 *Gm. Studena* ヲ出發シ *Ivanca, Kurset* ヲ經テ十八日

八月十八日
オスマン部
隊ノ位置

Gorski Gm. Trenbes, Dragonovo ノ東方附近ニ到達ス爾後此部隊ヲ 第十一軍團長シ、
コウスコエハ *Inovo* ニ於テ南部兵團司令官中將ラデツキーニ會シ舊オス
マンバザール部隊ヲ併セ指揮シ「エレナ」支隊「ルスチ ャック」兵團間ノ守備ニ

任ス即チ「オスマンバザール」部隊ハ爾後左記部隊ヨリ成リ主力ヲ以テ *Dzi-
njunoi, Gm. Trenbes* ニ駐屯シ第一線部隊ヲ以テ *Gorsko Novoselo, Kacelevo, Dira-
zica, Jjubeller* ノ線ヲ守備ス(八月十八日ノ位置ハ附圖第五十四ノ如シ)

歩兵第十一師團 歩兵第四十一聯隊同第四十二聯隊第三大隊砲兵第十一旅團
第二第四第五中隊缺此部隊ハ南部兵團ノ豫備隊ト爲レリ

歩兵第三十二師團第一旅團

騎兵第十三師團 「ドン」哥薩克騎兵第十三聯隊第五中隊龍騎兵第十三聯隊騎砲兵第二十
中隊ノ二門缺「エレナ」支隊ニ屬セシ「ドン」哥薩克騎兵第十三聯隊ノ一中
隊ハ是ヨリ先原隊
ニ復歸セシカ如シ

槍騎兵第十一聯隊

砲兵第三十二旅團(第二第五中隊)

騎砲兵第十八中隊

計歩兵十四大隊騎兵十七中隊砲七十門

龍騎兵第十一聯隊ハ二十四日「オス
マンバザール」部隊ノ許ニ到着セリ

「オスマンバザール」部隊長中將シ、コウスコエハ諸情報ヲ綜合シ *Kesarevo,*

南部兵團豫
備隊ニアリ
シ第十一軍
團ノ部隊ス
隊ノ復歸ス

エレナ 前面ノ土軍敢テ活動セサルヲ認知セシモメヘメットアリーパシア
及スライマンパシアノ連合部隊 Osmanbazar 及 Kotel 地方ヨリ Irnovo 附近
ニ向ヒ前進スルヲ知ル
中將シッコウスコエハオスマンバザール部隊ノ兩翼ニ隣接セル友軍ヨリ
著シク後退セルヲ不利トシ中將ラデッキーニ協議シテ Irnovo ニ在リシ南
部兵團豫備隊タル歩兵第四十一聯隊同第四十二聯隊第三大隊砲兵第十一
旅團第二第四第五中隊ヲ自己ノ隷下ニ復歸セシメ之ヲ Kozarevec, Zlatarica
ニ進メ又 Kesalevo, Dzuljunci 附近ノ部隊ヲ Dzumalikoj 進メ北隊ヲ Ivanca
ニ進マシメントシ二十日之ニ關スル命令ヲ下ス然ルニ其後歩兵第四十一
聯隊同第四十二聯隊第三大隊砲兵第十一旅團第二第四第五中隊ノ Kozare-
vec, Strazica ニ到着シタル後中將ラデッキーヨリ多大ノ敵兵 Elena 向ヒ前
進シタルノ形跡アリ予自ラ二十日朝在 Irnovo 總豫備隊全部ヲ率ヒテ Elena
及 Zlatarica ニ向ヒ前進セントス依テ先ニ企圖セル「オスマンバザール」部隊

「エレナ」支
隊「オスマ
ンバザール」
ノ部隊長
ルノ隷下ニ
入

ノ Dzumalikoj 向テスル前進ヲ中止スヘシトノ命令ニ接シ乃チ前記ノ命
令ヲ改メ北隊ノミヲ Ivanca 附近ニ進メ其他ヲ Zlatarica, Gorsko Novoselo, Kesa-
levo ノ線ニ位置セシメ豫備隊ヲ Dzuljunci, Kozarevec 附近ニ在ラシム北隊ハ
前記ノ命令ニ依リテ主力ヲ Ivanca ニ一部ヲ Strazica ニ進メ騎兵一中隊ハ
Cair 止マリテ同隊輜重ノ掩護ニ任ス 當時龍騎兵第十一聯
隊尙原隊ニ復歸セス
二十一日中將シッコウスコエハ中將ラデッキーヨリ「土軍ハ Elena ニ對シ
陽攻ヲ試ミタルニ過キス實際ノ危険ハ Sipka 方面ニ在リ故ニ予ハ總豫備
隊ヲ率キテ Sipka ニ向ハントス貴官ハ Osmanbazar 及 Elena 方面ヲ監守シ
重要事項ハ全部直接ニ Grn. Studena ナル軍司令官 下ニ通報セラルヘシト
ノ訓令ニ接ス
是ニ於テ中將シッコウスコエハ爾後「エレナ」支隊ヲ併セ指揮シ Elena, Kesa-
levo, Jjubeller 互ル正面約四十吉米ノ守備ニ任ス
中將シッコウスコエハ八月二十二日午後ルスチユック兵團參謀長中將ワ

ンノウスキーヨリ二十二日午前九時土軍ハ *Ajazlar* ニ前進シタルコト竝ニ
 優勢ナル土軍ハ *Eski Dzumaja* ヨリ *Popovo* ニ向ヒ前進セルノ通報ヲ受ケ同
 時ニ *Tjubeller* ヲ經テ *Popovo* ニ向ヒ援助隊派遣ノ請求ヲ受ケ依テ同中將ハ
 直ニ北隊長中將タチシユチエフニ命シテ一部ヲ以テ第十三軍團ヲ援助セ
 シメ又 *Osmanbazar* 街道上ノ守備隊長少將エルンロートニ命シテ *Strajca* 方
 面ノ監視ヲ嚴ニシ且敵兵北隊ニ向ヒ前進シ來ル場合ニ急速ニ之ヲ應援ス
 ルノ諸準備ヲ爲サシム

中將タチシユチエフハ二十三日午前五時三十分前記増援命令ヲ受領シ又
 同日午前十時直接第十三軍團長ヨリ步兵及騎兵ノ全部ヲ *Tjubeller*, *Kana Ac*
Baldzi-Omur ヲ經テ *Popovo* ニ發進セシメラレタシトノ要求ニ接セシモ當時
 北隊ノ前面ニハ彼我斥候ノ衝突絶ヘサリシヲ以テ中將タチシユチエフハ
 敵襲アランコトヲ慮リ單ニ步兵第百二十五聯隊第三中隊同第百二十六聯
 隊第三中隊砲兵第三十二旅團第四中隊ノ六門ヲ *Popovo* ニ差遣シ同隊ハ同

北隊ノ一部
 援助ノ爲ニ
 第十三軍團
 方面ニ向フ

日夕 *Popovo* ニ到着セリ

中將シ、コウスコエハ土軍 *Osmanbazar* 街道及 *Elena* 方面ニ於テ攻勢意圖
 ヲ有セサルヲ知り二十二日 *Trnovo* ニ到リ翌二十三日獨斷ヲ以テ少將サロ
 フ 步兵第十一師ノ指揮スル支隊 步兵第四十二聯隊 步兵第四十一聯隊 第一大隊砲兵 ヲ編
 成シ午前五時 *Kozarevec* 附近出發 *Prisovo* ニ向ハシメ要スレハ *Sipka* 方面ニ
 使用セントシ其要旨ヲ軍司令官竝ニ中將ラデツキーニモ報告セリ

少將サロフ
 ノ部隊
 進ム

少將サロフノ部隊ハ此命令ニ依リ二十三日正午 *Prisovo* ニ到着ス同二十三
 日中將シ、コウスコエハ中將タチシユチエフヨリ「ルスチユツク」兵團援助
 ノ爲步兵二中隊砲六門ヲ *Popovo* ニ派遣ストノ報告ニ接シ次「ルスチユツ
 ク」兵團參謀長ヨリ再ヒ援助ノ請求ヲ受ケ殊ニ槍騎兵第十一聯隊ノ派遣ヲ
 要求セラル然ルニ當時北隊ニハ騎兵ノ現員僅少ニシテ此請求ニ應シ得サ
 リシヲ以テ單ニ中將タチシユチエフニ命シテ步兵一大隊砲二門ヲ第十三
 軍團ニ派遣セシメ同時ニ第十三軍團長ニ其旨ヲ通報ス

中將シアコウスコエハ二十五日左ノ要旨ノ軍命令ヲ受領ス

一、Sipka 峠上ノ戰鬪ニ於テ中將ラデッキー部隊ノ疲勞ヲ顧慮シ昨二十

四日中將ラデッキーニ情況之ヲ要スレハ Sevlijevo ニ在ル歩兵第二師

團ノ内一旅團竝ニ Prisoivo ニ在ル第十一軍團ノ一旅團少將サロフノ部隊ヲ云フヲ

Prka ニ招致シ竝ニ Grn. Studena ヨリ Nijkup ニ前進スヘキ狙撃歩兵第三

旅團砲四門ヲ有スヲ Trnovo ニ前進セシムルヲ許セリ

二、前記計畫ノ實施ヲ貴官ニ命令ス

依テ中將シアコウスコエハ少將サロフノ部隊ヲ Prisoivo ヨリ Drenovo ニ狙

撃歩兵第三旅團砲四門ヲ有スヲ Trnovo ニ急行セシメ尙歩兵第二師團長少將イメ

レチンスキーニ歩兵一旅團砲兵二中隊ヲ率キテ Gabrovo ニ急行セシム此

部署ニ依リテ少將サロフノ部隊ハ二十五日 Drenovo ニ著シ狙撃歩兵第三

旅團砲四門ヲ有スハ二十五日 Nijkup ニ二十六日 Trnovo ニ著セリ歩兵第二師團長ハ前記命令ヲ受領セサル

時既ニ中將ラデッキーノ命令ニ接シ同師團ノ歩兵一旅團及砲兵一中隊ハ Gabrovo ニ向ヒ其他ノ部隊モ砲兵ノ主力及歩兵一大隊ヲ除ク逐次前進運動ヲ起シ三十日同地ニ集合ス本卷一三六第一四〇及

少將サロフノ部隊第三旅團ノ南進

第一四八頁参照

同二十五日オスマンバザール部隊ノ北隊ニ於テハ中將タチシユチエフハ

第二ノ増援命令ニ接シ Jubbeler ヨリ歩兵第二百二十六聯隊第一大隊第三中

隊缺砲兵第三十二旅團第四中隊ノ二門ヲ Popovo 方面ニ差遣セリ此部隊ハ

同日正午 Baldzi Omur 附近ニ著ス而シテ前記第一次増援部隊ハ二十四日以

後 Ajazlar ニ於テ警戒ニ任ス

二十六日中將シアコウスコエハ中將ラデッキーヨリスライマンパシアノ

背後ニ至ル爲 Trevena ニ支隊ヲ有スルハ頗ル有利ナリトノ通報ニ接シ少將

サロフニ歩兵第四十二聯隊砲四門ヲ屬シテ夜行軍ヲ以テ Drenovo ヨリ

Travena ニ到リ Bl. Bedek 山ヲ守備シスライマンパシア軍ノ右翼ニ向ヒ攻勢

ニ轉スヘキ時機ノ來ルヲ待タシム同支隊ハ Trevena ニ前進セシモ砲兵ノ前進困難ナリシニヨリ二十八日 Drenovo ニ退却セリ

同二十六日北隊ヨリ第十三軍團ニ増援セシ兩部隊ハ歩兵三聯隊ヲ有スル

諸兵連合ノ土軍 Mansur ニ向ヒ前進セリトノ通報此通報ハ事實ヲ誤リ傳ヘタルモノナリニ接シ直

第十三軍團方面ニ再援第一參照

第十三軍團方面ノ復歸部隊ニ

ニ Mansur ニ復歸ス

二十七日中將シァコウスコエハ軍司令部ヨリ土軍 Mansur ニ前進セリトノ通報ニ接シ敵襲ニ對スル準備ヲ爲セシモ忽チニシテ其虚報ナルコトヲ知レリ

此間中將ラデッキーハスライマンパシア軍ノ側面ニ對シテ攻勢ヲ畫策シ中將シァコウスコエハ此通報ニ接シテ之ニ同意シ二十七日軍司令官ニ左ノ要旨ノ意見ヲ上申ス

迂回ニ關スル中將シァコウスコエノ意見具申

Zelenodrovo ヨリスライマンパシア軍ノ左側面ニ向ヒ優勢ナル支隊ヲ派遣スルト同時ニ別ニ有力ナル支隊將官サロフノ部隊歩兵四大隊砲十六門狙撃歩兵第三旅團歩兵四大隊砲四門ハインキエイ支隊歩兵三大隊騎兵二中隊ヲシテ Tlevna 峠ヲ經テスライマンパシア軍ノ右側面ヲ攻撃セシムルヲ可トス

之ニ對シ二十八日中將シァコウスコエハ左ノ要旨ノ軍訓令ニ接ス
迂回說ニ同意ス Sevlijevo ニ在ル歩兵第二師團ノ殘餘ノ一旅團ヲ Gubrovo

迂回部隊ノ編成

ニ前進セシムヘシ Sevlijevo ニハ Grn. Studena ヨリ歩兵第三師團ノ半部ヲ前進セシメントス尙迂回ノ實施ニ關シテハ軍參謀長ト協議スヘシ同官ハ爾餘ノ作戰ヲ決定スル爲メ二十八日朝 Trnovo ヲ經テ Sipka ニ前進スル筈ナリ

同夜或ハ二十九日中將シァコウスコエハ再ヒ左ノ要旨ノ軍訓令ヲ受領ス歩兵第十一團長少將エルンロートヲ Drenovo ニ派遣シ尙狙撃歩兵第三旅團砲四門ヲ同地ニ到ラシムヘシ而シテ軍參謀長ノ同意ヲ得ハ同少將ヲシテ少將サロフノ部隊狙撃歩兵第三旅團砲四門並ニ Gubrovo ニ前進セル歩兵第二師團ノ一旅團及砲兵二中隊等ヲ指揮シテ攻勢ニ轉セシムヘシ

然ルニ軍參謀長大將ネポコエチッキーハ Zipka 峠ニ到著シ二十九日同地ノ戰場ヲ巡視シ情況ヲ精査シ二十日中將ラデッキー中將シァコウスコエ等ト擬議ノ結果南方面ニ於テハ一時守勢ヲ取り先 Tlevna ヲ攻略スルニ決

軍參謀長ノ Zipka 來著
並ニ中將シァコウスコエノ新任務

シ中將ラデツキーハ Sipka 峠上ノ部隊及少將サロフノ支隊ヲ指揮シテ Sipka 高地及之ニ近接セル諸峠殊ニ Treva 峠ヲ防禦シ中將シッコウスコエハ Hainkiy 高地ヨリ Elena, Kesarevo, Tjullbeller ニ互ル線ノ防禦ニ任シ三十一日以降大佐グロマンノ「ハインキエ」支隊步兵三大隊哥薩克騎兵二中隊砲十六門少將ボレエシアノ「エレナ」支隊步兵三大隊騎兵四中隊砲十門モ亦第十一軍團長中將シッコウスコエニ配屬セラレ中將シアッコウスコエハ爾後合計歩兵二十大隊Trnovo 駐留セル歩兵第五十五聯隊一大隊ヲ算入セス砲百六門Zvezdovoヨリ來薩克砲兵第六中隊ヲ算入スヲ指揮シ正面約八十五吉米ニ互ル防禦線ヲ守備セリ

附記 八月中旬オスマンバザール部隊及「エレナ」支隊ニ對抗セル土軍ハ

合計歩兵約二十大隊騎兵及砲兵若干約一萬四千二百人ヲ算シ第二卷附七參照數多ノ小部隊ヲ以テ露軍ノ前面ニ殆ト連續セル警戒線ヲ設ケ而シテ其正規軍ハ分レテ二部トナル即チ其一ハ東部「ドナウ」軍ニ屬セルメヘメツトセリムパシヤノ率ユル部隊步兵十二大隊八月下旬ニ至ル間二十四大隊ニ増加ス騎兵四中隊砲兵二中隊八

月下旬ニ至ル間ニ五中隊ニ増加スニシテ其主力ハ Kesarevo 東方十吉米乃至十六吉米ノ Dzumalikoj 及 Jajlikoj 附近ニ一部ハ Osmanbazar ニ在リ而シテ其任務ハ Trnovo 方面ヲ佯攻シ以テスライマンパシアノ Sipka 峠攻撃ヲ援助スルニ在リ他ノ一部ハスライマンパシア軍ニ屬スルフツセンパシア軍ニシテ其兵力歩兵八大隊及砲兵一中隊半不正規部隊若干ヨリ成リ Kotel, Strareka 及 Sliven, Demir Kapu 峠Strareka 通スル山路 Sliven 等ノ地ニ散在セリ而シテ其任務ハ Kotel 及 Eski Dzumaja-Sliven 路ヲ掩護シ且 Elena 方面ヲ佯攻シ露軍ノ注意ヲ Tundza 河谷外ニ誘致スルニ在リ然ルニ前記兩部隊ハ何等連繫スル所ナク獨立シテ作戰シ毫モ佯攻ノ實ヲ舉クルコトナク寧口概シテ守勢ヲ取り單ニ極メテ小ナル部隊ヲ以テ露軍ノ注意ヲ惹カンコトヲ試ミタルノミ

三 東方面ノ作戰

其一 「ルスチ」兵團ノ行動

八月中旬ノ情況 附圖第三十七第二 卷第五十五參照

「ルスチユツク」兵團八月中旬位置ノ概要(第一卷附圖第三十七參照)

八月中旬「ルスチユツク」兵團司令官皇太子アレクサンデルアレクサンドロウイッチ第十二團砲兵二中隊缺騎兵第八師團龍騎兵第八聯隊及配屬部隊(下)哥薩克第三十七聯隊ハ第十二團親衛騎兵二中隊速射砲兵中隊ハ「ルスチユツク」兵團ニ配屬セシメラレタリヨリ成リ合計歩兵四十二大隊豫備工兵第一中隊砲二百八門ヲ算シ比外工兵第八東方ニ面シテ既記 第二卷三四ノ如ク三部隊ハ附錄第三參照ト成リ右翼部隊ハ Ajazlar, Hajdar 及 Gagovo ノ線ヲ守備シ中央部隊ハ Padina 附近右翼部隊ノ左翼ニ連絡シテ Svalnik 及 Niovo ノ線ヲ警戒シ左翼部隊ハ Ivanovo, Pigoz ノ線ヲ守備シ兵團豫備隊ハ Ostria 及其附近ニ位置ス兵團司令部ハ Zhiokovo ニ在リ(同地ニハ歩兵第三百三十二聯隊一中隊親衛騎兵二中隊アリ)而シテ歩兵第一師團第二旅團及砲兵第一旅團第二第五中隊ハ大本營ノ所在地 Bera ニ位置ス

「ルスチユツク」兵團前線土軍ノ概況

附記 八月中旬露軍「ルスチユツク」兵團ニ對スル土軍ノ主力 歩兵五十七大隊 砲八十 砲四門 ハ一般ニ西面シ Razgrad 歩兵四十八大隊騎兵四十二 騎兵四十九中隊 騎兵七中 中隊砲兵十二中隊七十二門 Psaki Dzunmaja 歩兵九大隊 砲十二門 ノ線上ニ在リ其延長約二十八吉米ニシテ尙右翼ニハ五十五

「ルスチユツク」兵團司令官ノ得タル敵情

吉米ヲ隔テテ Kuscuk 要塞及其附近ニ歩兵二十三大隊騎兵六中隊砲三十門アリ又左翼ニハ二十吉米ヲ隔テテ Osmanbazar ニメヘメツトセリ ムパシアノ師團 歩兵十二大隊騎兵四中隊砲十二門 あり 當時「ルスチユツク」兵團司令部ノ得タル敵情ハ多クハ布爾牙利人ニ依テ傳ヘラレタルモノニシテ不完全ナルヲ免レス其大要次ノ如シ
メヘメツトアリアパシア軍東部布爾牙利軍ノ主力ハ Razgrad 附近ニ集中セラレ其兵力ハ三萬二千乃至六萬ヲ算シ Dormis dere 河 Razgrad ノ西南方十吉右岸 Razgrad-Popovo 道上ニハ六千人ノ敵兵構築セル陣地ヲ占領シ尙 Ajazlar ノ東方 Sarnasif, Kizillar, Draila 附近ニモ有力ナル敵兵存在セルカ如シ 又八月十二日 Arublar 方 Ajazlar 南ニ於テ土軍歩兵六大隊ノ野營ヲ認メタリ 「ルスチユツク」兵團司令官ハ延長セル守備線ノ防禦ニ腐心シ殊ニ Razgrad 方面ヨリスル土軍ノ攻撃ヲ顧慮シテ中央部隊ノ兵力ヲ増加セントシ十四日大本營ノ Grn. Studena ニ移ルヤ十七日大本營ノ護衛トシテ從來 Bela ニ駐留

步兵第一師團第二旅團砲兵第二中隊
砲兵第二中隊
「ルスチユツク」兵團ニ復歸ス

「ルスチユツク」兵團ノ防禦計畫

セシ步兵第一師團第二旅團砲兵第一旅團第二第五中隊ノ復歸ヲ請ヒ十七日頃之ヲ *Orhica* ニ進メ同地ニ在リシ諸隊ノ内歩兵第三百三十聯隊同第三百三十一聯隊砲兵第三十三旅團ノ三中隊ヲ *Gorsko-Albanovo* ニ進メ既ニ同地ノ北方 *Kacelovo* ヲ守備セシ歩兵二大隊（步兵第三百三十二聯隊第一大隊缺）ナラン。砲兵一中隊ト共ニ中央部隊長中將ドリーゼンノ指揮ニ屬シ（驃騎兵第八聯隊「ドン」哥薩克騎砲兵第九中隊ハ中將ドリーゼンノ隸下ヲ脱シテ右翼部隊ニ轉屬セシカ如シ即チ中央部隊ノ兵力ハ歩兵八大隊騎兵八中隊砲三十八門ヲ算スルニ至レリ（附録第四參照）同時防禦計畫ノ要領ヲ諸隊ニ訓令ス其要旨左ノ如シ

- 一、敵兵左翼部隊ニ向ヒ攻撃シ來ル場合ニ於テハ陣地ヲ固守ス若シ退却スルノ止ヲ得サルニ至ラハ *Bela-Ruscuk* 道ヲ *Bela* ニ向ヒ退却スヘシ但シ *Ruscuk* ヨリ優勢ナル敵ノ出撃スルコトナカルヘシ
- 敵兵 *Strokleva* 附近ノ「ドン」哥薩克騎兵第十二聯隊ヲ擊退シテ（當時左翼部隊ニ在リシ同騎兵聯隊ハ *Strokleva* ナラン）第十二師團ノ南方ニ於テ *Kara Lom* 河ヲ渡ラントスレハ師團ハ先ツ騎兵ヲ派遣シ次テ其援助トシテ歩兵ヲ續行セシメ敵

ノ渡河ヲ妨害スヘシ

- 二、優勢ナル敵兵中央部隊ニ向ヒ攻撃シ來ラハ同部隊ハ極力之ヲ拒止スヘシ此場合ニハ兵團豫備隊及第十三軍團豫備隊ハ援助ノ爲同地ニ急行ス但シ第十三軍團ハ此際 *Lopovo* ノ陣地ヲ堅ク守備スルヲ要ス
- 三、敵兵 *Lopovo* 附近ノ右翼部隊ニ向ヒ攻撃シ來ラハ同部隊ハ陣地ヲ固守シ中央部隊及兵團豫備隊ハ援助ノ爲之ニ急行ス
- 四、各部隊ハ其騎兵部隊ヲ以テ絶エス連絡ヲ維持シ機ヲ失スルコトナク敵ニ對抗スルノ準備ヲ爲スヘシ

「ルスチユツク」兵團ノ威力偵察

八月十八日「ルスチユツク」兵團司令官ハ第十二及第十三軍團長及騎兵師團長ニ對シテ敵ノ壓迫ヲ受ケタル際ヲ顧慮シ各其配屬セル騎兵ヲ以テ退却路ヲ偵察シ又第一線ノ騎兵ヲ以テ近接スル少數敵騎ヲ擊退シ其後方ニ在ル敵部隊ノ行進方向兵力及行軍序列ヲ偵察セシム

中將ドリーゼン及中將ハーンハ十九日此部署ニ依リ *Razgrad* 方面ノ偵察ヲ實施セントシ中將ドリーゼンハ十九日歩兵第百三十一聯隊^{二大} 槍騎兵第十二聯隊騎砲兵第十九中隊ノ四門ヲ少將レオノフ^{騎兵第八師團第一旅團長}ノ指揮ニ屬シ *Sadin* 及 *Kara Hasan* ニ對シ偵察ヲ實施セシメ中將ハーンハ二十日參謀大佐カウルバルス^{騎兵第八師團參謀長}ノ指揮セル騎兵若干中隊ヲ歩兵第一師團長ニ屬シ *Hajdar* ヨリ偵察ヲ實施シ特ニ少將レオノフト協同シテ動作セシム兩偵察隊ノ未タ行動ヲ起ササルニ當リ二十日^ルスチュック^{兵團司令部}ハ軍司令部ヨリ土軍巴爾幹山ニ向ヒ攻撃シ來リ之ニ對シ中將ラデッキ^ハ一部ヲ率キテ優勢ナル敵ノ攻撃ヲ受ケントスル少將ボレエシア^ノエレナ^{支隊ヲ援助センカ爲ニ同方面ニ出發シ同時ニスライマンパシア及メヘメ}トアリーパシアハ二十日又ハ二十一日露軍ヲ攻撃スルナラントノ通報ニ接ス依テ^ルスチュック^{兵團參謀長}中將ワソノウスキー^ハ直ニ狀況ヲ諸隊ニ通報シ中將ドリーゼンニハ銳意敵ヲ監視シ企圖セル偵察ヲ實施スヘ

八月二十日
「ル」スチエツ
ク「兵團」ノ
配置並ニ第
十三軍團方
面ノ情況

ク又中將ハーンニハ *Eski Dzumaja* 方面ニ偵察隊ヲ派遣スヘキヲ命ス
二十日ニ於ケル^ルスチュック^{兵團}ノ配置附圖第五十五ノ如ク^{軍區分ニ關シテハ附錄第}
四參 同日夕ニ於ケル第十三軍團諸隊ノ配置左ノ如シ^{附圖第五十六參照}

一、中將プロクロフノ部隊^{歩兵九大隊騎兵六中隊砲三十門}
歩兵第一聯隊一大隊

〔ド〕^ン哥薩克騎兵第八聯隊第二第六中隊
砲兵第一旅團第一中隊ノ二門
Ajazlar

計歩兵一大隊騎兵二中隊砲二門

歩兵第百三十九聯隊ノ一大隊

槍騎兵第八聯隊ノ二中隊

〔ド〕^ン哥薩克騎兵第八聯隊第一中隊
砲兵第三十五旅團ノ第四中隊ノ二門
Hajdar

騎砲兵第十五中隊

計步兵一大隊騎兵三中隊砲八門

步兵第一師團第一旅團(第一聯隊一大隊缺)

步兵第三百三十九聯隊ノ二大隊

〔ドン〕哥薩克騎兵第八聯隊第三中隊

砲兵第一旅團第一中隊ノ六門第四中隊

同第三十五旅團第四中隊ノ六門

計步兵七大隊騎兵一中隊砲二十門

二少將巴拉ノフノ部隊步兵三大隊騎兵
三中隊砲八門

步兵第四百四十聯隊二大隊

〔ドン〕哥薩克騎兵第八聯隊第四中隊

砲兵第三十五旅團第一中隊ノ六門

計步兵二大隊騎兵一中隊砲六門

步兵第四百四十聯隊一大隊

Popovo

Gagovo

槍騎兵第八聯隊二中隊

砲兵第三十五旅團第一中隊ノ二門

計步兵一大隊騎兵二中隊砲二門

Kara Hsain

此外中將ドリーセンヨリ派遣セラレタル少將レオノフ少將レオノフハ初メハ中將

ドリーゼンニ屬セシモノノ如シ十三軍團ニ屬セシモノノ如シノ偵察隊ニ屬スル步兵第三百三十一聯隊ノ二

大隊ハGagovoニ爾餘偵察隊槍騎兵第十二聯隊三中隊視衛騎兵二中隊騎ハ Kara

Hasainニ在リ親衛騎兵二中隊ハ出發後
増加セラレタルモノナリ

三軍團豫備隊步兵六大隊騎兵一
中隊砲四十八門

步兵第三十五師團第一旅團(一大隊缺)

〔ドン〕哥薩克騎兵第八聯隊第五中隊

砲兵第一旅團第三中隊(二門缺)第六中隊

砲兵第三十五旅團第二第三第五第六中隊

計步兵五大隊騎兵一中隊砲四十六門

Kovacovec

歩兵第三百三十七聯隊一大隊

砲兵第一旅團第三中隊ノ二門

計歩兵一大隊砲二門

Baldzi Omur

四軍團司令部ハ「ドン」哥薩克騎兵第十三聯隊ノ一中隊ト共ニ Kovaovec ニ在リ

驃騎兵第八聯隊及「ドン」哥薩克騎砲兵第九中隊ハ未タ來著セサリシモノノ如シ

此時迄ニ第十三軍團長中將「ハーン」ノ知り得タル敵情次ノ如シ

敵ノ主力ハ Razgrad ニ集中シ Bahsilar ニハ武裝セル土民ノ集團アリ此等ノ集團ハ Mehmedi 附近ニモ充滿ス十七日 Wilbeller 北十吉米東ニハ騎兵一部隊ニ掩護セラレテ Sumla 方面ニ行進セル輜重通過ノ形跡ヲ認ム

八月二十一日第十三軍團長中將「ハーン」ハ受ケタル命令ニ依リテ二十一日 Razgrad, Eski Dzumaja 方向ニ對シテ威力偵察ヲ實施セント欲シ軍團豫備隊ノ内歩兵第

團ノ威力偵察實施(附圖第五十六参照)

百三十八聯隊(一大隊缺)砲兵一中隊ヲ Popovo ニ又 Baldzi Omur ノ守備ニ任シタル歩兵第三百三十七聯隊ノ一大隊砲二門ヲ Ajankai ニ進マシメ同時ニ歩兵第一師團長中將プロクロフニ左ノ要旨ノ命令ヲ下セリ

歩兵五大隊砲兵一中隊(九斤砲四門及四斤砲四門) 騎兵三中隊騎砲二門ノ一支隊ヲ編成シ二十一日午前 Eski Dzumaja ニ通スル道路ニ沿フテ偵察ヲ實施スヘシ此際敵ノ前進部隊ヲ擊退シテ同方面ニ於ケル敵ノ兵力區分ヲ偵察スルヲ要ス而シテ行動ハ猛烈果敢ニ行フヘシト雖モ築城陣地ヲ攻撃シ優勢ナル敵ト戰鬪ヲ交ユルヲ避クヘシ又 Ajaziar ノ陣地ハ此際一部ヲ以テ守備スヘシ

大佐カウルバルスニ騎兵三乃至四中隊(歩兵二大隊及砲若干ノ支援ヲ附ス)ヲ屬シ Fildeller, Szazli, Kalladere 附近ニ至ル迄派遣シ Razgrad 附近ノ敵情ヲ偵察セシムヘシ尙同大佐ニハ優勢ナル敵ト戰鬪ヲ交ヘ若シクハ陣地ニ在ル敵ヲ攻撃セシメサル如ク注意スヘシ

依テ中將プロクロフハ アヤズラル Ajazlar, ポポフ Popovo ニ在ル部隊ノ内歩兵第一師團第一旅團「ドン」哥薩克騎兵第八聯隊ノ二中隊並ニ砲兵第一旅團第一第四中隊騎砲兵第十五中隊ノ二門合計歩兵六大隊騎兵二中隊砲十八門ヲ二十一日 アヤズラル Ajazlar 附近ニ集合セシメタル後同地東方ニ向ヒ前進セシメ又 ハイタル Hajdar ニ在ル諸隊ノ内歩兵第三百三十九聯隊ノ一大隊ト三中隊 此三中隊ハ二十日夜 Popovo 出發ニ十一日朝迄ニ Hajdar ニ著シタルモ 槍騎兵第八聯隊ノ二中隊「ドン」哥薩克騎兵第八聯隊第一中隊砲兵第三十五旅團第四中隊ノ二門騎砲兵第十五中隊ノ四門合計歩兵一大隊半騎兵三中隊砲六門ヲ大佐カウルバルス 騎兵第八師團參謀長 ニ屬シ二十一日 ハイタル Hajdar 附近出發 バハシスラル Bahsislar ヲ經テ コセコイ Kosekoij ニ向ヒ前進セシメ 軍團命令ニ示ス所ノ行進目標ト前差違アルモ其理由ヲ明ニセス 前記諸隊出發後 ポポフ Popovo ニ在ル部隊ノ内歩兵第三百三十九聯隊ノ二中隊 同聯隊三十一日夜既ニ同地ニ著セリ ヲ ハイタル Hajdar ニ増遣ス

二十一日午前七時三十分中將プロクロフノ指揮スル歩兵第一師團第一旅

團騎兵二中隊砲兵第一旅團第一第四中隊騎砲兵第十五中隊ノ二門ハ アヤズラル Ajazlar ニ集合ヲ終ル此時 バルジオムル Baldzi Omur ヨリ來著スヘキ歩兵第三百三十七聯隊一大隊砲兵第一旅團第三中隊ノ二門未タ到著セサリシカ故ニ同中將ハ歩兵第二聯隊第二大隊ヲ アヤズラル Ajazlar ニ殘シ 此大隊ハ後ニ至リテ歩兵第三百三十七聯隊ノ一大隊ト交代シテ聯隊ニ追及セリ 其他ヲ二縱隊トシ右縱隊 長歩兵第一師團第一旅團長少將ウヤケウイッチ 歩兵第一聯隊「ドン」哥薩克騎兵第八聯隊ノ二中隊砲兵第一旅團第一中隊騎砲兵第十五中隊ノ二門計歩兵三大隊騎兵二ヲシテ アヤズラル Ajazlar ヨリ同村南端ノ橋梁ヲ經テ キズリハル Kizilhar ニ前進セシメ左縱隊 長歩兵第二聯隊長大佐ウラヂミルスキ 歩兵第二聯隊第 チシテ チシテ ゴレモノフ Golemonovo ヲ經テ エスキ Eski Dzumaja 街道ニ前進セシメ中將プロクロフハ此縱隊ト同行ス中將プロクロフノ左縱隊 第二聯隊ノ二大隊砲兵第四中隊 ハ午前九時三十分 ゴレモノフ Golemonovo ニ通スル道路ヲ前進シ午前十時三十分頃谿谷ヲ通過スルヤ サナナフ Sarnasif 南方ノ山背ヨリ土軍撤兵線ノ射撃ヲ受ケ尋テ サナナフ Sarnasif 南方 サイヤンテペ Saitan tepe 高地ノ南側 附圖第五十七參照 ヨリ砲火ヲ受ク是ニ於テ大佐ウラヂミルスキハ支隊ヲ道路ノ兩側ニ展開シ火砲二門ヲ道路右方ノ丘上ニ配置ス

此間歩兵第二聯隊第二大隊ハ歩兵第三百三十七聯隊ノ一大隊砲二門ト交代シ直ニ *Ajazlar* アヤツラル ヲ出發シ午後一時頃左縱隊ニ到着ス此時砲兵第四中隊ノ砲二門ハ將官 *プロクロフ* ノ命ニ依リ *Masikbajir* カシクバイル 高地上ニ放列ヲ布キテ土軍ヲ射撃シ敵ノ右翼ノ前進ヲ拒止シ同中隊ノ他ノ四門ハ午後四時三十分道路ノ右方高地上ニ陣地ヲ占領ス

右縱隊ハ左縱隊方面ニ砲聲ヲ聞キ *スズリ* スズリ 附近ニ在リシ土軍ノ小部隊ヲ撃退シ左縱隊ニ對スル土軍ノ左側ニ向ヒ射撃ヲ開始ス

中將 *プロクロフ* ハ萬一ヲ慮リ騎兵及砲兵第一中隊ヲ豫備隊トシテ *Ajazlar* アヤツラル ニ退却セシム同中將ハ幾モ無ク大佐カウルバルスヨリ *Hajdar* ハイダール ヲ距ル約三吉米ニ於テ優勢ナル土軍ト衝突セリトノ報告ニ接シ *popovo* ポポボ ノ守備薄弱ナルヲ憂ヒ且兵力不明ナル築城陣地ニ對シテ攻撃スルノ危険ナルヲ察シ大佐カウルバルスニ *ハイダール* ハイダール ニ退却スヘキヲ命シ且左右兩縱隊ニモ退却ヲ命ス露軍ハ午後七時頃迄戦闘ヲ交エ後退却セシモ敵兵毫モ之ヲ妨害セ

ス露軍ハ整然トシテ夜十一時乃至十二時頃 *popovo* ポポボ 陣地ニ集合シ歩兵第三百三十七聯隊ノ一大隊 *ドン* ドン 哥薩克騎兵第八聯隊ノ二中隊及砲二門ハ *Ajazlar* アヤツラル ニ止リテ之ヲ守備ス

中將 *プロクロフ* ハ *popovo* ポポボ ニ退却後歩兵第二聯隊第一大隊砲兵第一旅團第四中隊ノ二門ヲ *Ajazlar* アヤツラル ニ派遣シ歩兵第三百三十七聯隊ノ第二大隊及砲兵第一旅團第三中隊ノ二門ト交代セシメ又歩兵第一聯隊第一大隊及砲兵第三十五旅團第四中隊ノ二門缺ヲ *Hajdar* ハイダール ニ進メテ大佐カウルバルスニ屬セシム

右ノ戦闘ニ於テ露軍ノ損傷ハ戰死將校一卒三負傷將校二卒三十七輕傷將校一砲彈二百五十發ヲ射耗ス 土軍ノ兵力ハ將官 *プロクロフ* ノ計算ニ依レハ十大隊不正規騎兵一隊及砲二門ナリ

大佐カウルバルスノ支隊 歩兵第三百三十九聯隊ノ一大隊ト三中隊騎兵第八聯隊ノ二中隊 五中隊ノ四門 ハ三縱隊ト爲リ午前七時三十分 *Hajdar* ハイダール ヲ出發シ *Maakdizir* マクディズィ 高地 二門騎砲兵第十 五中隊ノ四門 *Bahsilar* バハシル *Spahar* スパーハル ニ向フ中央縱隊 歩兵第三百三十九聯隊第一大隊砲兵第三十五旅團 第四中隊ノ砲二門騎砲兵第十五中隊ノ砲四門 *Bahsilar* バハシル ノ西方ニ於テ同村ノ武装セル土民ニ對シ射撃ヲ開始ス右縱隊 兵歩